



**2015年下期の業種別部会長シンポジウム**

**SIMPÓSIO DOS PRESIDENTES DOS  
DEPARTAMENTOS SETORIAIS**

**CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL**

**HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)**

**司会**

**相原 良彦 総務委員長**

**APRESENTADOR**

**Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral:**

**Yoshihiko Aihara**

挨拶

村田 俊典 会頭

**Palavras do Presidente da Câmara:**

**Toshifumi Murata**

**金融 部会**

**深井 泰雄 部会長**

**Departamento Financeiro**

**Presidente: Yasuo Fukai**



# 2015年上期の回顧と2015年下期の展望

必ず復活！ブラジル経済 ～日系企業はどう立ち向かうか～

—金融部会—

2015年8月20日(木)

## 2015年上期の回顧

- ・ ジルマ大統領の求心力が急低下。
- ・ 財政緊縮策を進めるも、景気低迷の影響で財政目標未達。
- ・ インフレ率上昇、高金利、マイナス成長 ⇒ 国民経済へ負担

【GDP】 工業部門の低迷に加え個人消費の落ち込みも顕著となり、マイナス成長に

【インフレ】 食料品や輸入品の値上げ、財政政策に伴う税制恩典や補助金撤廃、管理価格の見直しによる公共サービスの値上げ等によりインフレ率上昇

【金利】 2015年上期だけで計4回、2%の利上げによる金融引締め。7月29日には更に0.5%引き下げ。金融緩和による景気刺激は困難

【為替】 経済ファンダメンタルズの脆弱さ、資源価格の低下、米利上げ観測等を背景にレアル安に推移。3月には2000年代初頭の通貨危機以来12年ぶりの安値に

【財政】 経済減速と税収減に伴い、推進してきた財政再建計画の成果は上がらず。2015年のプライマリー収支黒字目標をGDP比1.1%から0.15%へと大幅見直し

【失業率】 2014年は歴史的低水準を維持したものの、雇用情勢は急速に悪化

【経常収支】 過去最悪の赤字を記録した2014年から大きな改善は見られず

# 主要マクロ経済指標推移

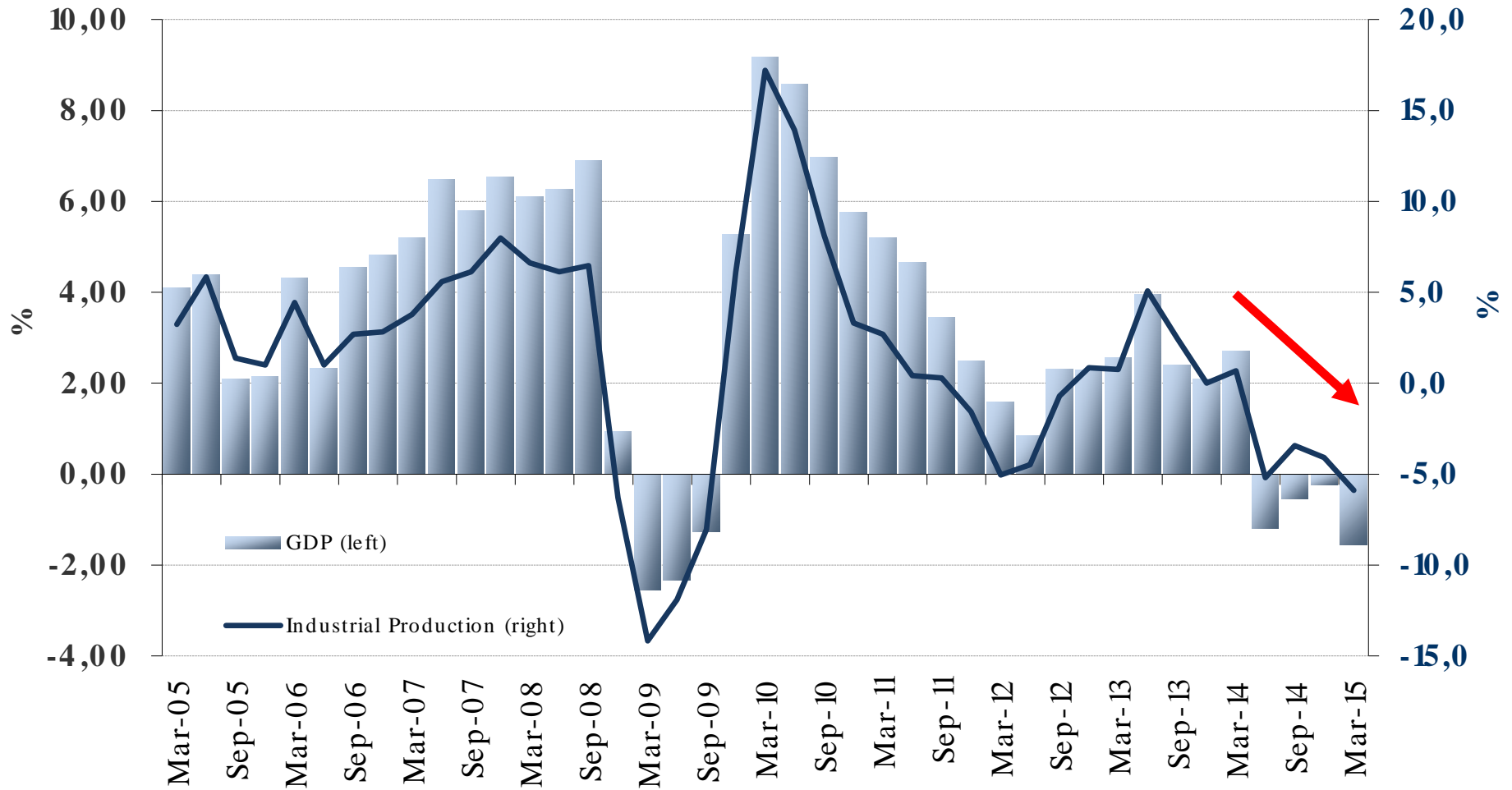
金融部会

項目	単位	2012年	2013年	2014年	2015/6	注記
GDP成長率	%	1.8	2.7	0.1	▲ 2.01	2015/12予測値(Forecast)
名目GDP	BRL/Bi	4 713	5 157	5 521	5 972	2015/12予測値(Forecast)
	USD/Bi	2 411	2 390	2 346	1 910	2015/12予測値(Forecast)
一人当たりのGDP	USD	12 105	11 889	11 571	9 345	2015/12予測値(Forecast)
貿易収支	USD/Bi	19.4	2.6	▲ 6.2	10.9	
経常収支	USD/Bi	▲ 54.2	▲ 81.4	▲ 104.7	▲ 66.2	
プライマリー収支	BRL/Bi	105.0	91.3	▲ 32.5	5.0	2015/12予測値(Forecast)
	%GDP	2.4	1.9	▲ 0.6	0.0	2015/12予測値(Forecast)
外貨準備高	USD/Bi	378.6	373.5	374.1	370.3	
株価指数(BOVESPA)	Point	60 952	51 507	50 007	53 168	8/17時点 47,217
BRAZIL 5YCDS USD	Point	108	196	197	259	8/17時点 305
政策目標金利Selic	%	7.25	10.00	11.75	13.75	2015年8月 14.25
拡大消費者物価指数IPCA	%	5.84	5.91	6.41	8.89	2015年8月 9.56
失業率(年平均)	%	5.5	5.4	4.8	7.9	2015年1Q
最低賃金	BRL	622	678	724	788	2016年 854

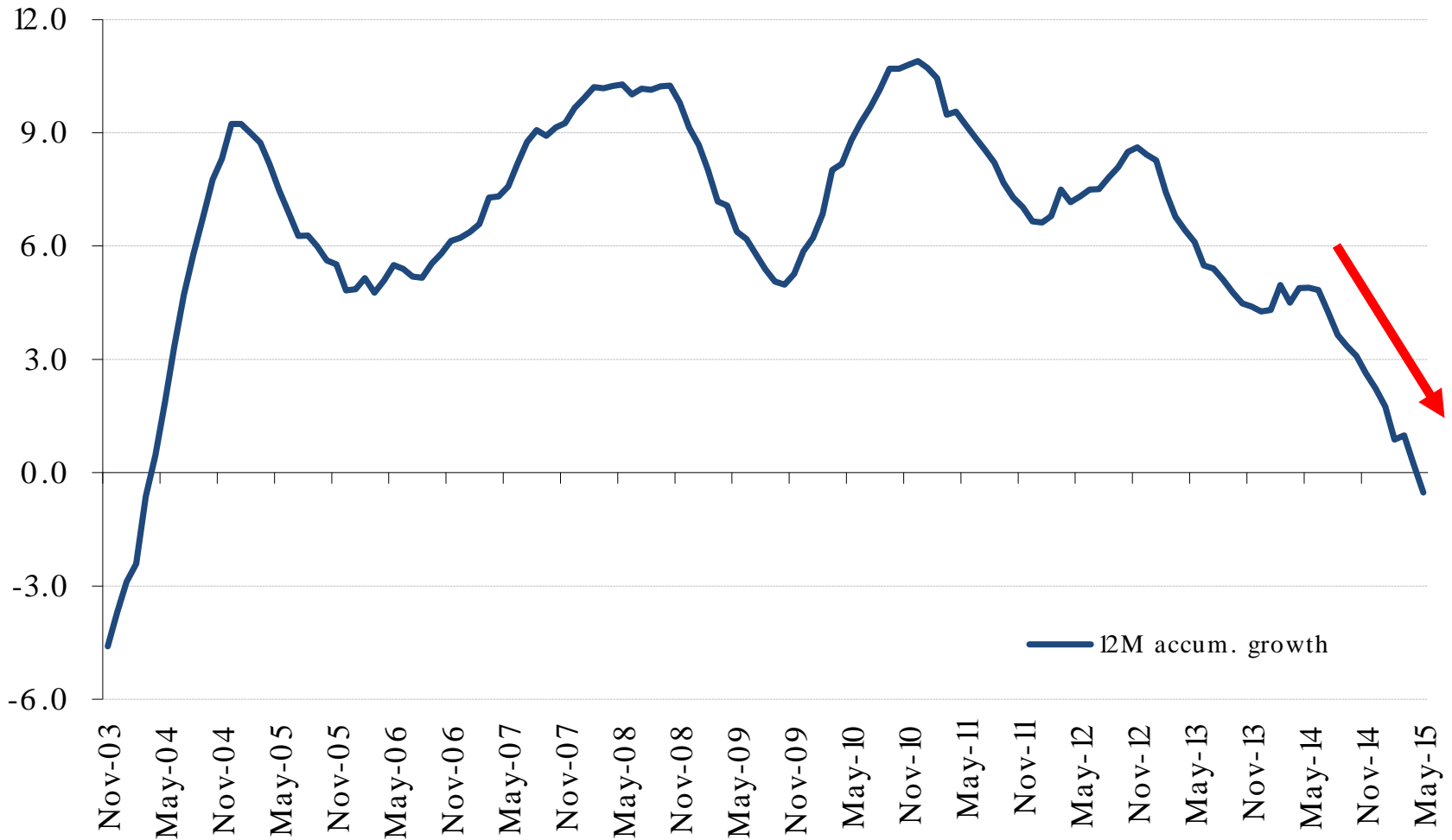
# GDP成長率・工業生産

金融部会

前年比(%)



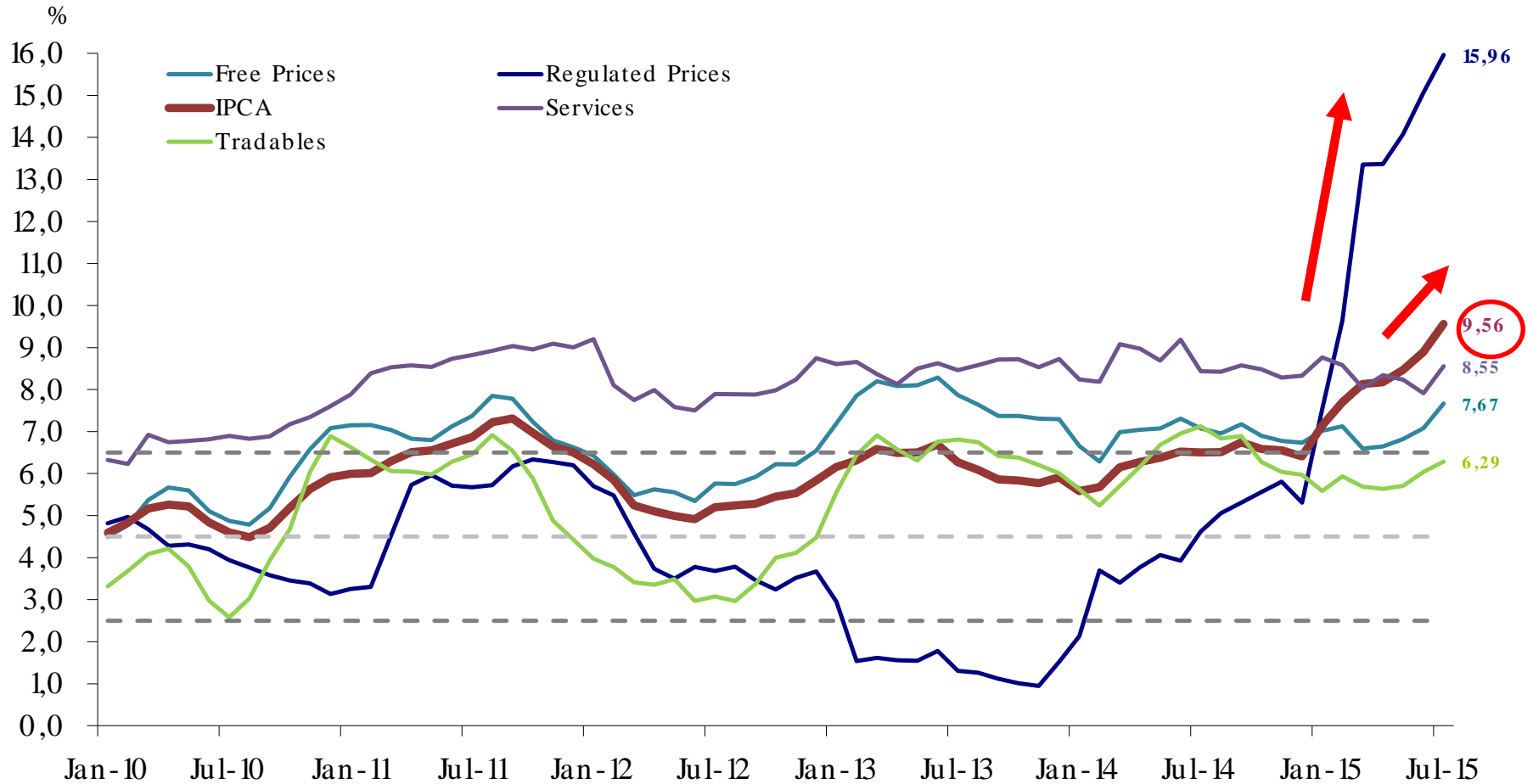
# 小売売上高



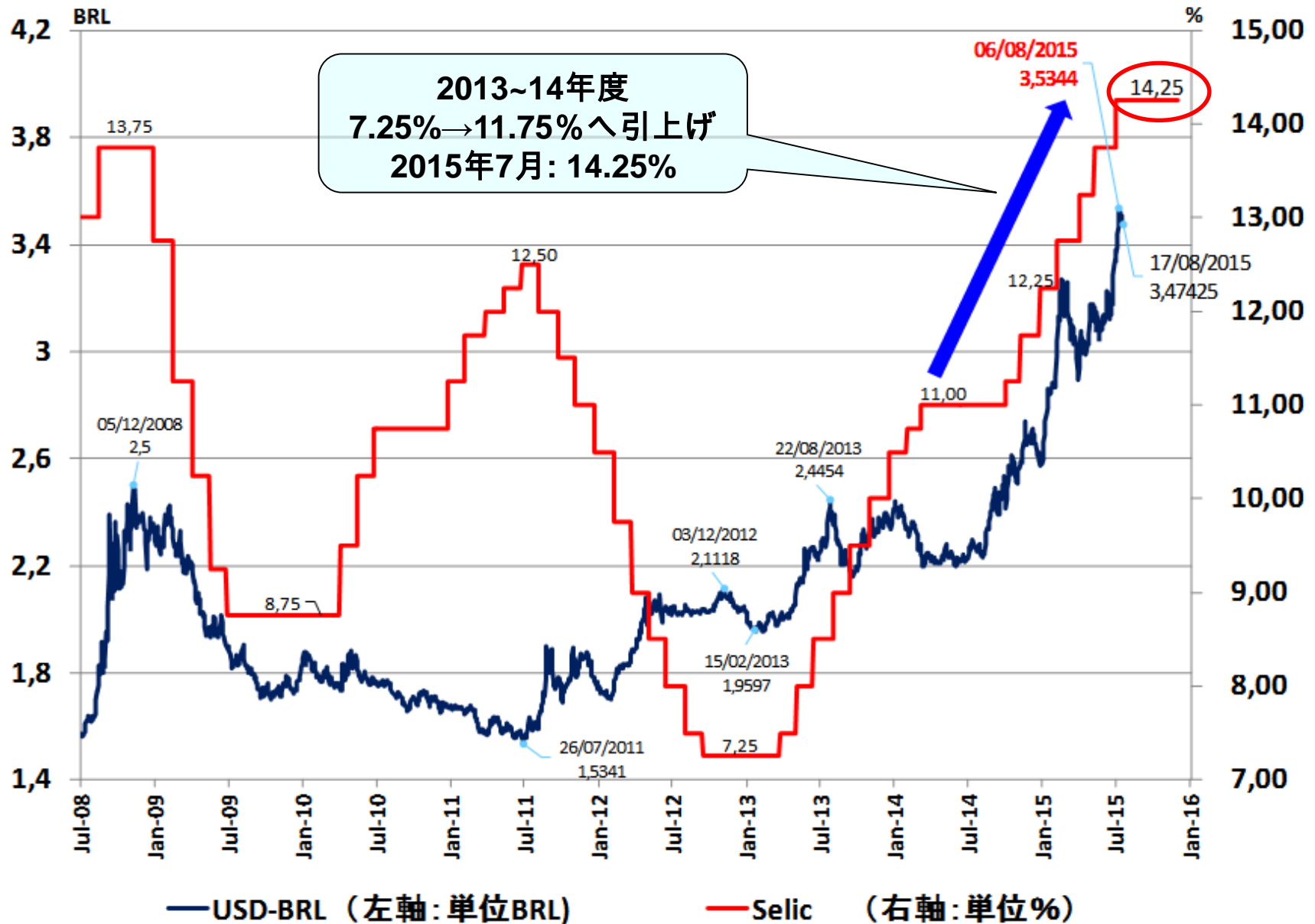
Source: IBGE, Mizuho

# インフレ

前年比 (%)

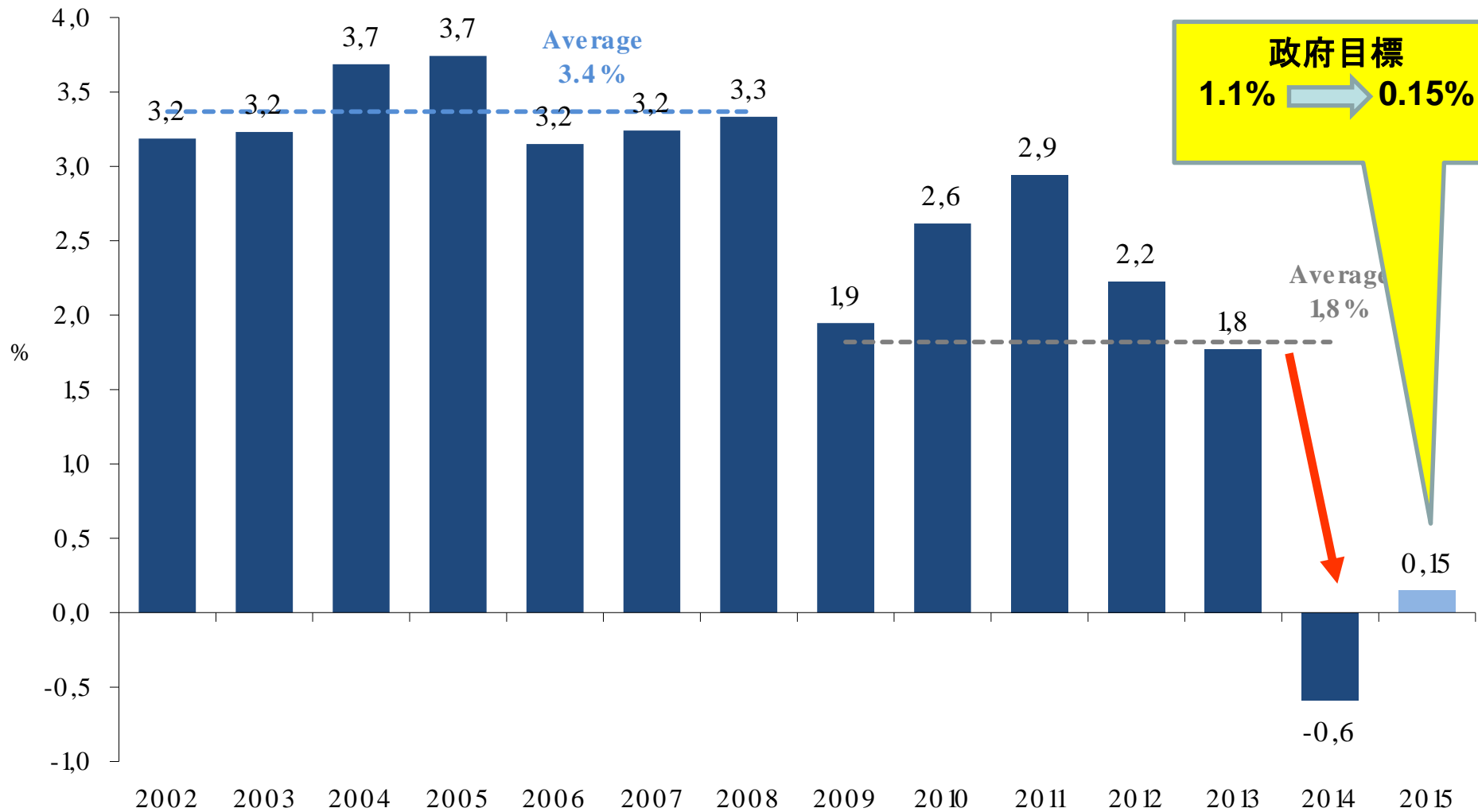


# 金利・為替レート推移



# プライマリー収支（対GDP比）

金融部会

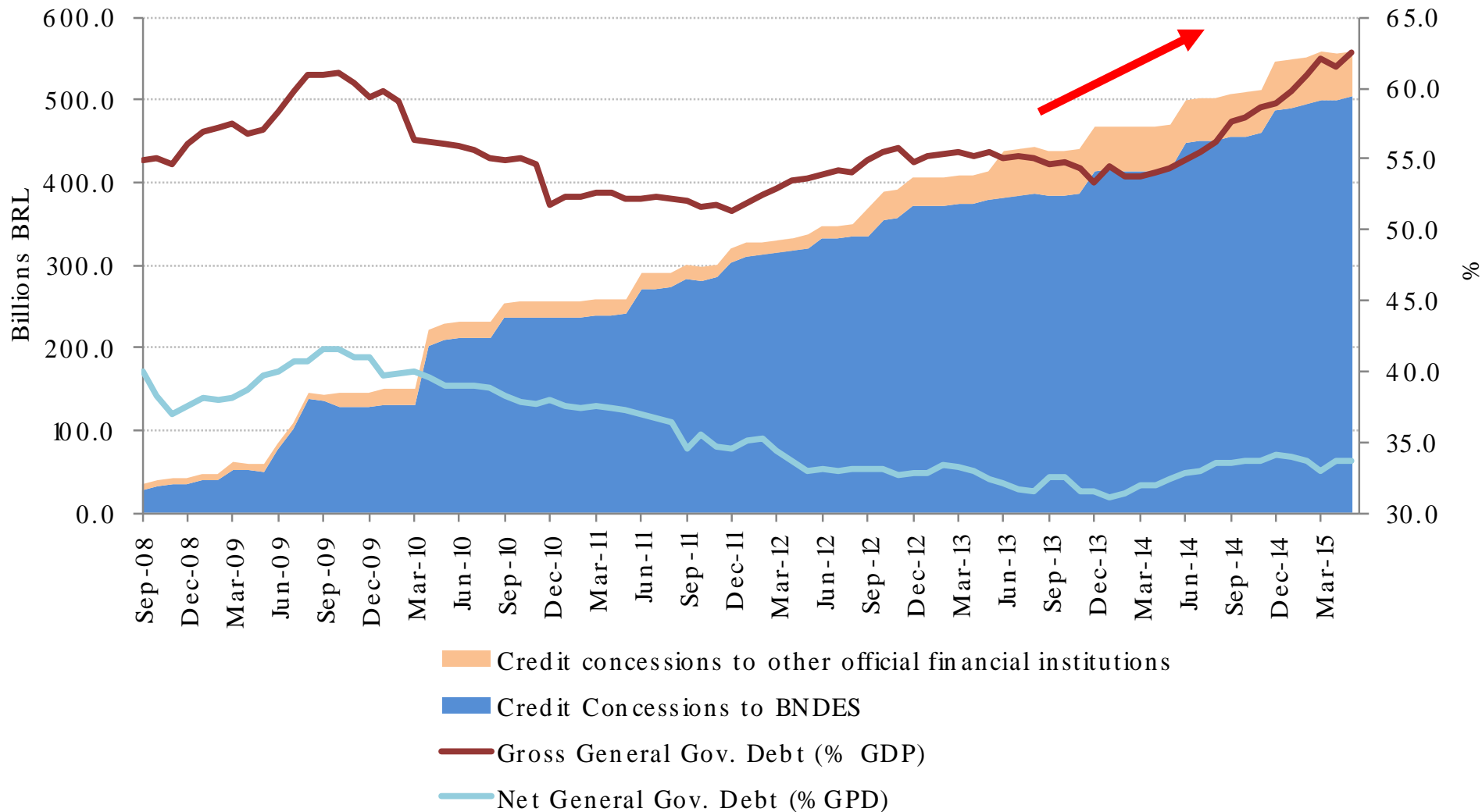


Source: Bloomberg, Mizuho.



# 政府債務・公的金融機関貸出

金融部会

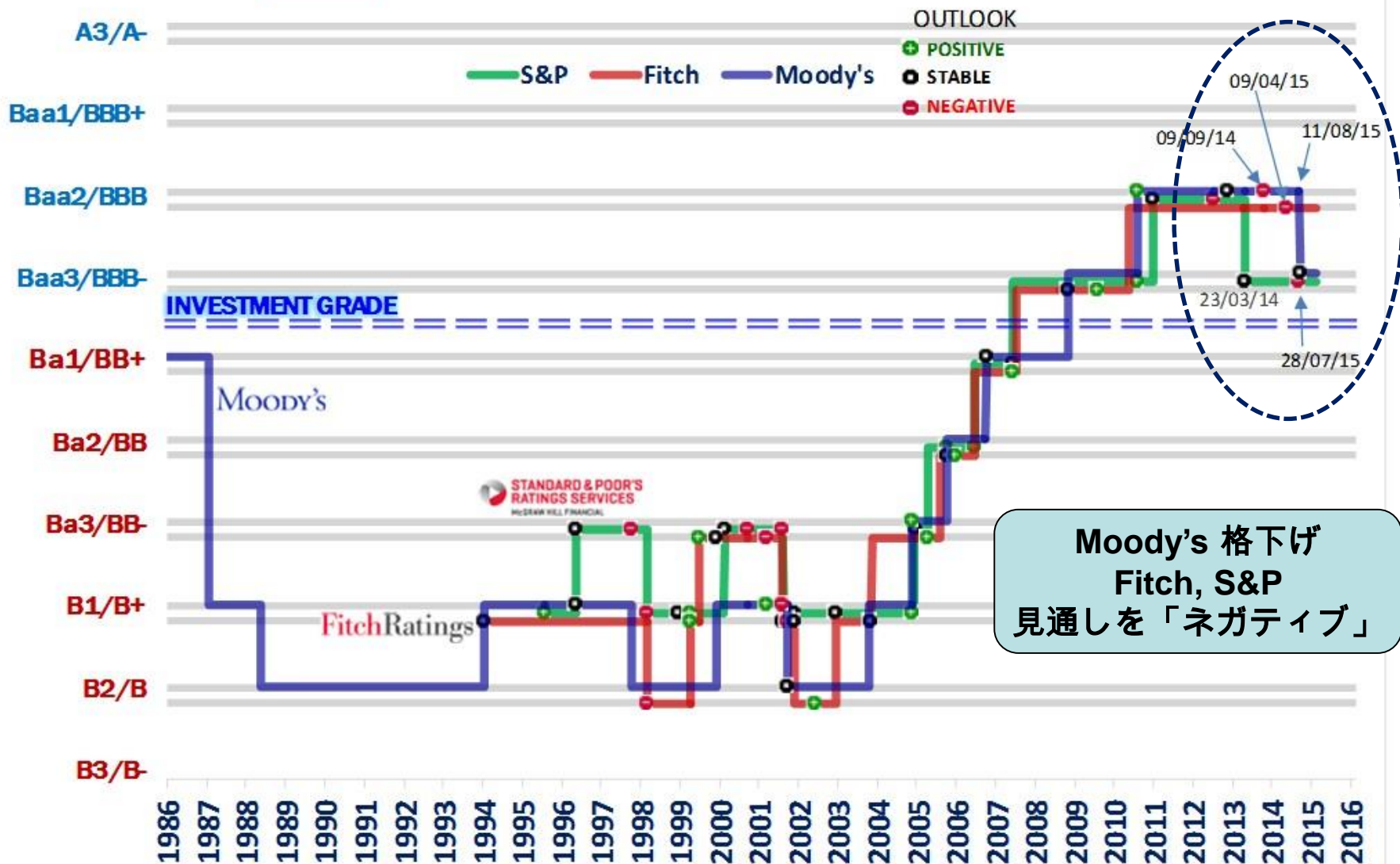


Source: BCB, Mizuho.

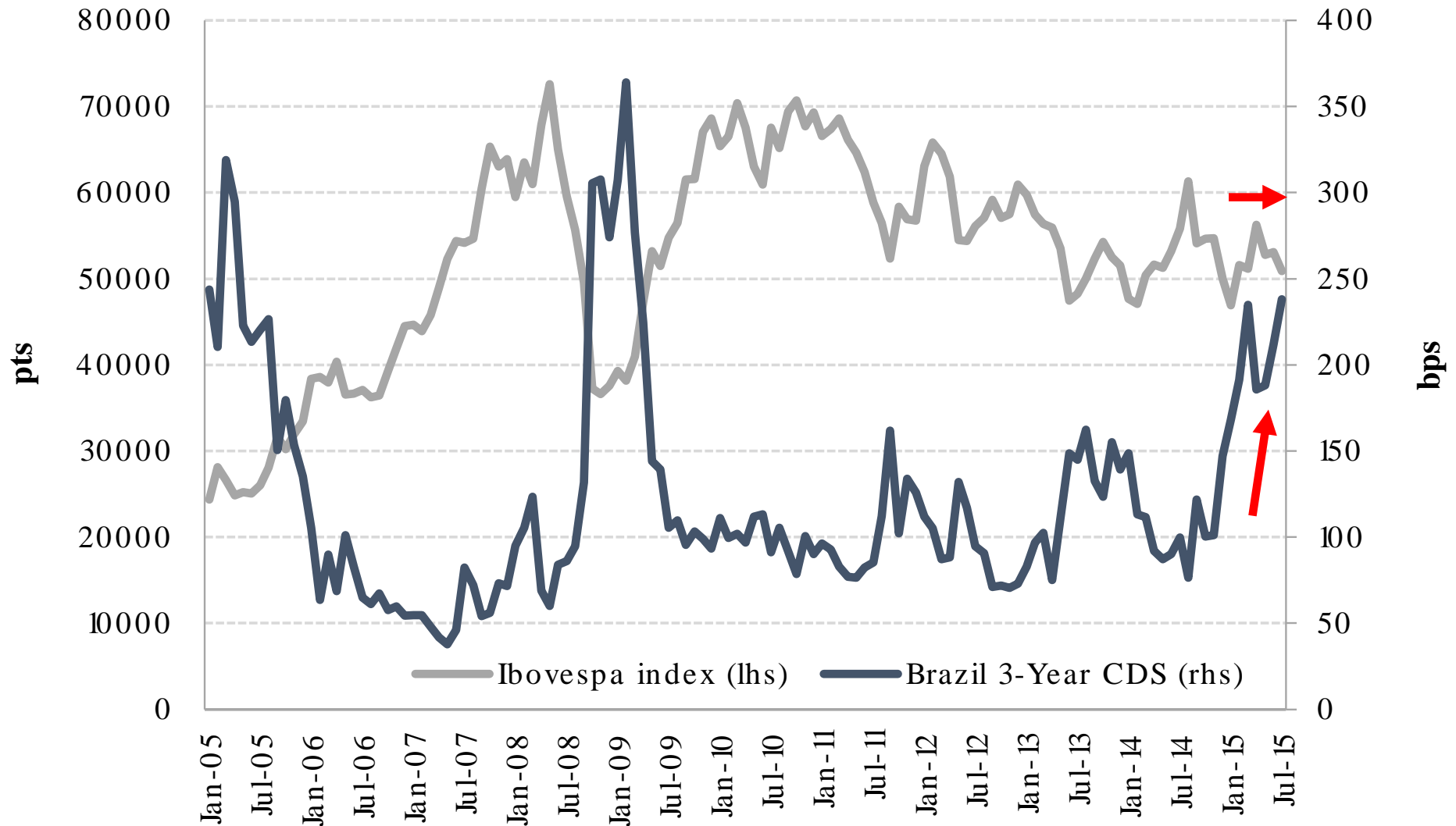
# ソブリン格付



## BRAZIL CREDIT RATINGS

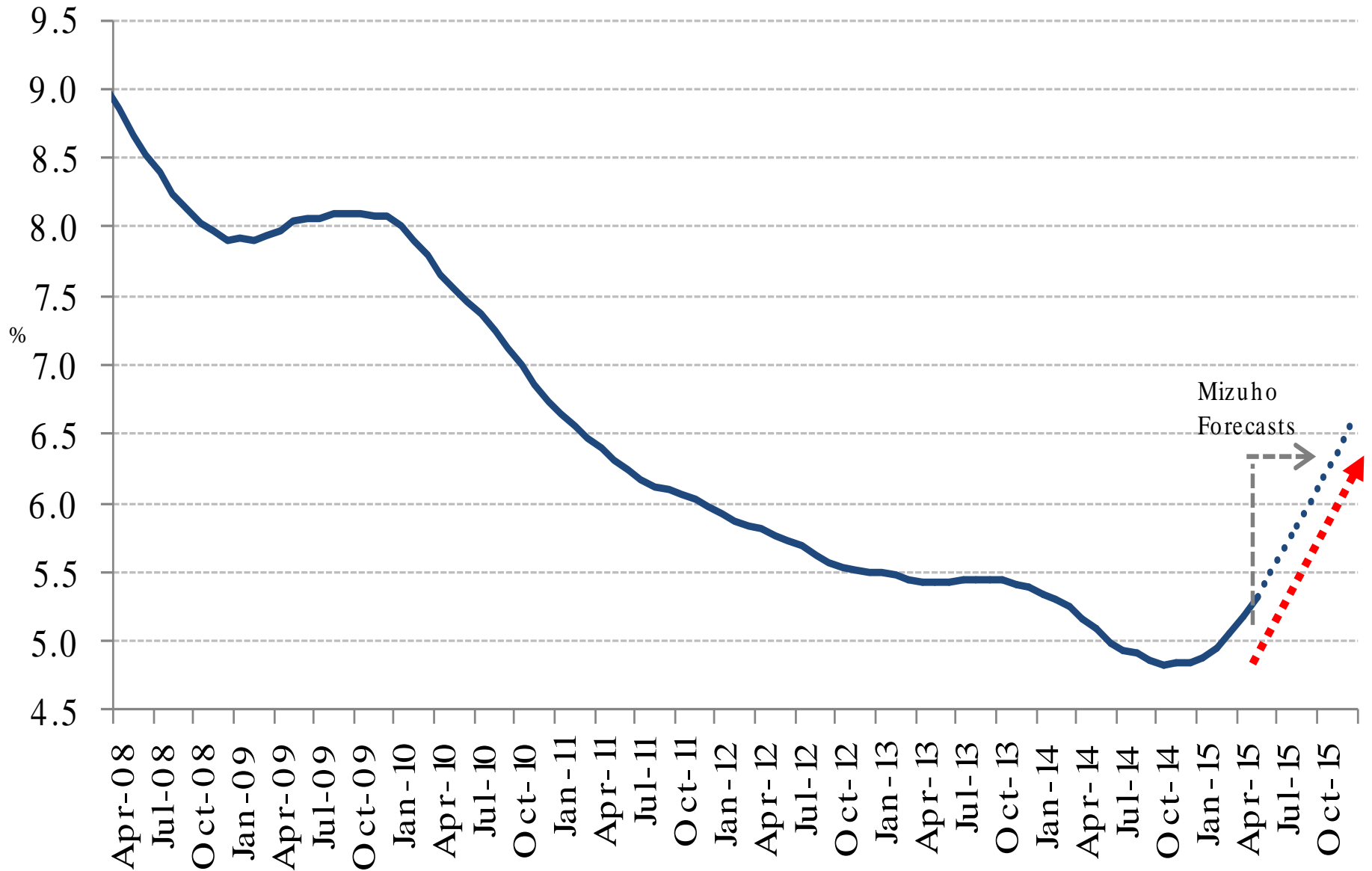


# 株価・CDS

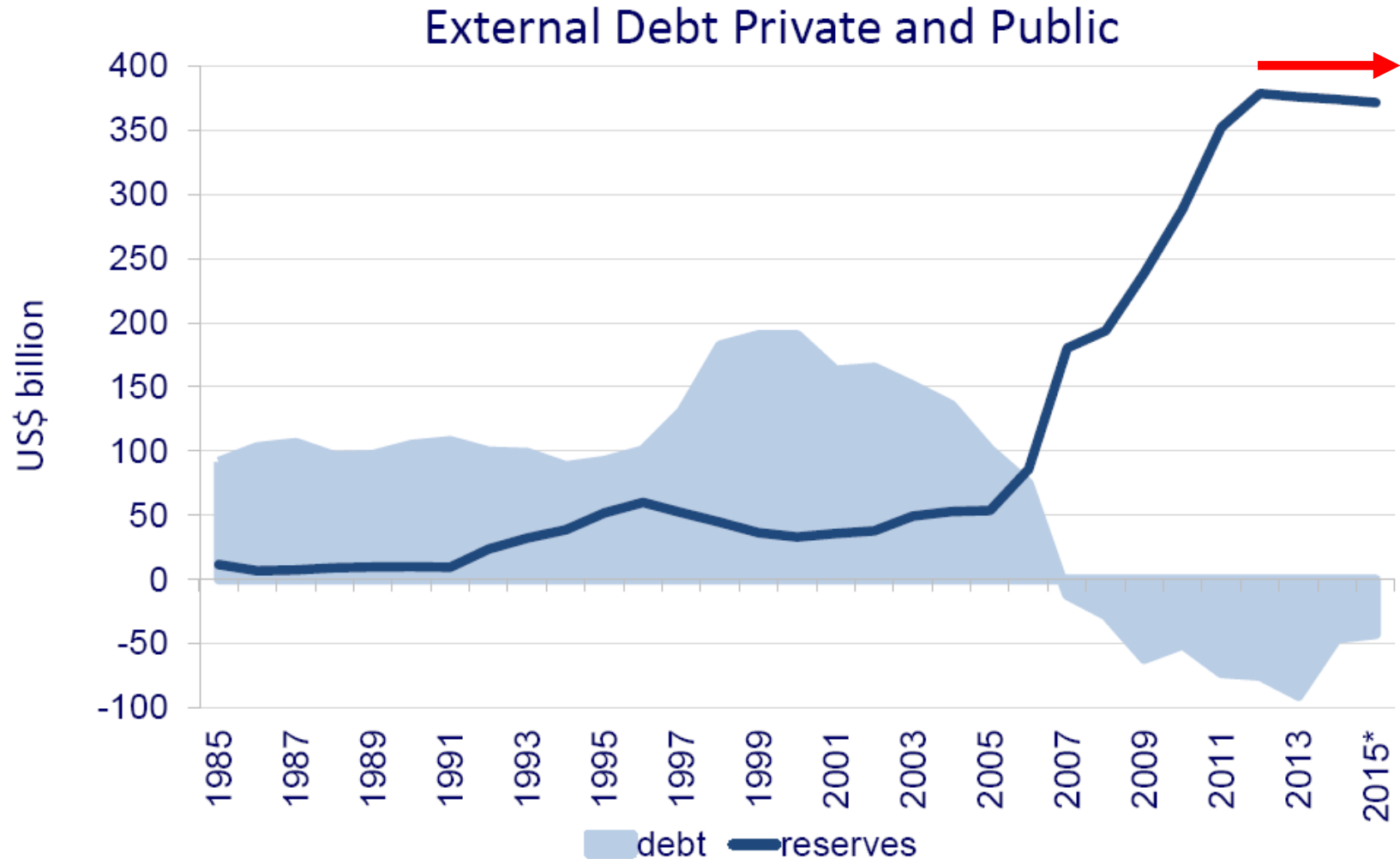


# 失業率

金融部会



## International Reserves x Net External Debt



# 2015年下期ブラジル経済の展望

金融部会

指標	予測値 (前回シンポジウム予測値)	メインシナリオ(2015年7月末時点)
GDP成長率 (前年比%)	▲1.7 ~ ▲2.2 (▲0.4 ~ 0.5)	<p>✓ 景況感が家計・企業とも急速に悪化。第三四半期は更なる景気後退が予想される。特に企業投資の落ち込みが大きく、雇用情勢が悪化、個人消費の伸びも弱い。失業率が10%近辺となる可能性がある中、GDPはマイナス1.7%からマイナス2.2%程度まで落ち込むか。</p> <p>✓ 食品を中心にインフレ圧力が高まっており、9%以上のインフレが予想される。ただし景気後退、労働市場の軟化により、徐々に落ち着きを取り戻すか。</p> <p>✓ 財政目標引き下げやS&amp;Pの格付け見直し下方修正を受け3.5に迫る動き。</p> <p>✓ 7月29日の金融政策委員会で0.5%の利上げを実施し、14.25%へ。年内は打ち止めか。</p>
インフレ率 (IPCA%)	9.0 ~ 9.4 (6.5 ~ 7.0)	
年末為替レート (リアル/ドル)	3.2 ~ 3.5 (2.65 ~ 2.85)	
年末政策目標金利 (%)	14.25 (12.5 ~ 12.75)	

# 2015年下期ブラジル経済の展望

金融部会

指標	予測値 (前回シンポジウム予測値)	リスクシナリオ (2015年7月末時点)
GDP成長率 (前年比%)	▲2.0 ~ ▲3.0 (0.0 ~ ▲2.0)	✓ 政治的混乱、議会の横槍から政府の経済政策が実現せず
インフレ率 (IPCA%)	8.0 ~ 10.3 (6.2 ~ 7.1)	✓ ルセフ大統領が政権に残り、レヴィ財務大臣が辞任 ✓ 外部格付が投資適格から陥落
年末為替レート (リアル/ドル)	3.7 ~ 4.2 (3.0 ~ 3.1)	✓ 海外投資家のブラジル資産離れが加速し、為替レートはUS\$=R\$3.7を超える水準に上昇。 ✓ 高金利、高インフレ、資本流出、為替暴落が重なり負のスパイラルに。
年末政策目標金利 (%)	12.0 ~ 15.0 (13.0 ~ 13.5)	✓ 景気の落ち込みから、政府は金利引き下げ、政府支出増加、減税等、大衆迎合政策を採ることを余儀なくされる

- ✓ 2016年のGDP成長率予想はマイナス0.7%～ゼロ
- ✓ インフレ率は5%前半に収束か
- ✓ もしルセフ大統領が罷免或いは辞任したら  
⇒ 景気、為替、株価が揃ってV字回復か？！
- ✓ V E J A誌楽観シナリオ ⇒ 2016年以降成長軌道へ  
GDP成長率: 2016年 + 0.8%、2017年 + 2.3%、2018年  
2.5%
- ✓ 安定した金融システム
- ✓ M & A や直接投資に期待



## 貸出残高推移

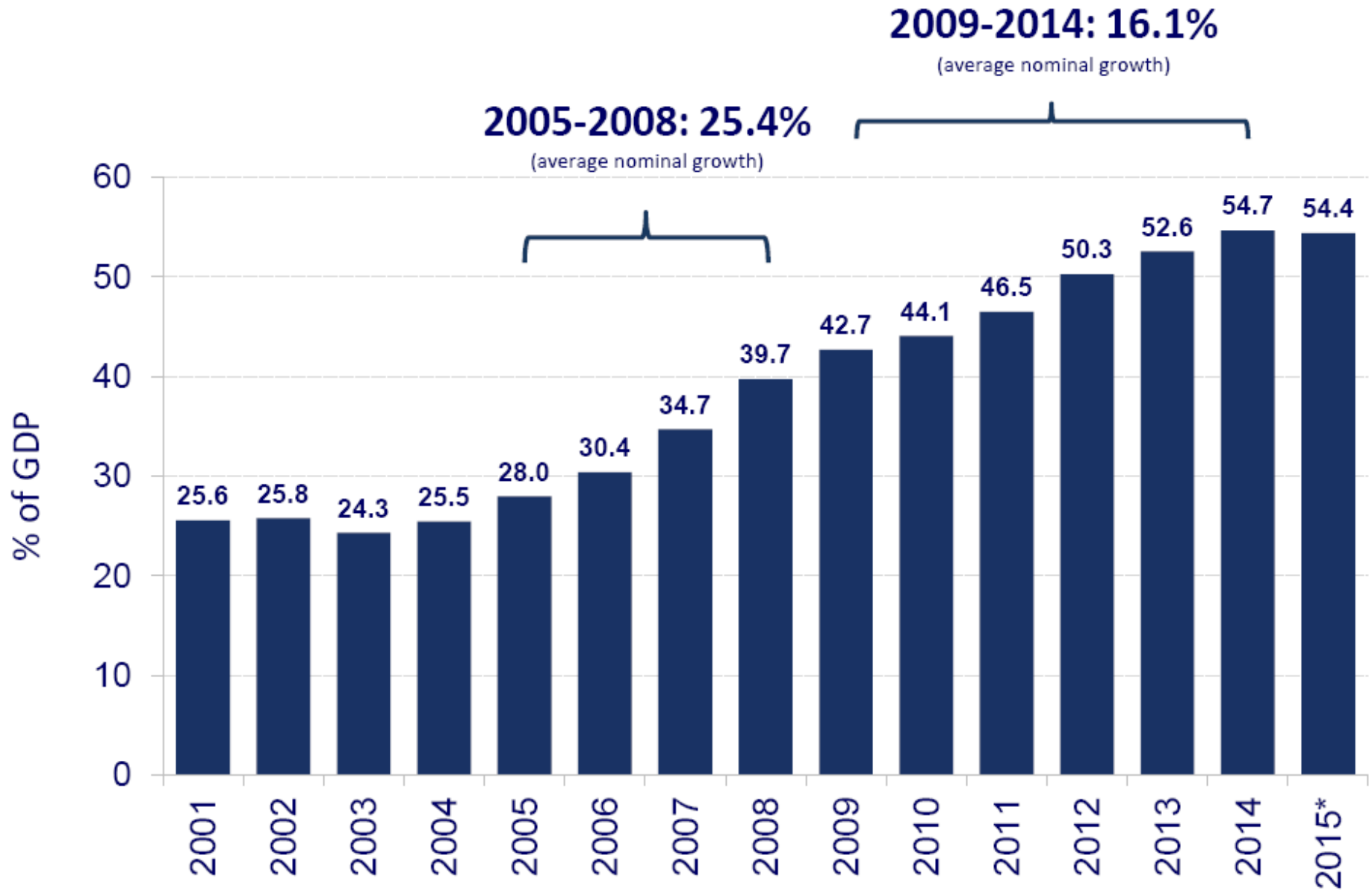
## 貸金残高推移

前年同期比  
(BRL Bi) (%)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015/6
個人	236	314	390	462	549	642	709	768	783	794
(同増加率)	N/A	33%	24%	19%	19%	17%	10%	8%	2%	↑ 5%
住宅	36	46	63	92	139	221	298	395	498	540
(同増加率)	N/A	28%	38%	45%	51%	59%	35%	33%	26%	↓ 22%
農業	78	89	106	112	124	141	167	218	271	276
(同増加率)	N/A	15%	19%	6%	10%	14%	18%	31%	24%	↓ 9%
法人	383	487	668	748	894	1 030	1 194	1 334	1 465	1.493
(同増加率)	N/A	27%	37%	12%	20%	15%	16%	12%	10%	↓ 9%
内BNDES	139	160	209	283	358	418	476	552	638	655
(同増加率)	N/A	15%	31%	35%	26%	17%	14%	16%	16%	↓ 14%
合計	733	936	1 227	1 414	1 706	2 034	2 368	2 715	3 017	3 102
(同増加率)	N/A	28%	31%	15%	21%	19%	16%	15%	11%	10%

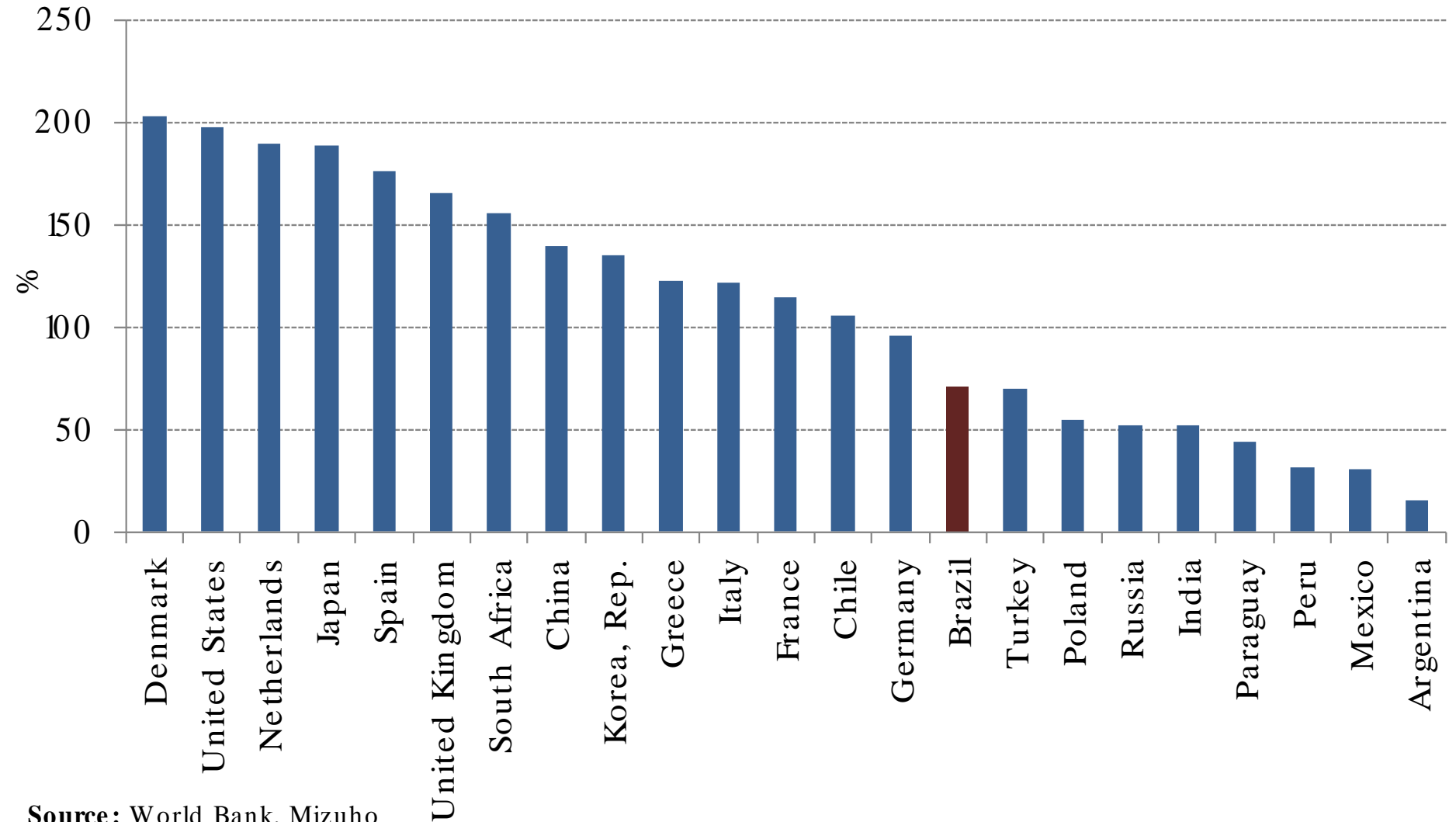
出所：ブラジル中央銀行

# 貸出残高/対GDP比率



# 国別貸出残高/GDP比率

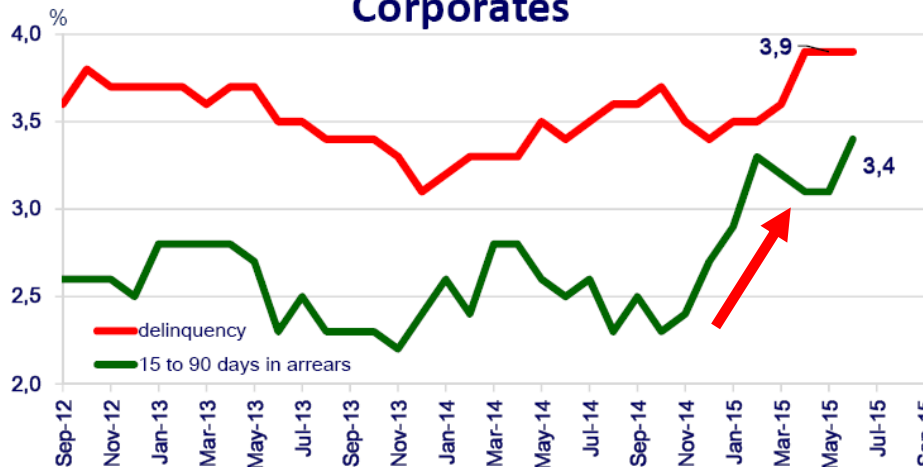
金融部会



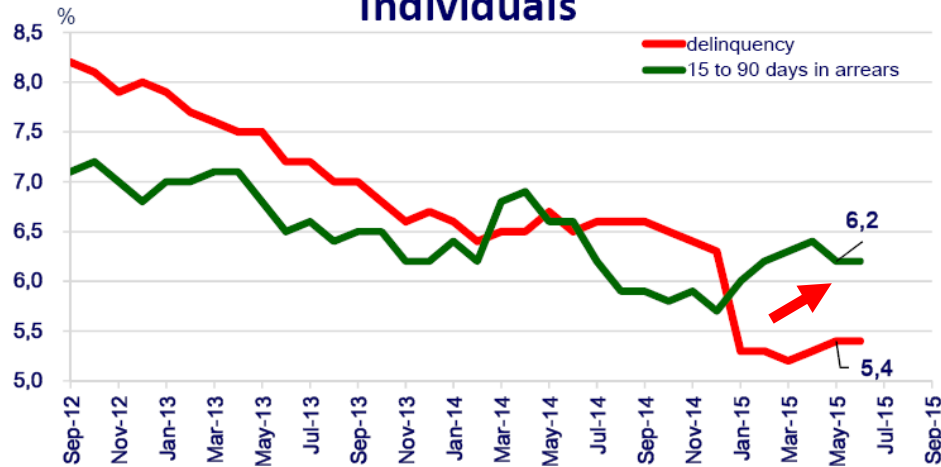
Source: World Bank, Mizuho

# 延滞率推移

## Corporates



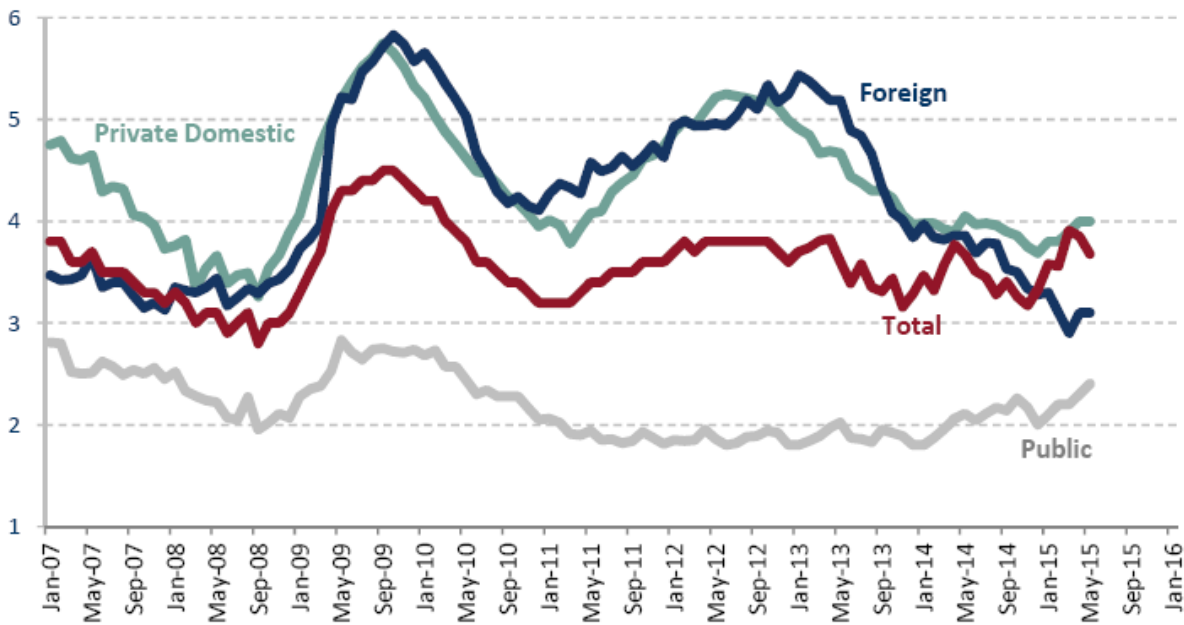
## Individuals



Source: BCB

## Historic 90-day NPL ratio (%)

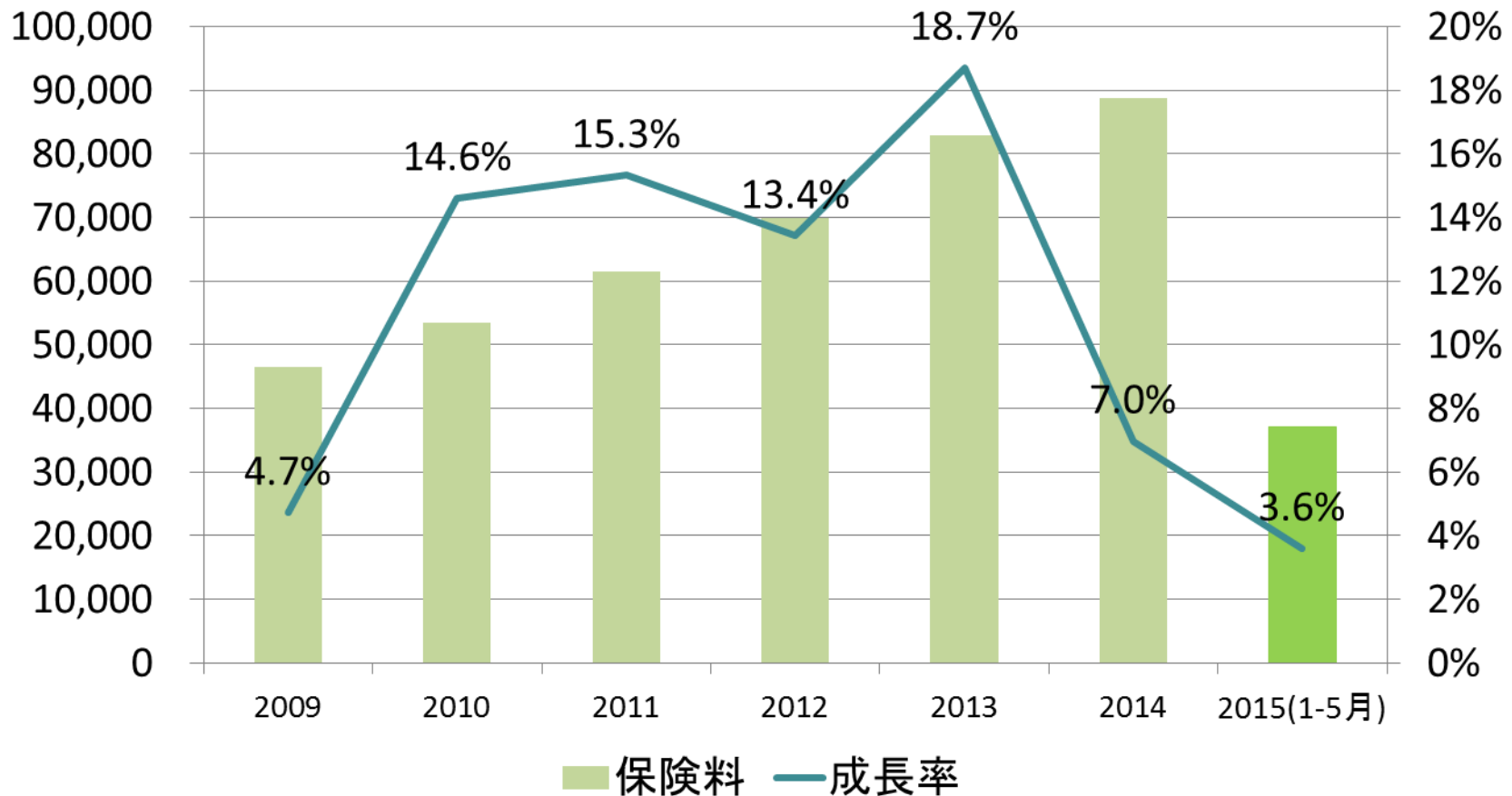
Marked and unmarked loans (Dec/14)



Source: BCB

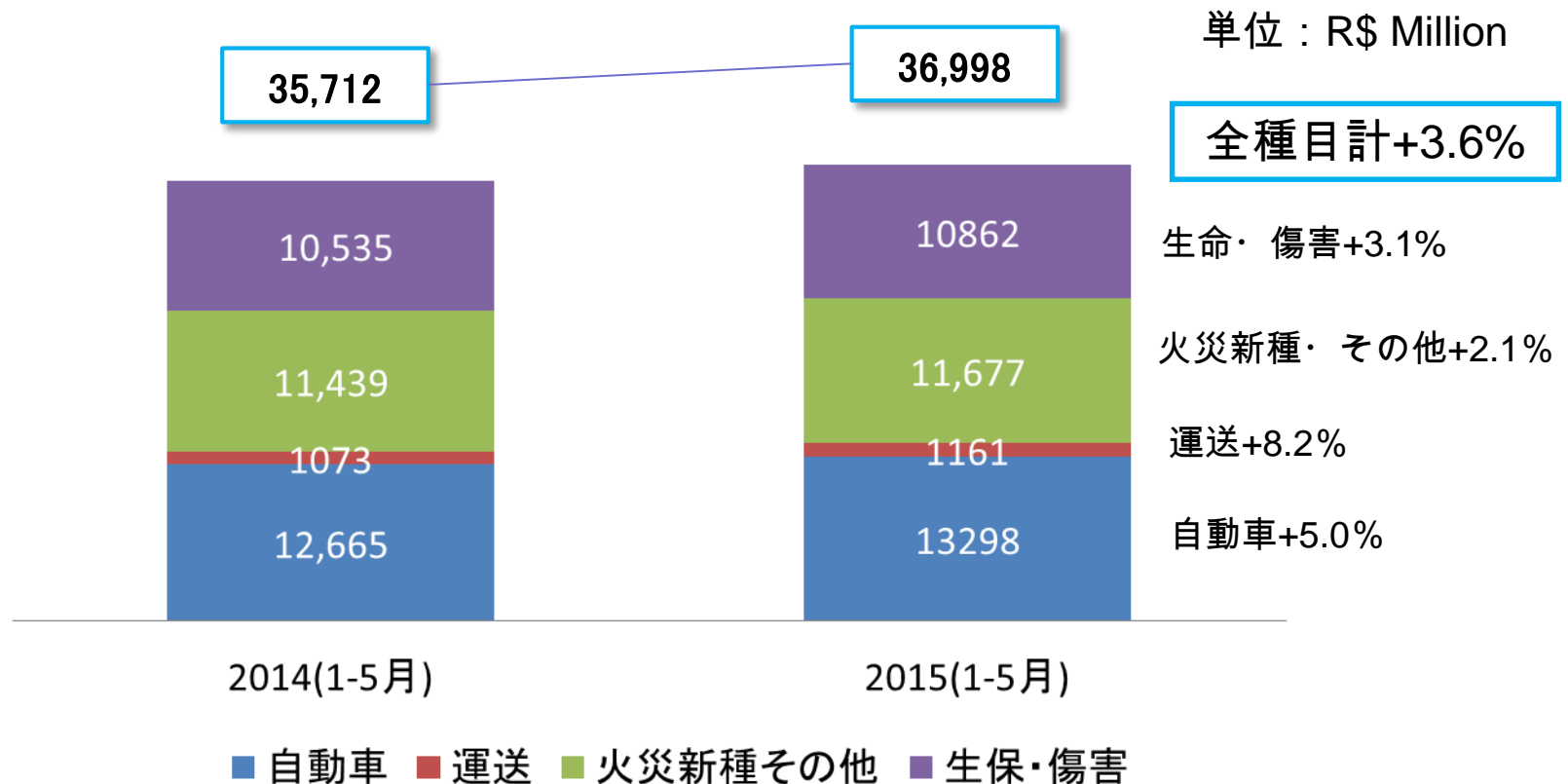
## 保険料収入推移（除く年金、医療）

単位：R\$ Million



2014年以降、ブラジル経済の低迷と共に、保険業界の成長も鈍化している。

## 2015年1-5月の保険料収入の内訳



特に、企業を対象とした火災・新種保険について、成長が鈍化傾向にある。

## 2015年の保険種目別損害率

保険種目	2014年1-5月	2015年1-5月	前年比
自動車	63.1%	62.3%	▲0.8%
火災新種・その他	45.9%	56.5%	10.6%
運送	61.9%	74.5%	12.6%
生命・傷害	30.9%	28.8%	▲2.1%
合計	48.3%	51.3%	3.0%

※グロス損害率

企業を対象とした種目（火災・新種保険、運送保険）の損害率は、悪化傾向にある。

## ブラジル保険市場の将来性

市場規模		保険普及			
保険料 (US\$ Billion)		保険料/GDP		保険料/人(US\$)	
米国(1)	1,280	米国(16)	7.3%	米国(10)	4,017
日本(2)	480	日本(7)	10.8%	日本(14)	3,778
英国(3)	351	英国(8)	10.6%	英国(7)	4,823
伯国(13)	85	伯国(39)	3.9%	伯国(44)	422

※2014年データ、( )は、世界ランキング

ブラジルは、他の先進国と比べ保険の普及が低く、中長期的には、保険市場の拡大が見込まれる。



**貿易 部会**

**富島 寛 部会長**

**Departamento de Comércio Exterior**

**Presidente: Hiroshi Tomishima**

## Introduction

# 2015年上半期 ブラジル貿易動向

2015年8月20日  
ブラジル日本商工会議所  
貿易部会

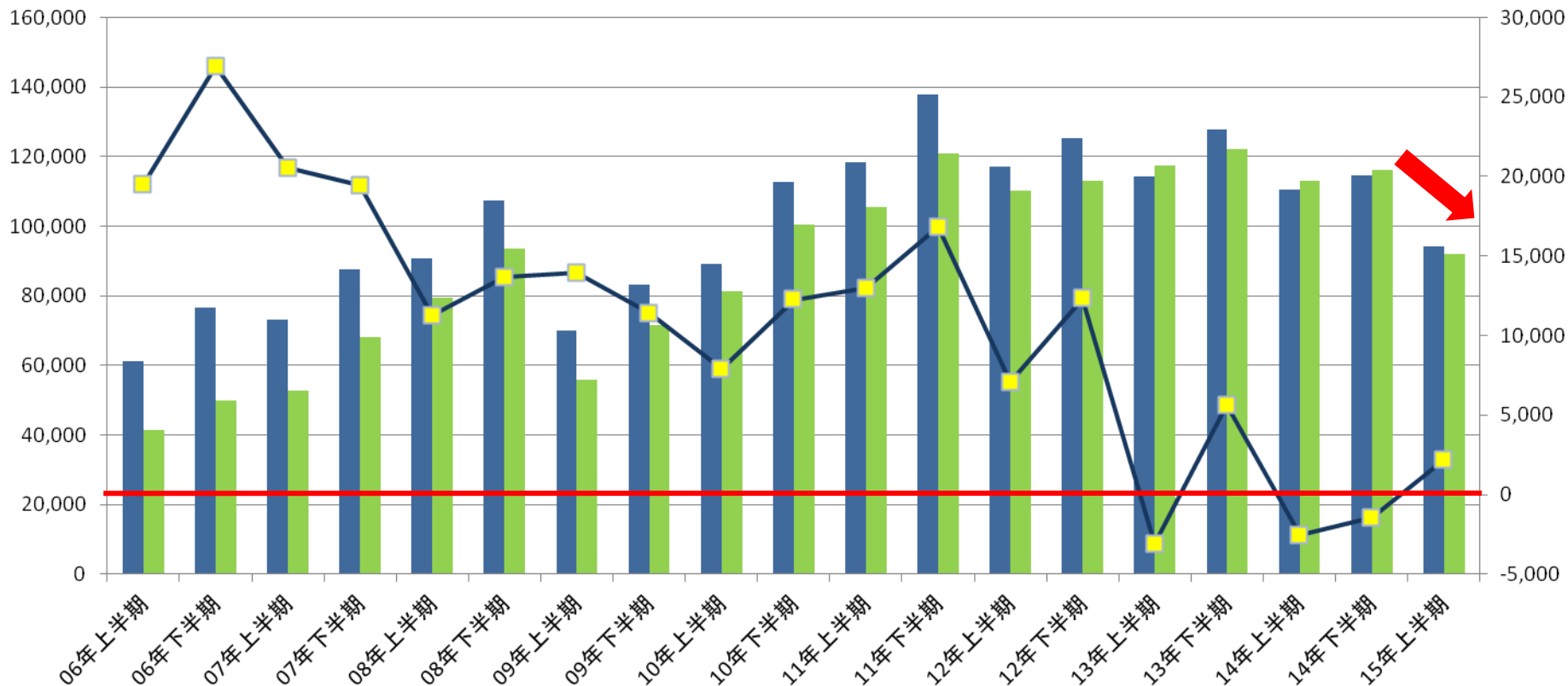
# 1. 総括

## 半期ごとの輸出入額の推移

＜輸出入額＞

■ 輸出額 ■ 輸入額 ■ 貿易収支

＜貿易収支＞



(単位: 百万ドル)

＜為替レート＞

・2014年 R\$2.35/US\$

・2015年上半期 R\$2.97/US\$ (期中平均)

＜出所＞ 開発商工省貿易局 (SECEX)

# 2. 輸出 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(\*乗用車/航空機のみ単位は「台数」)

	2014年上半期			2015年上半期			増減率	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率
一次産品	56,162	50.8%	224,593	44,039	46.7%	246,908	-21.6%	9.9%
大豆	16,124	14.6%	31,803	12,502	13.3%	32,248	-22.5%	1.4%
鉄鉱石	14,036	12.7%	156,740	7,163	7.6%	167,800	-49.0%	7.1%
原油	6,814	6.2%	10,594	6,399	6.8%	19,320	-6.1%	82.4%
大豆かす	3,499	3.2%	6,567	2,975	3.2%	7,336	-15.0%	11.7%
半製品	13,302	12.0%	19,315	12,789	13.6%	21,038	-3.9%	8.9%
粗糖	3,067	2.8%	7,947	2,642	2.8%	7,829	-13.9%	-1.5%
化学木材パルプ	2,607	2.4%	5,308	2,567	2.7%	5,699	-1.5%	7.4%
合金	1,387	1.3%	2,545	1,481	1.6%	3,661	6.8%	43.9%
毛皮	1,457	1.3%	253	1,238	1.3%	216	-15.0%	-14.6%
工業製品	38,074	34.4%	21,848	35,047	37.2%	22,702	-8.0%	3.9%
航空機	1,525	1.4%	1	1,623	1.7%	1	6.4%	0.0%
乗用車	1,675	1.5%*	155	1,564	1.7%	152	* -6.6%	-1.9%
水酸化アルミニウム	1,099	1.0%	4,160	1,317	1.4%	4,388	19.8%	5.5%
自動車・トラクター部品	1,300	1.2%	178	1,176	1.2%	167	-9.6%	-6.2%
その他	2,993	2.7%	2,796	2,454	2.6%	3,159	-18.0%	13.0%
輸出総額	110,531	100.0%	268,552	94,329	100.0%	293,807	-14.7%	9.4%

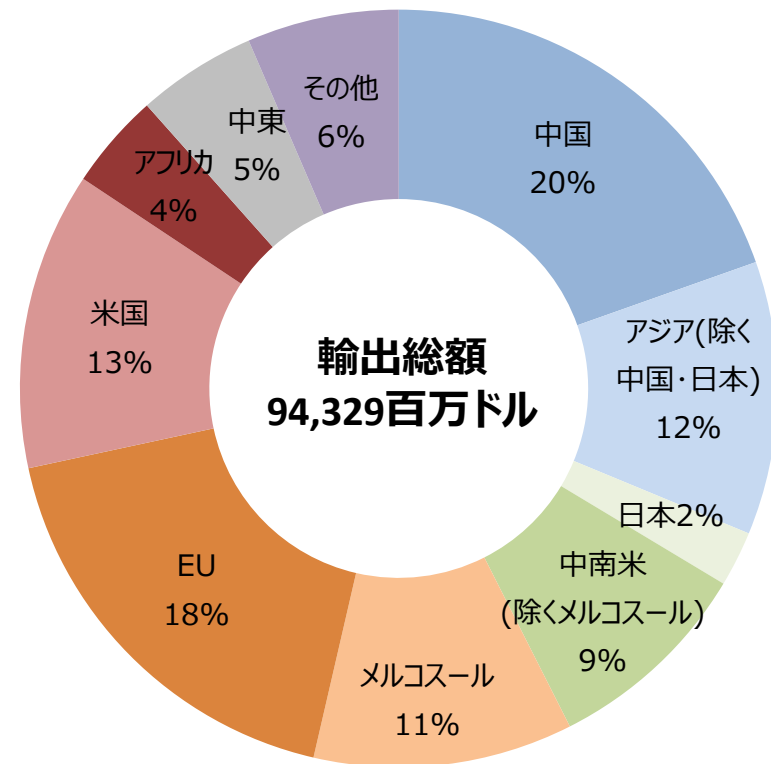
# 2. 輸出 ～主要国/地域別～

## 輸出相手先上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2014年 上期	2015年上期		増減率
		金額	構成比	
中国	23,880	18,475	19.6%	-22.6%
米国	12,734	11,933	12.7%	-6.3%
アルゼンチン	7,418	6,478	6.9%	-12.7%
オランダ	6,904	4,756	5.0%	-31.1%
ドイツ	3,014	2,851	3.0%	-5.4%
日本	3,282	2,232	2.4%	-32.0%
チリ	2,221	1,912	2.0%	-13.9%
インド	1,876	1,693	1.8%	-9.8%
メキシコ	1,691	1,665	1.8%	-1.5%
イタリア	2,130	1,617	1.7%	-24.1%
その他	45,381	40,717	43.2%	-10.3%
輸出総額	110,531	94,329	100.0%	-14.7%

## 地域別構成比率



<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)

# 3. 輸入 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(\*乗用車のみ単位は「台数」)

	2014年上期			2015年上期			増減率	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率
一次産品	15,317	13.5%	34,714	10,008	10.9%	33,657	-34.7%	-3.0%
原油	7,087	6.3%	8,451	3,130	3.4%	6,476	-55.8%	-23.4%
天然ガス	2,015	1.8%	4,541	1,502	1.6%	4,630	-25.5%	2.0%
半製品	3,652	3.2%	5,020	3,458	3.8%	4,209	-5.3%	-16.2%
塩化カリウム	1,240	1.1%	4,067	1,089	1.2%	3,195	-12.2%	-21.4%
工業製品	94,077	83.2%	39,145	78,643	85.4%	37,613	-16.4%	-3.9%
医薬品	3,442	3.0%	18	3,041	3.3%	19	-11.6%	6.8%
自動車部品	3,731	3.3%	462	2,914	3.2%	384	-21.9%	-16.9%
乗用車	3,910	3.5%	248	2,803	3.0%	174	-28.3%	-29.8%
燃料油	4,304	3.8%	4,625	2,279	2.5%	3,824	-47.1%	-17.3%
液化天然ガス	1,336	1.2%	1,588	1,901	2.1%	3,515	42.3%	121.3%
半導体	2,334	2.1%	2	1,844	2.0%	1	-21.0%	-23.9%
輸入総額	113,046	100.0%	78,879	92,108	100.0%	75,479	-18.5%	-4.3%

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、BRAZILIAN AUTOMOTIVE INDUSTRY YEARBOOK

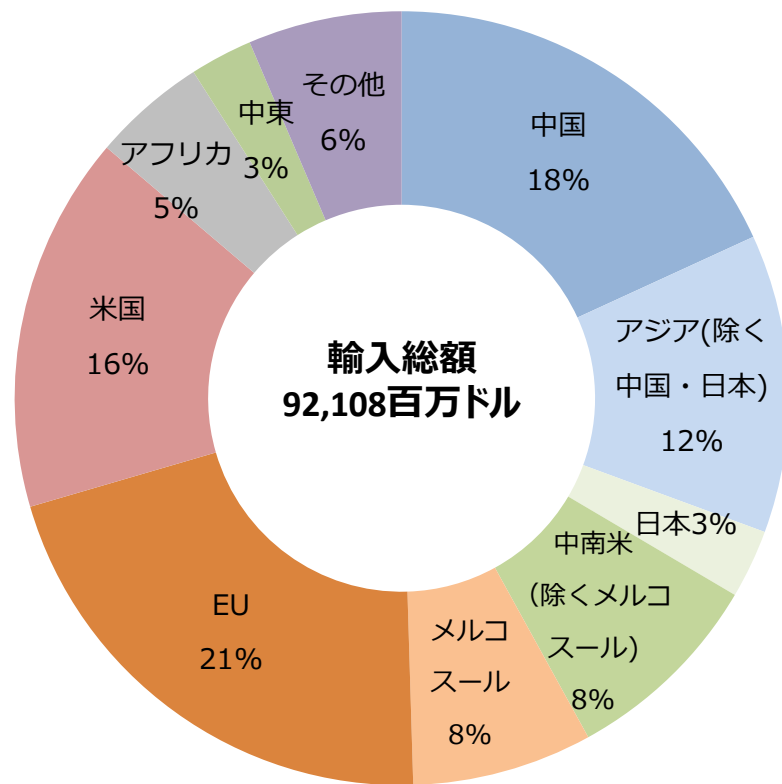
# 3. 輸入 ～主要国/地域別～

## 輸入相手先上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2014年 上期	2015年上期		増減率
		金額	構成比	
中国	18,406	16,720	18.2%	-9.2%
米国	17,470	14,346	15.6%	-17.9%
アルゼンチン	7,034	5,556	6.0%	-21.0%
ドイツ	7,018	5,546	6.0%	-21.0%
韓国	4,517	3,184	3.5%	-29.5%
日本	2,980	2,644	2.9%	-11.3%
イタリア	3,129	2,550	2.8%	-18.5%
インド	3,390	2,423	2.6%	-28.5%
メキシコ	2,682	2,391	2.6%	-10.8%
フランス	2,864	2,181	2.4%	-23.9%
その他	43,557	34,568	37.5%	-20.6%
輸入総額	113,046	92,108	100.0%	-18.5%

## 地域別構成比率



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

# 4. 対日貿易

## <輸出>

(単位:百万ドル)

商品名	2014年 上期	2015年上期		伸び率
		金額	構成比	
鉄鉱石	1,343	630	28.2%	-53.1%
鶏肉	496	385	17.2%	-22.4%
コーヒー豆	185	227	10.2%	22.7%
アルミニウム	212	206	9.2%	-2.8%
合金	155	115	5.2%	-25.8%
冷凍オレンジ果汁	58	73	3.3%	25.9%
大豆	159	72	3.2%	-54.7%
化学木材パルプ	55	50	2.2%	-9.1%
窒素化合物	40	41	1.8%	2.5%
木材チップ	50	33	1.5%	-34.0%
その他	529	400	17.9%	-24.4%
合計	3,282	2,232	100.0%	-32.0%

## <輸入>

(単位:百万ドル)

商品名	2014年 上期	2015年上期		伸び率
		金額	構成比	
自動車・トラクター部品	294	261	9.9%	-11.2%
乗用車	219	157	5.9%	-28.3%
測定機器等	138	124	4.7%	-10.1%
ベアリング・歯車及び それら部品	116	107	4.0%	-7.8%
自動車エンジン部品	111	97	3.7%	-12.6%
鉄道関連製品	19	74	2.8%	289.5%
鋼管	44	71	2.7%	61.4%
自動車用エンジン及び それらの部品	66	63	2.4%	-4.5%
自動車二輪車部品	64	62	2.3%	-3.1%
窒素化合物	56	58	2.2%	3.6%
その他	1,853	1,570	59.4%	-15.3%
合計	2,980	2,644	100.0%	-11.3%

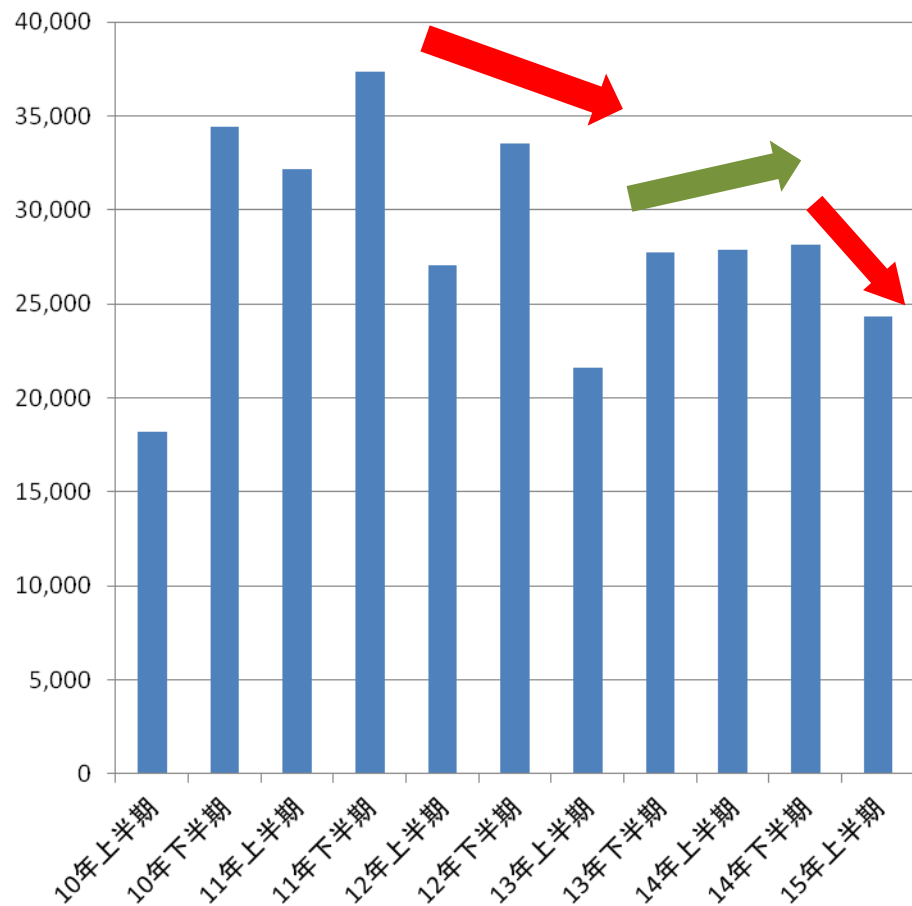
<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)



# 5. 対内直接投資 ～推移・国別～

## 対内直接投資推移

(単位:百万ドル)



<出所>ブラジル中央銀行

## 国・地域別対内直接投資

(単位:百万ドル)

国	2014年 上期	2015年上期		伸び率
	金額	金額	構成比	
スペイン	3,539	5,174	21.3%	46.2%
オランダ	4,486	3,184	13.1%	-29.0%
アメリカ	4,331	3,066	12.6%	-29.2%
ルクセンブルグ	2,181	2,853	11.7%	30.8%
日本	2,147	1,392	5.7%	-35.1%
フランス	1,331	1,289	5.3%	-3.1%
英国	1,158	766	3.2%	-33.8%
ノルウェー	355	753	3.1%	112.3%
スイス	890	550	2.3%	-38.2%
カナダ	505	501	2.1%	-0.8%
その他	6,964	4,774	19.6%	-31.4%
合計	27,887	24,304	100.0%	-12.8%

# 5. 対内直接投資～主要業種別～

(単位:百万ドル)

	2014年上期		2015年上期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
一次産品（農業、畜産、鉱業、その他）	2,346	8.4%	3,863	15.9%	64.7%
石油・天然ガス採掘	1,008	3.6%	2,025	8.3%	100.9%
金属鉱物採掘業	788	2.8%	1,004	4.1%	27.4%
工業（その他も含む）	6,899	24.7%	5,445	22.4%	-21.1%
コンピュータ機器、電子製品	439	1.6%	541	2.2%	23.2%
食品	744	2.7%	584	2.4%	-21.5%
化学製品	922	3.3%	546	2.2%	-40.8%
医薬品・薬剤	546	2.0%	200	0.8%	-63.4%
自動車・トレーラー・車体	1,258	4.5%	1,118	4.6%	-11.1%
サービス業（その他も含む）	18,543	66.5%	14,894	61.3%	-19.7%
商業（自動車除く）	2,579	9.2%	2,930	12.1%	13.6%
金融・同補助サービス	3,108	11.1%	552	2.3%	-82.3%
保険・同補助サービス	280	1.0%	248	1.0%	-11.3%
不動産	842	3.0%	864	3.6%	2.6%
電気・ガス	1,606	5.8%	542	2.2%	-66.3%
通信	4,465	16.0%	4,283	17.6%	-4.1%
不動産売買	99	0.4%	101	0.4%	2.4%
合計	27,887	100.0%	24,304	100.0%	-12.8%

<出所>ブラジル中央銀行

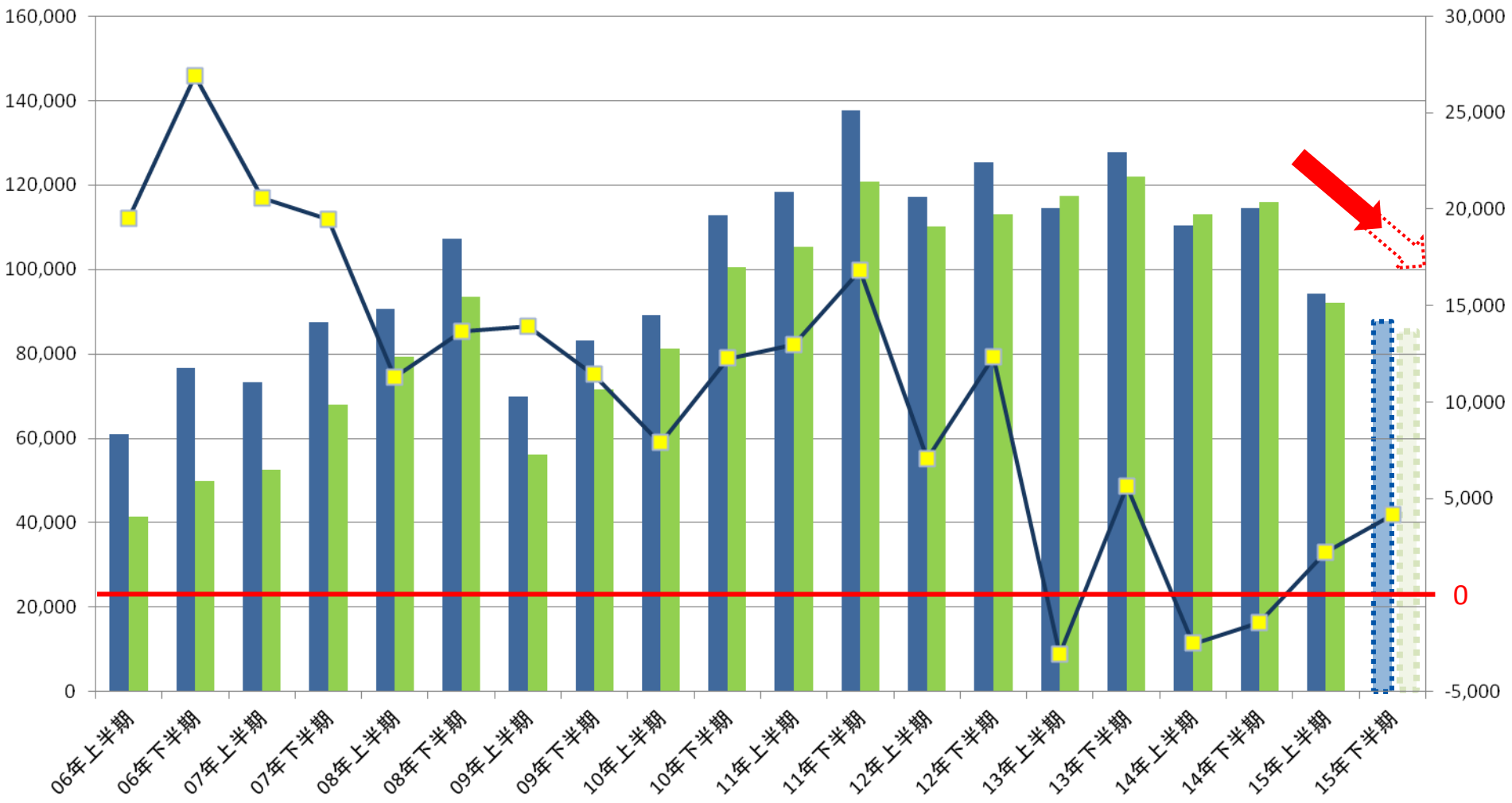
# 6. まとめ ～2015年通期展望～

(単位:百万ドル)

<輸出入額>

■ 輸出額 ■ 輸入額 ■ 貿易収支

<貿易収支>



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

**機械金属 部会**

**渡辺 健司 部会長**

**Departamento de Metalmeccânica**

**Presidente: Kenji Watanabe**

# 業種別部会長シンポジウム

「2015年上期の回顧と2015年下期の展望」  
必ず復活！ブラジル ～日系企業はどう立ち向かうか～

## 機械金属部会

### 1 機械金属部会の業種・分野別分類

全体概況 ..... Page 3

セグメント別レポート.....Page 4～9

2 造船業界タスク フォース会議の推移.....Page 10～11

2015年8月20日  
川崎重エブラジル

# 業種別部会長シンポジウム

## 機械金属部会

「2015年上期の回顧と2015年下期の展望」

必ず復活！ブラジル ～日系企業はどう立ち向かうか～

### 業種・分野別分類

(1) 鉄鋼業

(2) 発電・社会インフラ業

(都市交通・鉄道)

(3) プラント機械・船舶業

(4) 建設機械業

(5) 農業機械業

(6) 工作・計測機械業

# 全体概況（共通）

## 2015年上期の回顧

- ✓ **インフレ**率の高止まり、政策金利は上昇。資金調達コストの増大で設備投資低迷。
- ✓ 国民の**消費マインド**も縮少し、自動車の販売台数などは 14年度比で17%減少。
- ✓ **ペトロbras**の案件は予算40%削減でパイプ油井管・船用DGの商談数が激減。原油価格の低下もあり、大型プロジェクトも軒並み延期。
- ✓ **ラバジャット**捜査が経済界・政界に広がり、収束の見通しが建っていない。不透明感の中、銀行資金の流動性が乏しくなり、企業の倒産・支払遅延件数が増加。
- ✓ **中国**経済の成長率低下、**EU**経済の不安定化、**南米**諸国でのデフォルト発生など成長鈍化が顕著で、リアル安にも拘らず、輸出産業不振。

## 2015年下期の展望

- ✓ レヴィー財務大臣は財政立て直し、インフレ沈静を軸足に政策を進めており、**政策金利**も14%後半が予想され 経済成長にはマイナス効果（GDP成長率はマイナス2%を予想）。
- ✓ ブラジル国際の**格付け**引き下げが予想され、資金調達コスト増加が見込まれる。
- ✓ 輸出先の低成長傾向は継続が予想され、輸出は不振。 **原油・鉄鉱石・コモディティ**需要減で、市場価格も低迷が続くと予想。
- ✓ ペトロbras汚職疑惑は関連企業の**流動資金不足**をまねき、サプライチェーン全体の縮小化を誘導している。復活は早く2016年下期、**鉄鋼は2018年**まで期待薄。

ブラジル経済が復活するためには！

- ラバジャットの早期終結
- 農業・エネルギー第一次産品の相場上昇
- インフレ収束

# 1.鉄鋼業

## 2015年上期の回顧

	鋼材見掛消費	粗鋼生産量
2013年(実)	2,640万トン	3,420万トン
2014年(実)	2,460万トン (前年比▲7%)	3,390万トン (▲1%)
2015年度(予)	2,260万トン (前年比▲8%)	未定

内需は 2014年、2015年ト年間**200万トン減少**したが、粗鋼生産量は大きく落ちていない。国内の落ち込みを輸出でカバーしてきた。今年 Usiminasは高炉2本の休止を発表 2015年度**粗鋼生産量も▲150万トン**と予想される。

背景：  
自動車製台数の上期は前年同期比▲18.5%  
造船・ペトロブラス関連も大幅減

## 2015年下期の展望

ブラジルの経済概況の好転にはかなりの時間を要する。  
鉄鉱石の市況は 中国市場の需要に大きく左右されるが、その反転回復は 中国経済の回復時期を考えると、2018年以降と予測する。

レアル安を背景に国内の減少を輸出で補ってきたが、ブラジルの鉄鋼業にコスト競争力があるということではなく、**鉄鋼不況の恒常化**が懸念される。



## 2.発電・社会インフラ(都市交通・鉄道)

### 2015年上期の回顧

#### 発電

**水不足・電力代金の高騰**は電源の多様化ニーズを拡大させた。小型水力、風車、火力の発電案件が期待される。先の電力オークションでもバイオマス・ガス大型火力の計画が具体化しつつあるが、ファイナンスとガス安定供給の確保が案件成立の懸念材料となっている。

**紙・パルプ業界**の設備投資意欲は高く、回収ボイラーなどの商談が継続している。

**石油・ガス・石化・製鉄**向けの新規案件は凍結あるいは繰り延べとなっている。

#### 交通 インフラ案件

サンパウロ地下鉄6号線を昨年正式受注し、プロジェクト立上げを行った。2020年完工を目指し、現在設計工事を遂行中。サンパウロ市向けに検討している案件は数プロジェクト有るものの、商談はほぼ止まっている。

### 2015年下期の展望

- ✓ 引き続き、深刻な水不足により電気代高騰、電源多様化が加速される可能性が高い。再生エネルギー 風力・バイオマス発電案件の増加を見込む。ガス焚大型火力の引合いも。
- ✓ 電力事情の悪化を背景に、**小型・分散型**発電セットの需要増が見込まれる。NG焚ガスエンジンの引合いも出始めている。
- ✓ 工場 **省エネ**発電投資の検討も再開されている。

大都市を中心に都市交通**インフラ改善**のニーズは依然高く、複数の都市で地下鉄等建設計画は有すものの、施主となる州・市政府も新政権発足直後であり、商談プロセスは遅れる見込み。

### 3.プラント機械・造船

#### 2015年上期の回顧

**製鉄**： 需要減少で新規投資案件見合わせ、高炉休止・生産調整などもあり 上半期の実績は非常に厳しい。

**石油ガス**： ペトロbrasの業績不振は改善されず、新規投資案件は実質凍結の状態。油井管の引合いも停止状態。

**石油化学**： 新規投資活動は鈍化した状況継続。

**製紙パルプ**： 世界的パルプ需要は以前高く、各社設備投資を検討している。本分野でのブラジルのコスト競争力有り。

**造船**： ペトロbras疑惑の影響で傭船会社 (SETE BRASIL) からの入金滞り、事業継続に支障大。FPSO・プラットフォーム案件も商談凍結状態。

**産業機械**： 景気減速により、ブラジルのセメント各社は設備新增設計画を延期。又、客先のプロジェクトは進捗せず、新規案件の成約には至らなかった。設備既納の客先からは、安定的にスペアパーツの受注を獲得している。

#### 2015年下期の展望

資源価格の下落・市場縮小で明るい材料乏しく、改造・補修需要程度か？

各種案件の資金調達に支障が生じる見通し。大型PJの計画は凍結若しくは大幅な遅れ

好調継続を見込む

造船会社の資金難を回避できる融資・出資スキームの構築を早期に行えるかが鍵。ペトロbrasの投資計画見直しで、契約納期などの修正が必須。

南米全体のセメント消費は拡大する方向だが、ブラジルでの設備投資は低迷する。ローカルマニュファクチャーも視野にスペアパーツは受注を図る。

## 4.建設機械

### 2015年上期の回顧

**建設機械：** 2014年度の建設機械(小型建機は除く)は15,840台、前年に比して+68台+0.4%の微増となった。同年は大統領選挙の年であり、景気対策の一環として、農業開発省(MDA)向けテnderがあったため。2015年は上期3,863台と▲50%超、テnder分を除いても ▲35%受注台数となり 落ち込みが顕著。政府の予算不足、ラバジャツ事件に起因するプロジェクトのサスペンド、景気の先行き不透明感による 建設会社・レンタル会社の投資見送りが原因。

**小型建機ビジネス：** 小型バックホールは、2014年の輸入統計全体では、前年比135%伸長しており好調であったが、1-6月の販売統計では前年比69%と低迷。

### 2015年下期の展望

中長期の新インフラプロジェクトが発表されたが、実需につながるのは、**2016年後半**以降との見通し。  
ペトロロブラス収賄事件に関与したとされる大手建設会社は、当面インフラプロジェクトに入札できない状況が続けば、それらの進捗も注視していく必要あり。

労働賃金の上昇により、小型建機の増加トレンドは中期的には変わらないと考えるが、2015年度中は 需要の低迷が継続すると推測する。

## 5.農業機械(小型ディーゼルエンジン含む)

### 2015年上期の回顧

#### 小型ディーゼルエンジンビジネス

2014年の小形ディーゼルエンジンの販売(発電機セット含む)は、全般に前年並みであったが、2015年上期の発電機セット・農耕車両向けのエンジン販売は台数・金額ベースとも **前年比119%**と好調。

#### トラクタービジネス

2014年度は 1-12月で全体で前年比85%、弊社ブランドのトラクター販売も、前年比で89%に留まった。2015年度は 14年度に引き続き、農作物の収穫が良好である反面 市場価格が下落しており、また、政府の低利融資が滞っており、昨年に増して販売は低迷している。1-6月期 **前年比78%**に留まった。

### 2015年下期の展望

上期好調の反動で受注ペースは鈍ると予想。建設作業向けの需要は暫らく回復せず、年間では、台数ベースで 2014年を10%程度上回る程度と予想。20馬力以下のブラジル製単気筒エンジンの販売は、地方への電化による市場自体の縮小に加えて、安価な中国製エンジンの流入により、今後も低迷が続くことが予想される。

トラクター需要全体は昨年比20%減程度と推測するが、新機種を投入することで販売低下を回避する計画。

## 6.各種工作・計測・産業機械

### 2015年上期の回顧

2015年上期実績は、ブラジル経済のマイナス成長、特に**自動車産業の生産台数20%超**の大幅な落ち込み 特にトラックは45%減と深刻な状況で、同事業向けの**工作・切削・計測機械**の売り上げは大幅に落ちている。

さらに、2月以降の50%近くに及ぶ急激な**リアル通貨安**は 輸入金額の上昇となり、経営を圧迫している。

通貨の大幅変動に対応するため、日本本社との間の決済通貨を**リアル建**として ブラジル法人の通貨リスクを回避した。

### 2015年下期の展望

長引くブラジル経済の低迷と先行きの不透明感から、消費者の新車購入意欲改善は当面見込めず、ブラジル自動車工業会の2015年の見通しでは 販売17.8%減、生産20.6%減となっている。景気回復時期については、**2016年半**ば以降となるであろう。 **政権交代**までは 回復しないという意見も多い。

#### [ 対策 ]

- ✓ 自動車業界低迷の中、トヨタ、ホンダがシェアを伸ばしている。**航空機、医療・食品、農業**分野への取り組みと同様に シェアアップを図る。
- ✓ 新規需要の回復スピードは遅く **AS市場**の掘り起し コストダウンが重要。
- ✓ 工場の人員削減・生産調整などを実施しながら、操業利益を確保する。
- ✓ **高性能・省エネ**製品の投入で市場開拓

## Petrobras疑惑が及ぼした機械金属部会企業への影響

	間接	直接
1. 鉄鋼		油製管用鋼材の引合い殆ど停止 造船各社(FPSO, DS等Petrobras備船)の鋼板商談停止
2. 発電・社会インフラ	火力発電案件の計画遅延	
3. プラント機械	O&G等、Refinery設備引合い中断	契約の一部解除(EPCコンソーシアム)支払い遅延
4. 造船	案件見直しで、契約内容の修正(?) 船用D.Engの引合いは2年間無し	支払い遅延 SETE BRASIL 労働者解雇、倒産危機
5. 建設機械	大手ゼネコンの公共事業への入札停止などで、引合い数は低調	
6. 農業機械		
7. 産業工作機械	投資計画見送り	資金回収難、代理店の倒産、契約キャンセル
8. 機械・計測機器	投資案件の遅延 日本からの投資意欲半減	支払い遅延ABMAQ調査 不良債権化
9. 潤滑油		

## 日伯造船 タスクフォース会議

5月14日 ジルマ大統領/ブラジル政府機関 と 造船3社代表者面談  
鉱山エネルギー省 Braga大臣、財務省 Levy大臣、  
ペトロブラス Bendine総裁、ヴァーレ Murlio Ferreira社長  
伯開発銀行 Coutinho総裁、ブラジル銀行 Alexandra Abreu社長

- 合併造船所への支援の確認
- 日伯造船協力枠組みの堅持
- Sete Brasil ドリルシップ建造資金不払いの解消
- 伯開発銀行他による 必要資金の注入

5月26日 第1回 TF 会議 (日本国政府・国土交通省の参画)

7月20日 第2回 TF 会議 (日本国政府・国土交通省の参画)

ペトロブラス・Sete Brasil 再建計画に沿って、伯開発銀行に代わり、ブラジル銀行・CAIXAが主導権をとって 支払い・融資計画を検討中。他方、ラバジャット捜査が経済・政界で収束する見通しがなく、明確の方向性が出ていない。会議の継続。

**自動車 部会**

**溝口 イサオ 副部会長**

**Departamento Automotivo**

**Vice-Presidente: Isao Mizoguchi**



# ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム 「自動車部会」レポート

2015年8月20日

## ＜2015年上期振り返りと2015年下期展望＞

必ず復活！ブラジル経済 ～日系企業はどう立ち向かうか～

- 賢人会議 開催
- 四輪業界動向
  1. 2015年上期 振り返り
  2. 2015年下期 展望
  3. 自動車市場の低迷
  4. 日系メーカーの健闘
  5. 総括(政府への提言)
- 二輪業界動向

# 0. 日伯賢人会議 開催

## スケジュール

- 5/18: 第5回 日伯賢人会議開催 @リオ・デ・ジャネイロ
- 5/19: バルボーザ企画予算大臣に提言報告 @ブラジル
- 6/15: 安倍首相に提言報告 @日本



第5回 日伯賢人会議メンバー

バルボーザ大臣報告

### 日本側

三村	新日鐵住金相談役名誉会長
内山田	トヨタ自動車取締役会長
飯島	三井物産代表取締役会長
矢島	国際協力銀行代表取締役副総裁
釜	IHI代表取締役会長
榊原	日本経団連会長

### ブラジル側

バチスタ	ヴァーレ社特別顧問
マリアーニ	伯石油化学工業連盟会長
ロドリゲス	元農務大臣
コウチーニョ	BNDES総裁
フェレイラ	ヴァーレ社社長

# 0. 日伯賢人会議 開催

## 政府および自動車業界の取り組みと課題

### 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策

- 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積

### 2) 自由貿易政策／輸出促進政策

- ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続

### 3) 人材育成

- エンジニアや熟練労働者等、技術開発やモノづくりの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成

### 4) 協調的な労使関係

- 生産性向上、および持続的成長に向けた労使協力  
(労働環境の改善、柔軟な生産弾力性の確保)

### 5) 人的交流

- 日伯関係のベースは人的交流

# 四輪業界動向

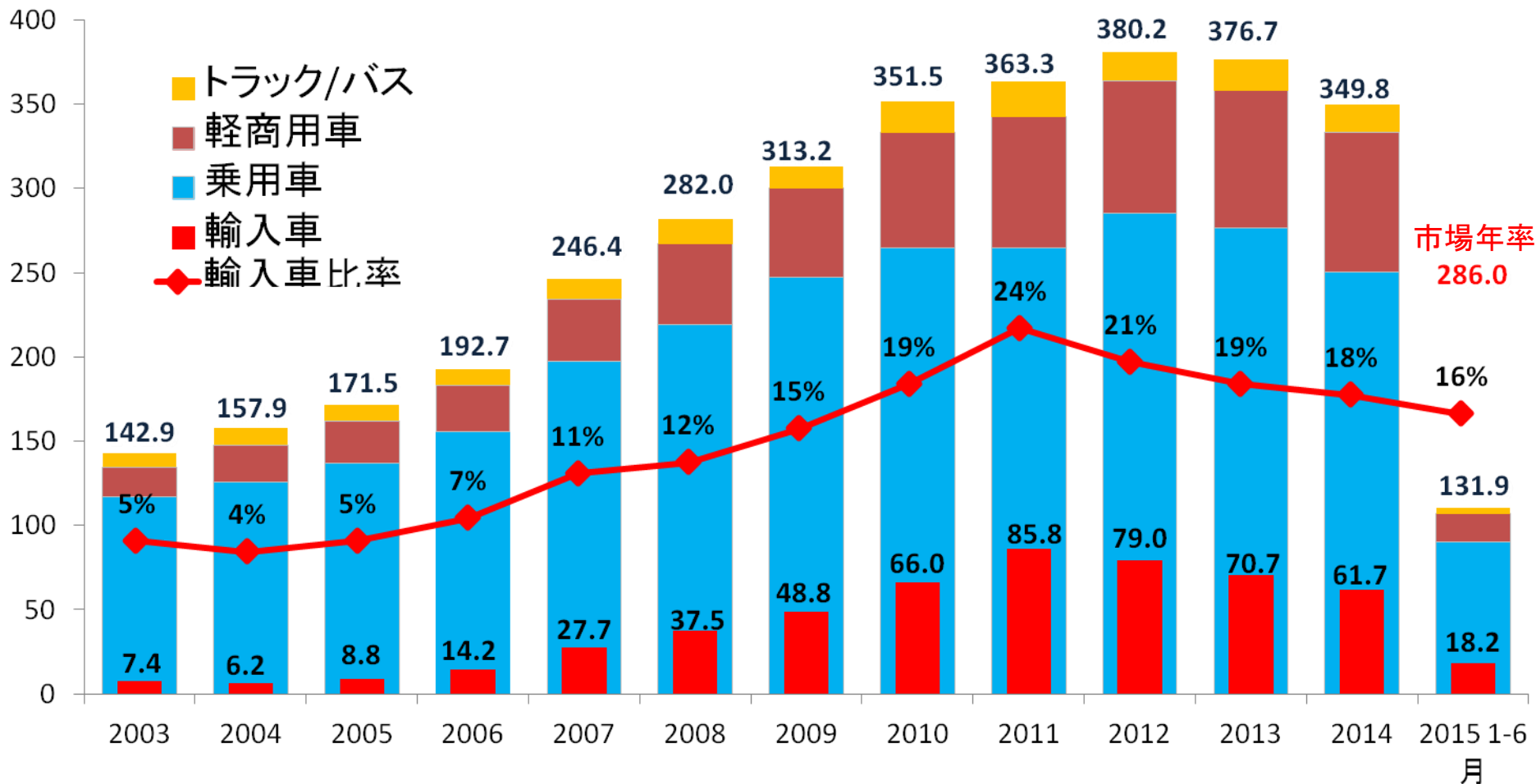
2015年8月20日

1. 2015年上期振り返り
2. 2015年下期展望
3. 自動車市場の低迷
4. 日系メーカーの健闘
5. 総括(政府への提言)

## 1. 2015年上期振り返り ―販売台数 推移

(万台)

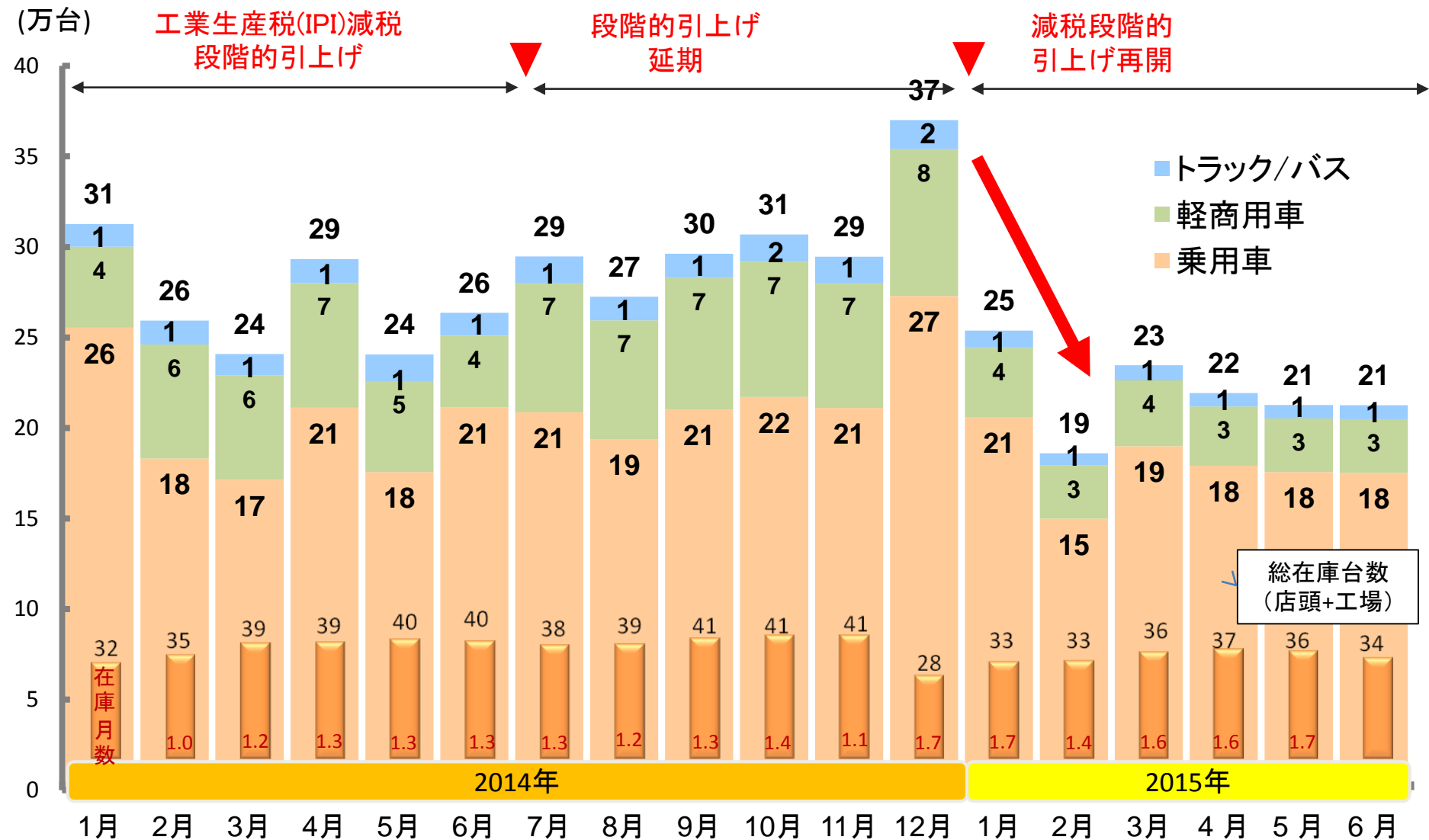
出典: ANFAVEA(ブラジル自動車工業会) 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 15年上期の販売実績は約132万台、年率286万台(前年比:約80%)と3年連続で前年を下回った
- インフレ抑制政策による金利引き上げや失業率の上昇で景況感悪化
- 輸入車比率は16%と4年連続で低下

## 1. 2015年上期振り返り 一月別販売台数 推移

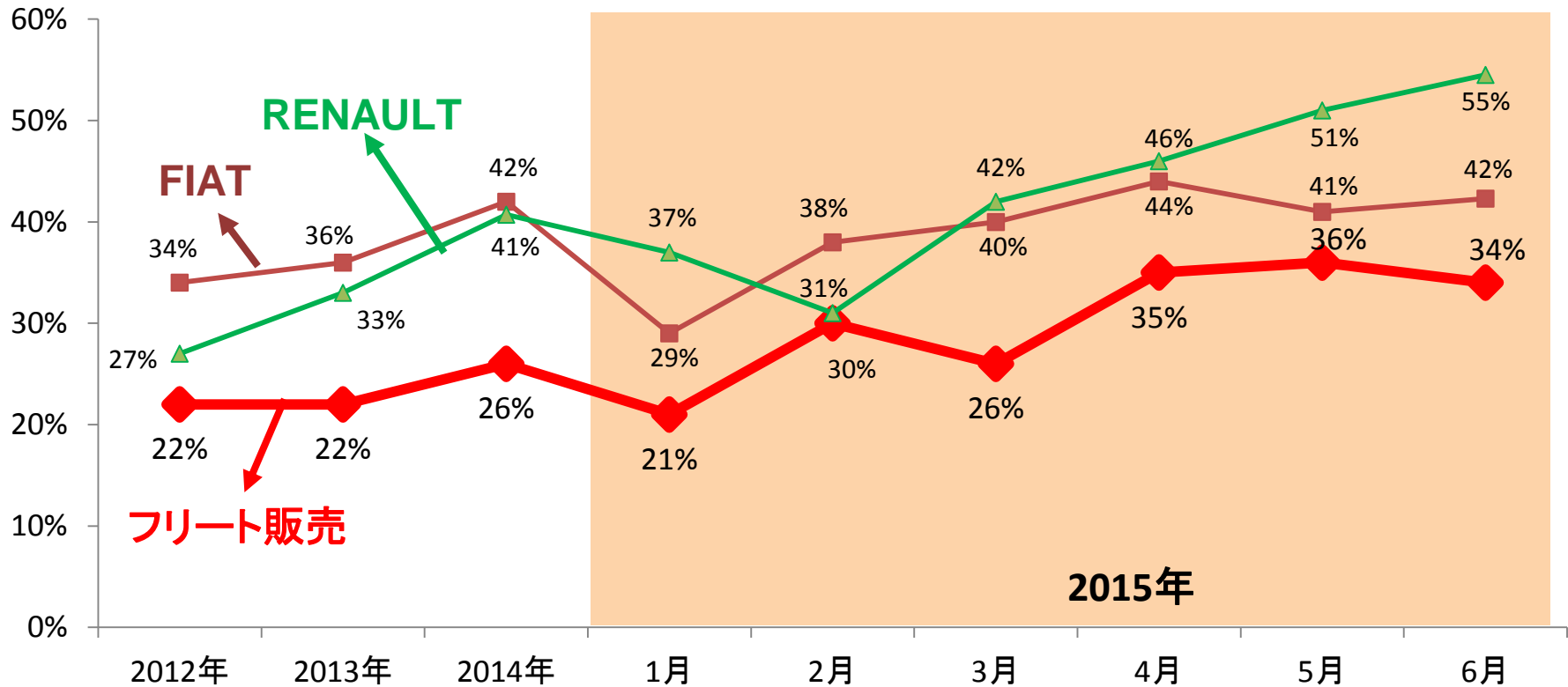
出典: ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 1月はIPI税率引上げにより販売が大きく落ち込み
- 販売不調により在庫月数が高レベルで推移

## 1. 2015年上期振り返り 一月別販売台数フリートの比率

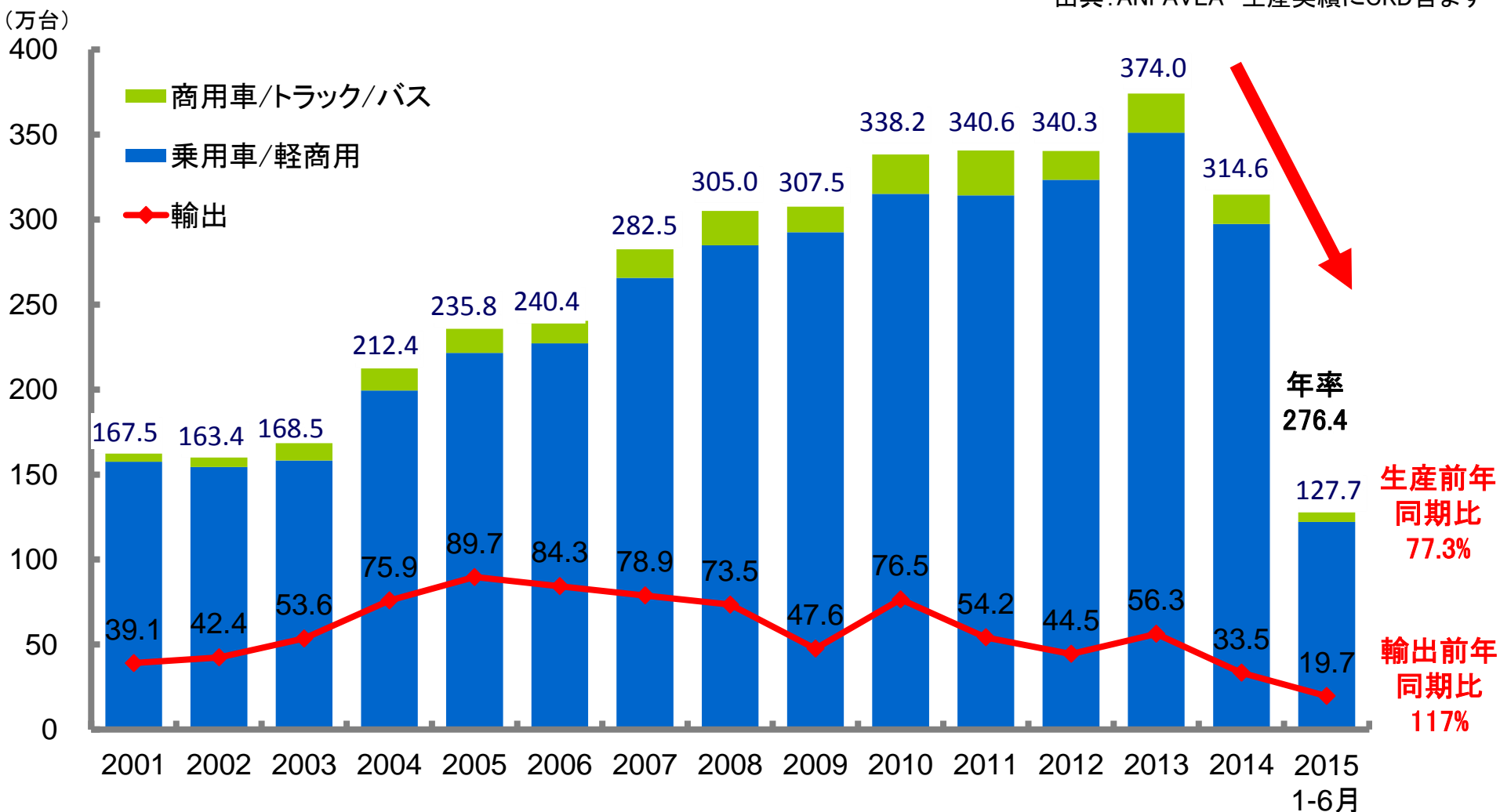
出典: ANFAVEA



- フリート販売比率は昨年よりもさらに高水準で推移
- FIAT、Renaultのフリート比率が高い理由は主にレンタカーやタクシー会社への販売によるもの

## 1. 2015年上期振り返り ー生産・輸出台数 推移

出典: ANFAVEA 生産実績にCKD含まず



- 15年上期の総生産台数は約128万台(前年同期比:77.3%)
- 在庫調整のため、一部メーカーは集団休暇、レイオフ、希望退職、解雇などで生産調整を実施
- レアル安の影響で輸出は増加(前年同期比:117%)



## 1. 2015年上期振り返り - 輸出台数 カテゴリ別

## ◆ カテゴリ別 輸出概要 (単位:台)

カテゴリ	2014年 上半期	2015年 上半期	前年 同期比
乗用車	132,085	149,762	13.4%
ライトトラック	24,670	34,130	38.3%
トラック	9,322	10,192	9.3%
バス	3,217	3,264	1.5%
合計	169,249	197,348	16.6%

## ◆ 輸出相手国別 輸出金額 出典:ANFAVEA

輸出相手国	FOB百万ドル	前年同期比
アルゼンチン	935.97	-22.80%
メキシコ	91.24	58.38%
ウルグアイ	33.83	-5.58%
コロンビア	29.57	-20.79%
ペルー	12.33	29.87%

## ◆ 中南米諸国の輸入先 (2013年時点)

出典:トヨタ調べ

国	輸入先 1位	輸入先 2位	輸入先 3位	輸入先 4位	輸入先 5位
パラグアイ	韓国(30%)	ブラジル(24%)	中国(15%)	アルゼンチン (15%)	日本(6%)
ウルグアイ	中国(27%)	ブラジル(26%)	アルゼンチン (12%)	メキシコ(11%)	韓国(8%)

- レアル安を受け、前年同期比でプラスとなっているが、国内販売の激しい落ち込みをカバーするには不十分

# 四輪業界動向

2015年8月20日

1. 2015年上期振り返り
2. 2015年下期展望
3. 自動車市場の低迷
4. 日系メーカーの健闘
5. 総括(政府への提言)

## 2. 2015年展望 ー 経済

出典:BR中央銀行 FOCUS(2015年7月)

### ◆ブラジル経済指数推移

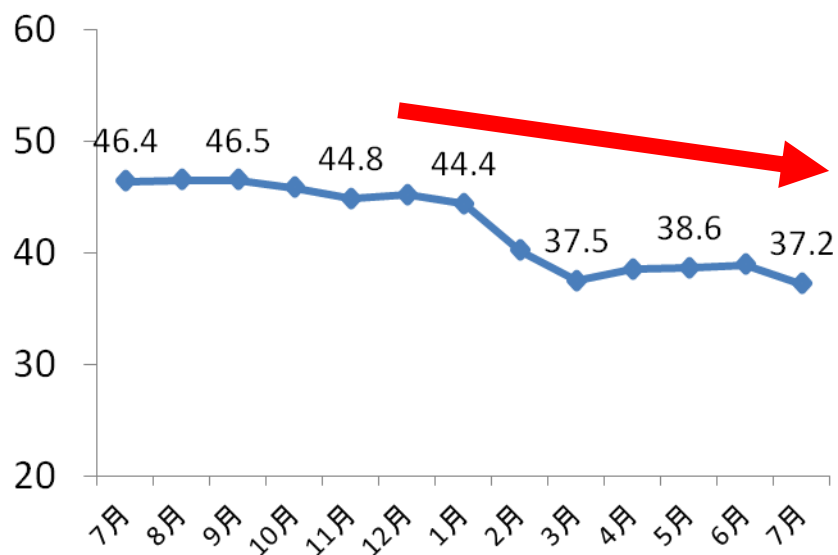
	2011	2012	2013	2014	2015予測	2016予測
実質経済成長率(%)	2.7	1.0	2.5	0.1	-1.76	0.2
為替 年末予想 (レアル/\$)	1.87	2.05	2.36	2.66	3.25	3.40
インフレ (IPCA - %)	6.5	5.8	5.9	6.4	9.23	5.40
金利(SELIC) 年末予想(%)	11.00	7.25	10.00	11.75	14.25	12.00

- GDPの成長見通し悪化、公共料金の値上げによるインフレの進行、金利の上昇
- レアル安の進行による輸入部品の価格上昇の懸念

## 2. 2015年展望 一経済

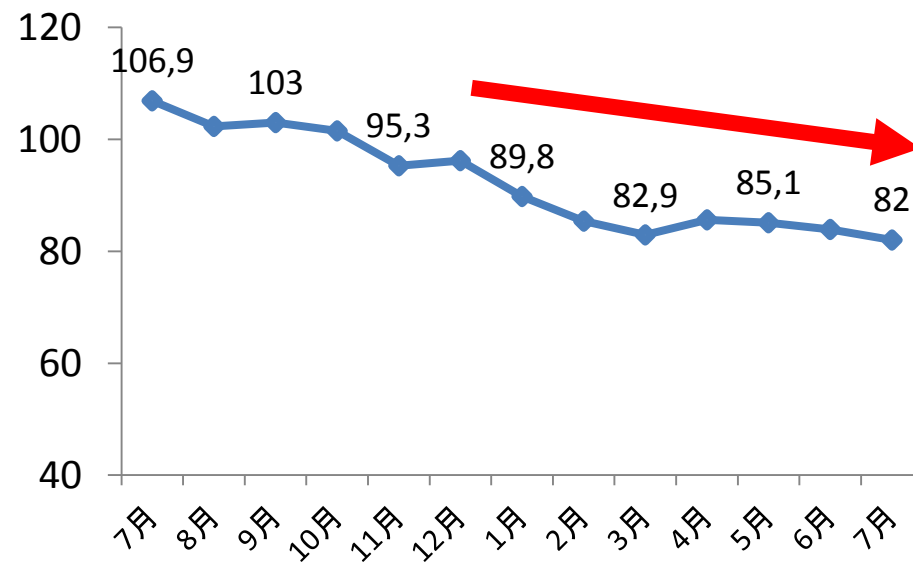
出典: FGV

## ◆製造業信頼度 推移



※0～100の範囲で計測。50以上は信頼度がポジティブ

## ◆消費者信頼度 推移



※2011年を100として算出

- 製造業信頼度は昨年同期比:-9.2ポイント。7月には過去最低レベルを記録
- 消費者信頼度は4カ月連続で減少

## 2. 2015年展望 — 自動車業界

出典: ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

## ◆ ブラジル市場・輸出・生産の2015年当初予測と修正予測

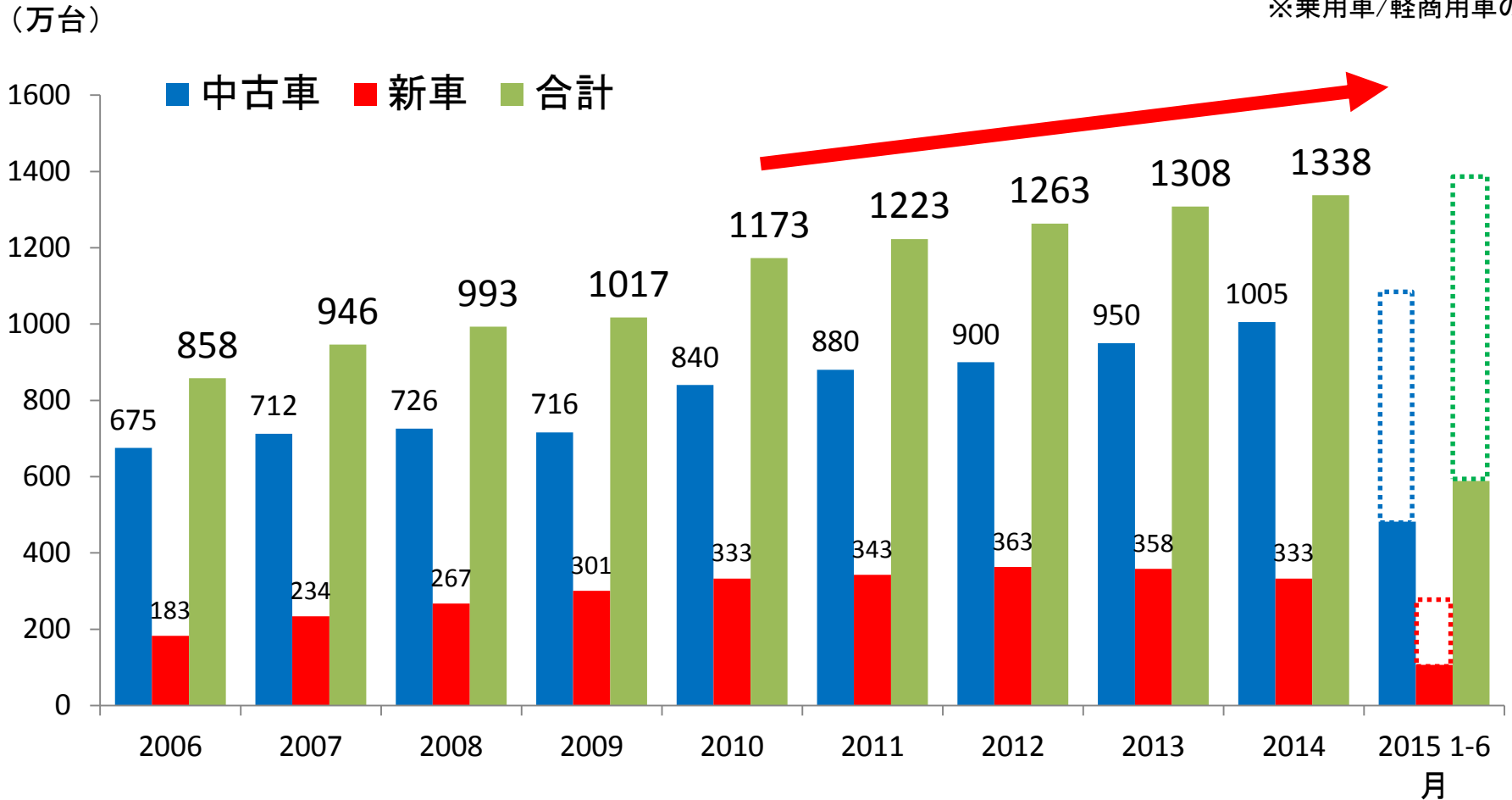
単位: 万台

	2015年当初予測		2015年修正予測	
	ANFAVEA (1月8日発表)	自動車部会	ANFAVEA (6月8日発表)	自動車部会
国内市場	349.8 前年比:0%	330.0 前年比:-6%	277.9 前年比:-22%	260 前年比:-26%
輸出台数	33.8 前年比:+1%	-	33.8 前年比:+1%	-
生産台数	327.6 前年比:+4%	300.0 前年比:-5%	258.5 前年比:-21%	258.5 前年比:-21%

- ANFAVEAは6月に販売台数予測を約280万台(前年比:-約20%)に下方修正
- IPI税率引上げ再開による車両価格の上昇、政策誘導金利の引き上げ、消費マインドの悪化などで購買意欲減少
- 生産も在庫調整により、昨年より減少する見込み

## 2. 中長期展望 ー自動車業界

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA/FENAUTO  
 ※乗用車/軽商用車のみ



- 中古車市場は年々拡大傾向
- 2014年の乗用車・軽商用車の中古車販売台数は過去最高の1,005万台

# 四輪業界動向

2015年8月20日

1. 2015年上期振り返り
2. 2015年下期展望
3. **自動車市場の低迷**
4. 日系メーカーの健闘
5. 総括(政府への提言)

### 3. 自動車市場の低迷 - 販売店・メーカーへの影響

#### ◆販売店への影響

出典：FENABRAVE

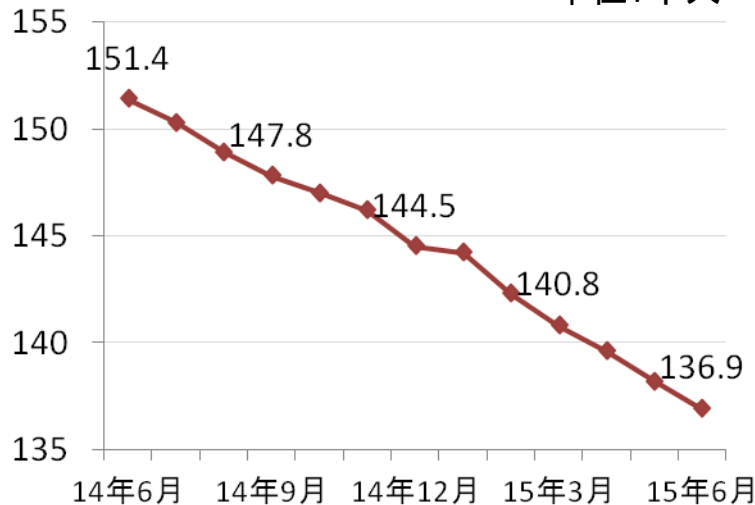
- 上期には国内で492店舗の販売店が閉鎖（新たに開業した販売店は250店舗）
- 国内7,900の販売店の約3%にあたる242店舗が減少、既に12,000人が解雇
- 販売店協会（FENABRAVE）予測では、年末までにさらに約150店が閉鎖、解雇も20,000人に達する見込み

#### ◆メーカーへの影響

出典：ANFAVEA

##### ▽雇用者数推移

単位：千人



##### ▽レイオフ・休暇・集団休暇(7月時点)

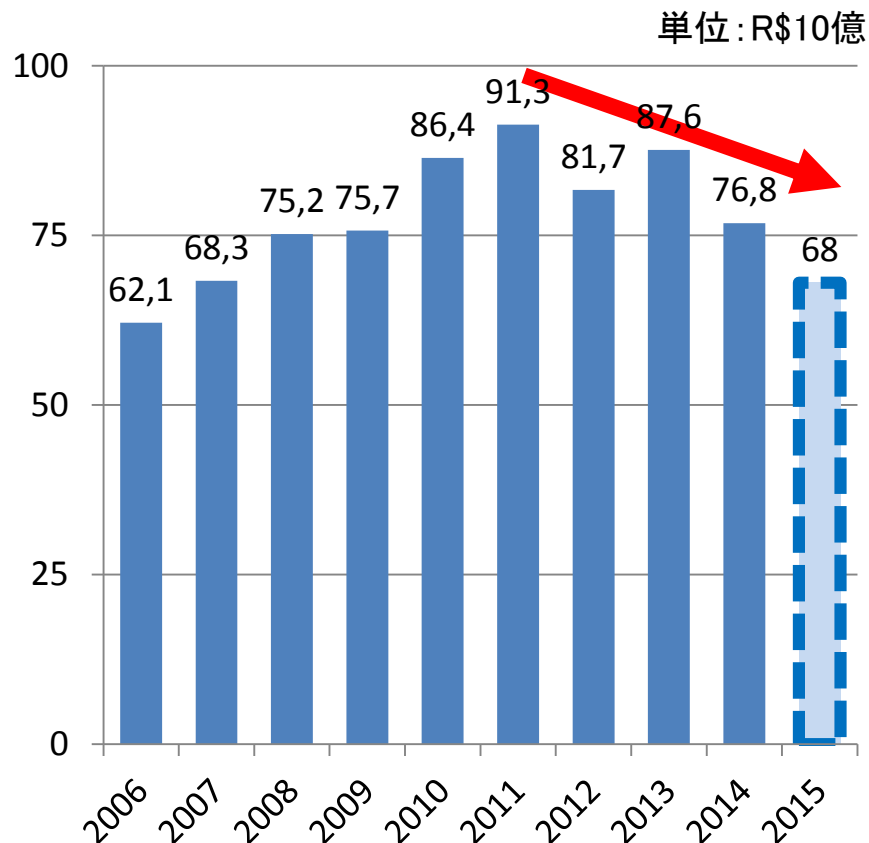
- 約36,000人
- 過去12か月で自動車メーカーの雇用者数は9.4%減少(約15,000人減)

- 伯政府はPPE (Employment Protection Program)公表
- 労働時間の短縮に伴う賃金カット(最大30%)が2016年一杯まで可能

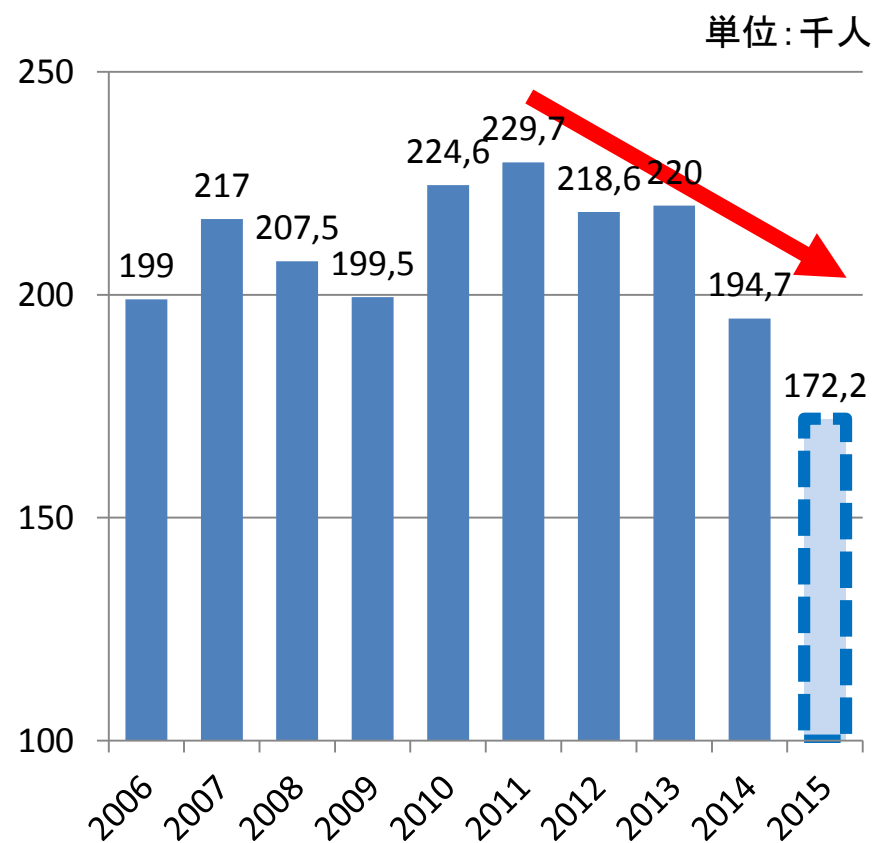


### 3. 自動車市場の低迷 - 部品業界への影響

#### ◆ 部品業界の売り上げ推移



#### ◆ 部品業界従業員数推移



- 売り上げは2011年のR\$ 913億をピークに今年はR\$ 680億(2011年比:-25.5%)の見込み
- 従業員数は2011年の23万人をピークに今年は17.7万人(2011年比:-23.0%)の見込み  
(今年に入り20社以上の部品メーカーが倒産)

# 四輪業界動向




























2015年8月20日

1. 2015年上期振り返り
2. 2015年下期展望
3. 自動車市場の低迷
4. 日系メーカーの健闘
5. 総括(政府への提言)

## 4. 日系メーカーの健闘 -販売実績・シェア

単位:千台

出典:ANFAVEA

2013 実績				2014 実績				2015 実績(~6月)			
1st		763	20%	1st		698	20%	1st		237	17.9%
2nd		715	19%	2nd		618	17.7%	2nd		209	15.8%
3rd		650	17%	3rd		578	16.5%	3rd		204	15.5%
4th		355	9%	4th		328	9.4%	4th		142	10.7%
5th		236	6.3%	5th		238	6.8%	5th		101	7.7%
6th		213	5.7%	6th		237	6.7%	6th		90	6.8%
7th		176	4.7%	7th		195	5.6%	7th		87	6.6%
8th		139	3.7%	8th		138	3.9%	8th		73	5.6%
9th		78	2.1%	9th		72	2.1%	9th		30	2.3%

➤ 上位3ブランドがシェアを落とす中、日系メーカーは健闘

## 4. 日系メーカーの健闘 - 要因

## Na contramão da crise, japonesas têm crescimento sólido em 2015

FOLHA DE S. PAULO

[Iniciar impressão](#) | [Voltar para página](#)

### Montadoras com produção enxuta escapam da crise e investem

EDUARDO SODRÉ  
EDITOR-ADJUNTO DE 'VEÍCULOS'  
RODRIGO MORA  
DE SÃO PAULO

14/04/2015 02h00

Em meio a interrupções de produção e queda nas vendas, um grupo de montadoras segue menos sensível à crise. Em comum, focaram investimentos em operações mais enxutas com produção local e bens de maior valor.

## ENTENDA POR QUE AS VENDAS DAS MONTADORAS JAPONESAS AUMENTAM NO BRASIL, APESAR DA CRISE DO SETOR

MARCAS COMO A TOYOTA, A NISSAN E A HONDA CRESCEM ATÉ 16%, ENQUANTO GIGANTES COMO A GM, A VOLKSWAGEN E A FIAT SOFREM QUEDA SUPERIOR A 20%

weet

ASSINE JÁ!



QUEDA DE 20% NAS VENDAS DEIXA LOTADOS OS PÁTIOS DAS MONTADORAS, COMO A VOLKSWAGEN (AGÊNCIA ESTADO)

①独自の商品戦略

②質の高い販売店網

③生産性の向上とコスト削減

ブランド力形成

を通じて「持続可能なビジネスモデル」構築に取り組んできたため

## 4. 日系メーカーの健闘 - 日本ブランド支持の背景

① 独自の商品戦略

② 質の高い販売店網

ブランドイメージ形成

+リセールバリュー

信頼

日本車特有のお客様層（収入・年齢）からの  
根強い支持

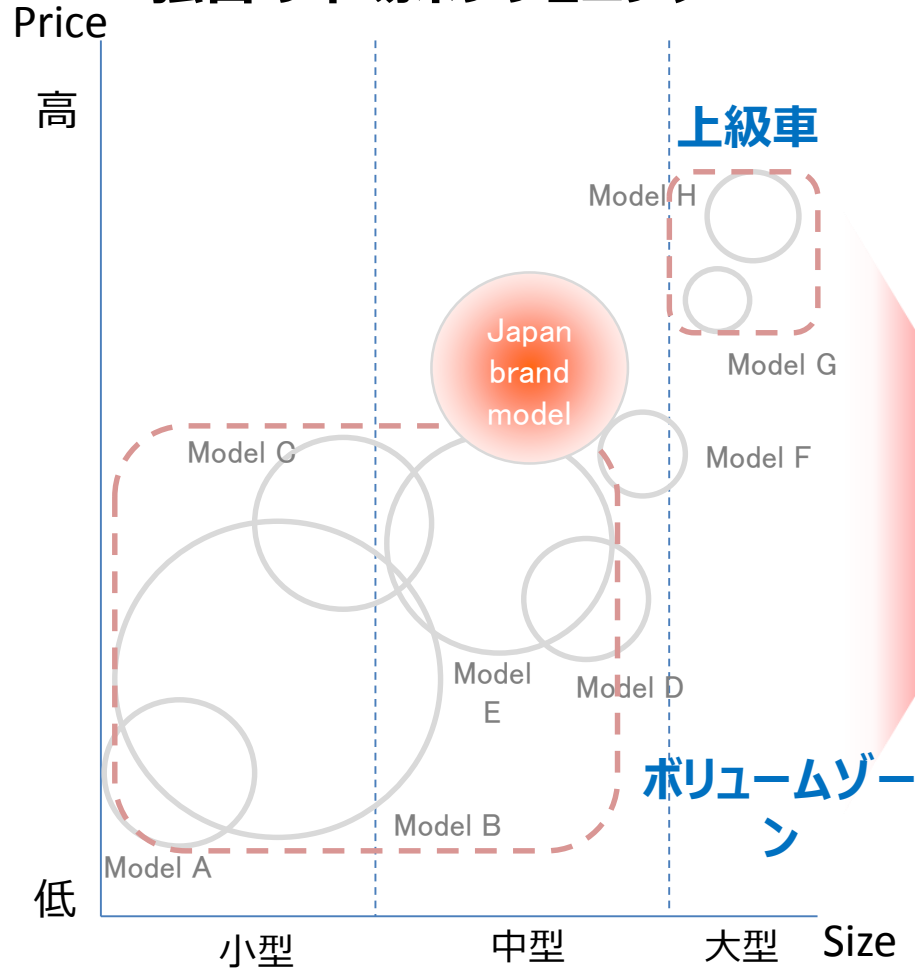
景気が悪いからこそ、安心できる買い物がしたい

支持の  
さらなる強まり、広まり

➤ 信頼できるブランドイメージを基礎に支持を獲得

# 4. 日系メーカーの健闘 -①独自の商品戦略(ホンダ)

高い商品力と品質を背景とした  
**独自の市場ポジショニング**



ボリュームゾーンで起きている熾烈な  
価格・装備競争から一線を画す

販売施策  
(最小限の値引き・金利設定)

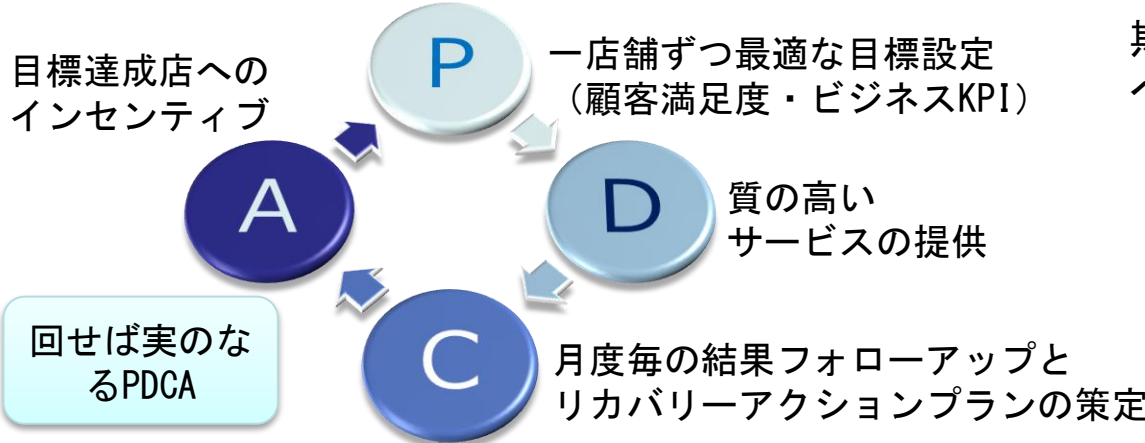
信頼、リセールバリュー

価格を超える価値

➤ 独自のポジショニングがお客様からの共感を支える

# 4. 日系メーカーの健闘 -②質の高い販売店網(ホンダ)

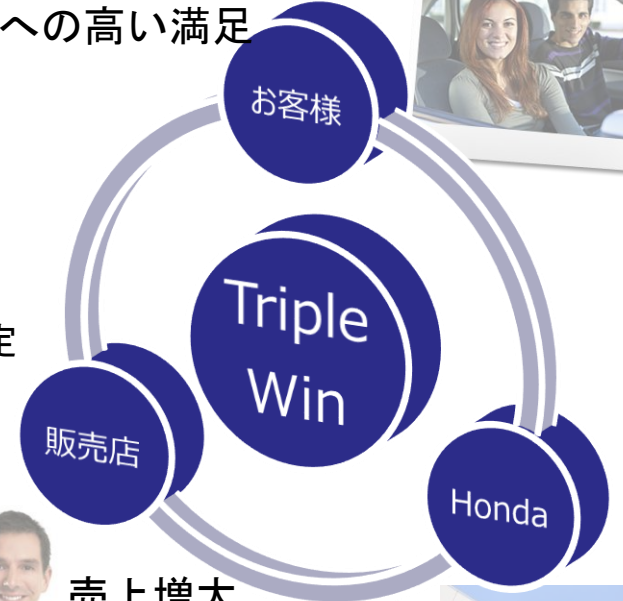
## ◆販売店のやる気を促すしくみの構築



標準化されたオペレーションとカスタマイズされた目標設定で改善サイクルを回す

## ◆WIN-WIN-WINの関係

期待を超えるサービスへの高い満足



売上増大  
顧客維持

ブランド構築  
再購入



お客様・販売店・Hondaの全員が勝者になれるビジネスモデルを構築

➤ 販売店の高いモチベーションを鼓舞しながらお客様の信頼(Confianza)を獲得する

## 4. 日系メーカーの健闘 -③生産性向上とコスト低減(トヨタ)

## ◆生産性向上活動

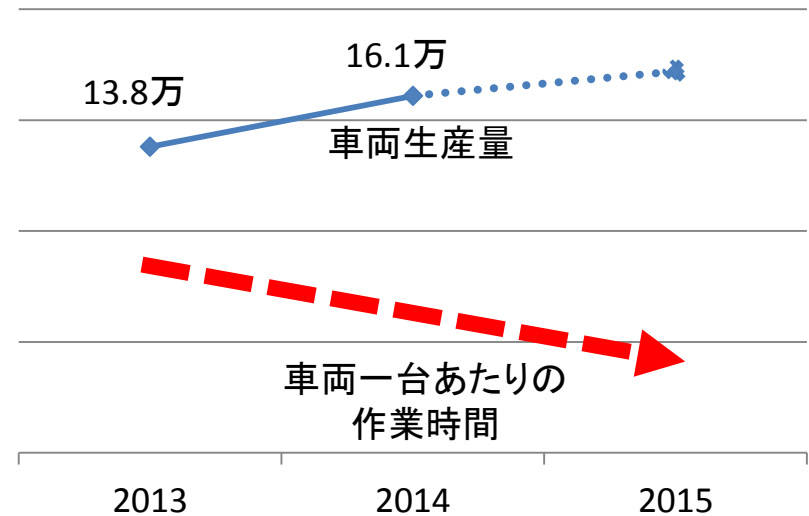
## 1) 基本的な考え方

➤ 生産性の向上でコスト増を相殺

## 2) 改善活動

I. 不良品割合の低減による稼働率の向上

II. 人員を増やすことなく自主研活動を通じたタクトアップを実現



➤ 生産量増加に対し、車両一台にかける作業時間を低減



# 四輪業界動向

2015年8月20日

1. 2015年上期振り返り
2. 2015年下期展望
3. 自動車市場の低迷
4. 日系メーカーの健闘
5. 総括(政府への提言)

## 5. 総括(政府への提言)

### 政府および自動車業界の取り組みと課題

#### 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策

- 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積

#### 2) 自由貿易政策／輸出促進政策

- ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続

#### 3) 人材育成

- エンジニアや熟練労働者等、技術開発やモノづくりの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成

#### 4) 協調的な労使関係

- 生産性向上、および持続的成長に向けた労使協力  
(労働環境の改善、柔軟な生産弾力性の確保)

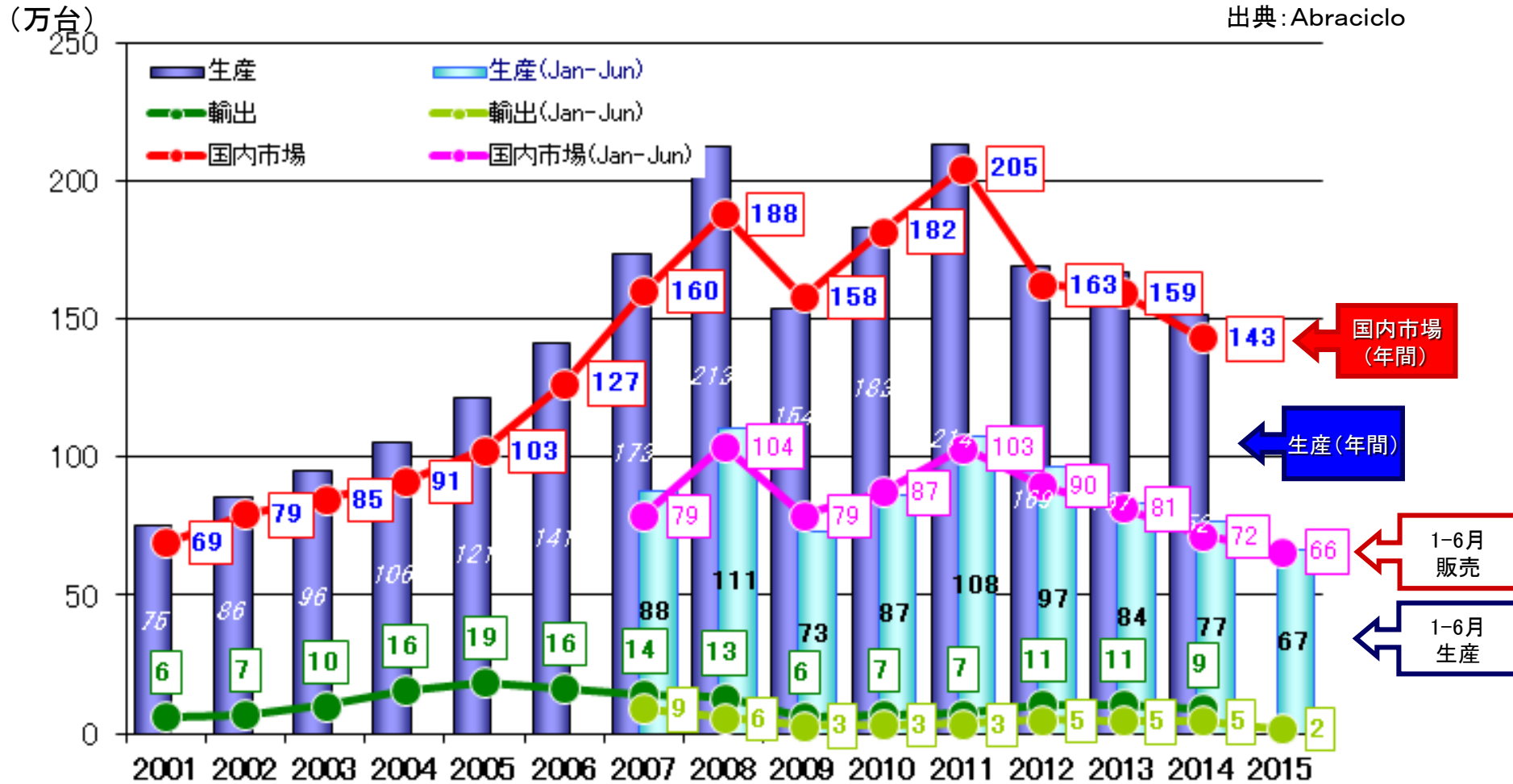
#### 5) 人的交流

- 日伯関係のベースは人的交流

# 二輪業界動向

## 1. 二輪車 生産・販売 推移

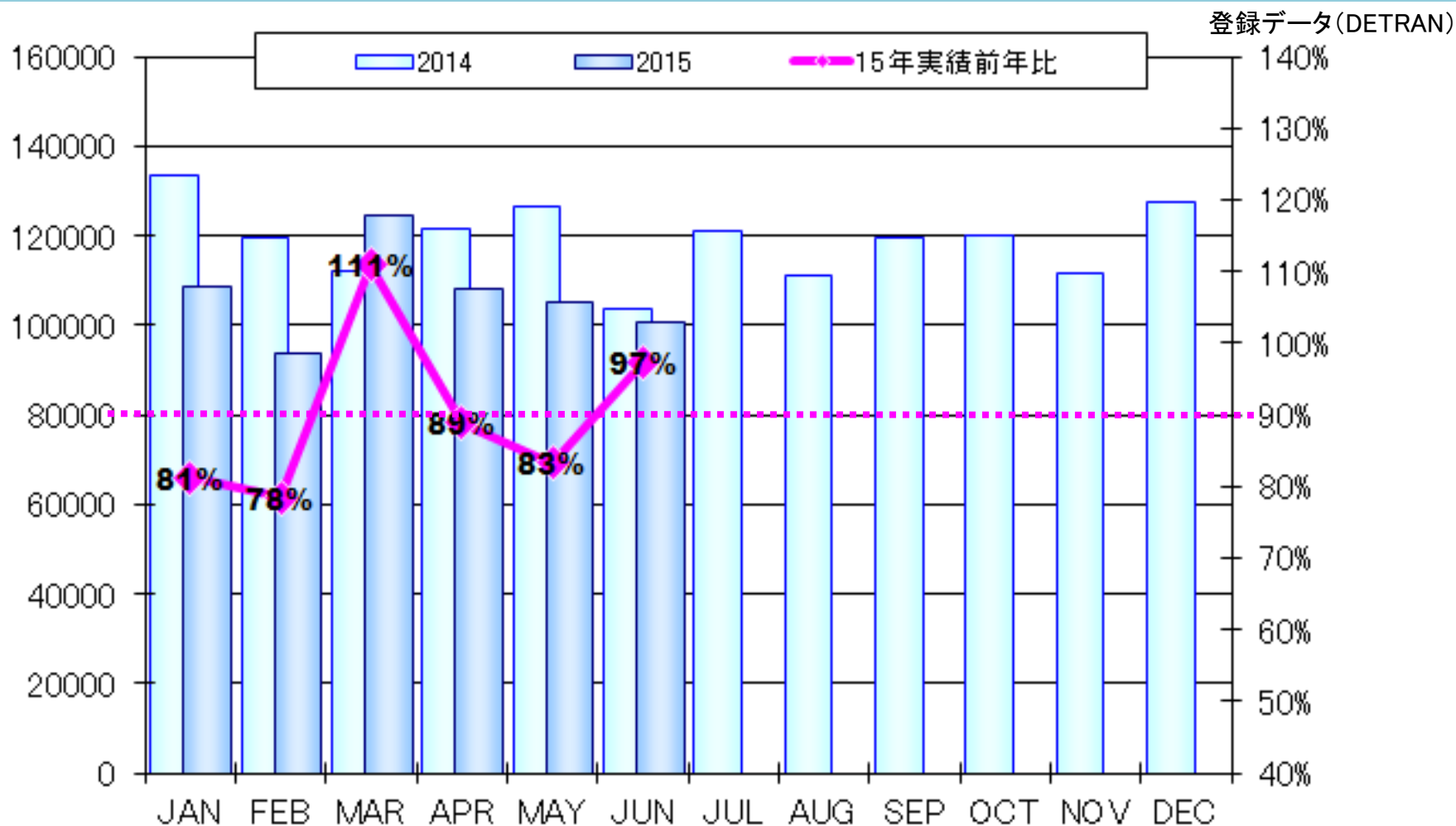
出典:Abraciclo



## 2015年上期実績

卸	66万台(前年比92%)	インフレ・リアル安・解雇増等の経済環境悪化により
生産	67万台(前年比87%)	厳しい市場環境が続き、卸及び生産は前年を下回る実績
輸出	2万台(前年比40%)	

## 2. 二輪車 月別販売推移 (2014年vs2015年)



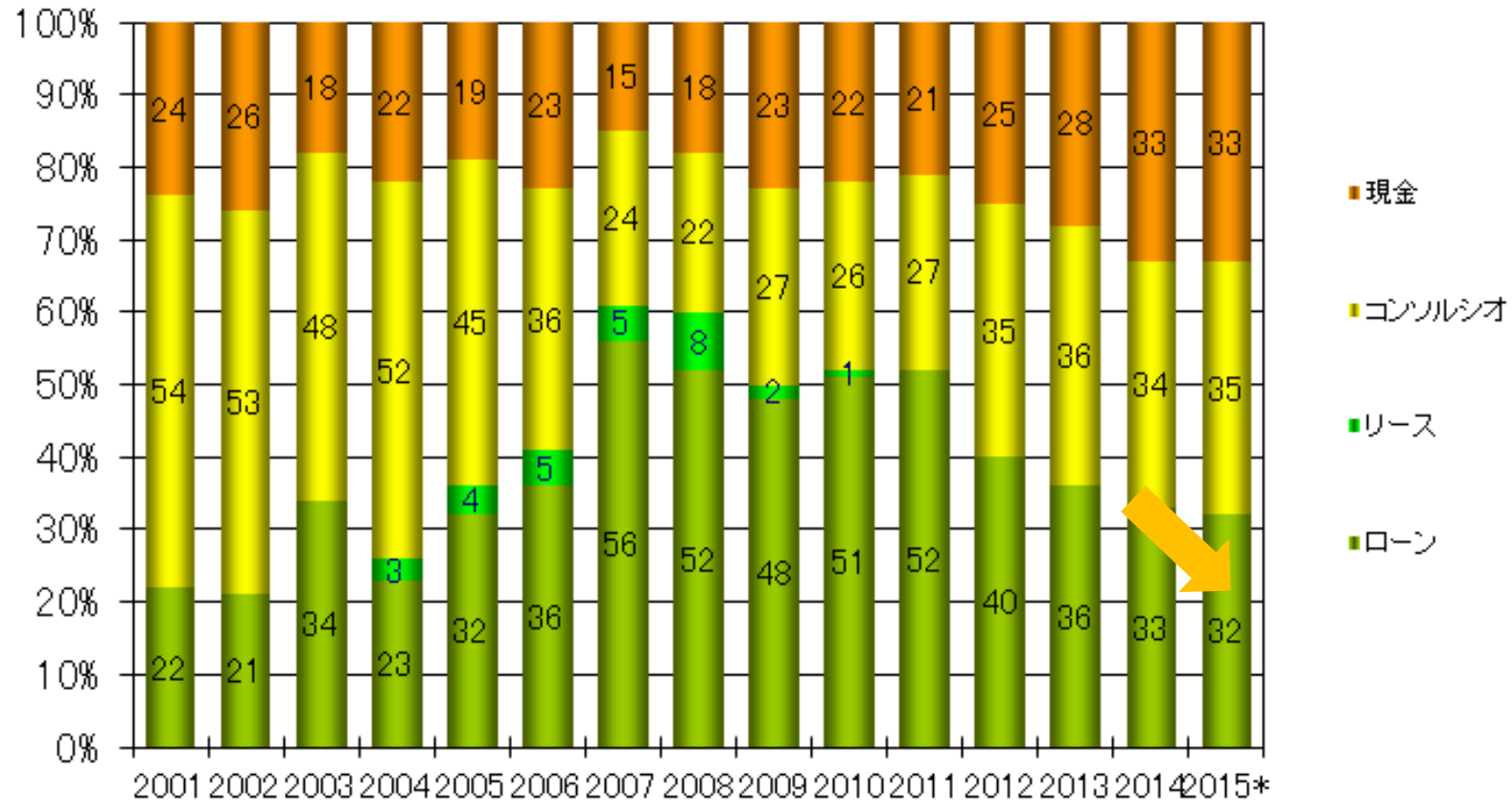
コンソルシオ需要の高まる3月を除いて前年割れが続き、15年上期累計は前年比90%。

Promot4対応の新モデル上市が続くも、負債の増加、金利高止まり等により

下期も厳しい市場環境が予想される

### 3. 二輪車支払い形態別販売推移（2014年vs2015年）

※出典：ANEF（自動車メーカー系金融会社協会）



\* 2015年は3月までの実績

ファイナンスの与信審査厳格化が2015年も続き、ローン販売比率は更に低下

**Obrigado!**

**コンサルタント 部会**

**関根 実 副部長**

**Departamento de Consultoria e Assessoria**

**Vice- Presidente: Minoru Sekine**



# ブラジル・ Stagflation への対応策

コンサルタント部会 2015.08.20

# 2015年上期の回顧と下期の展望

## ➤ 直接投資Advisory業務：

- 新規単独投資案件は止まった。
- 日本からの来訪者は減少中だが、一部に市場調査を継続中の企業がある。
- 税務Advisory業務の相談、調査依頼はある。

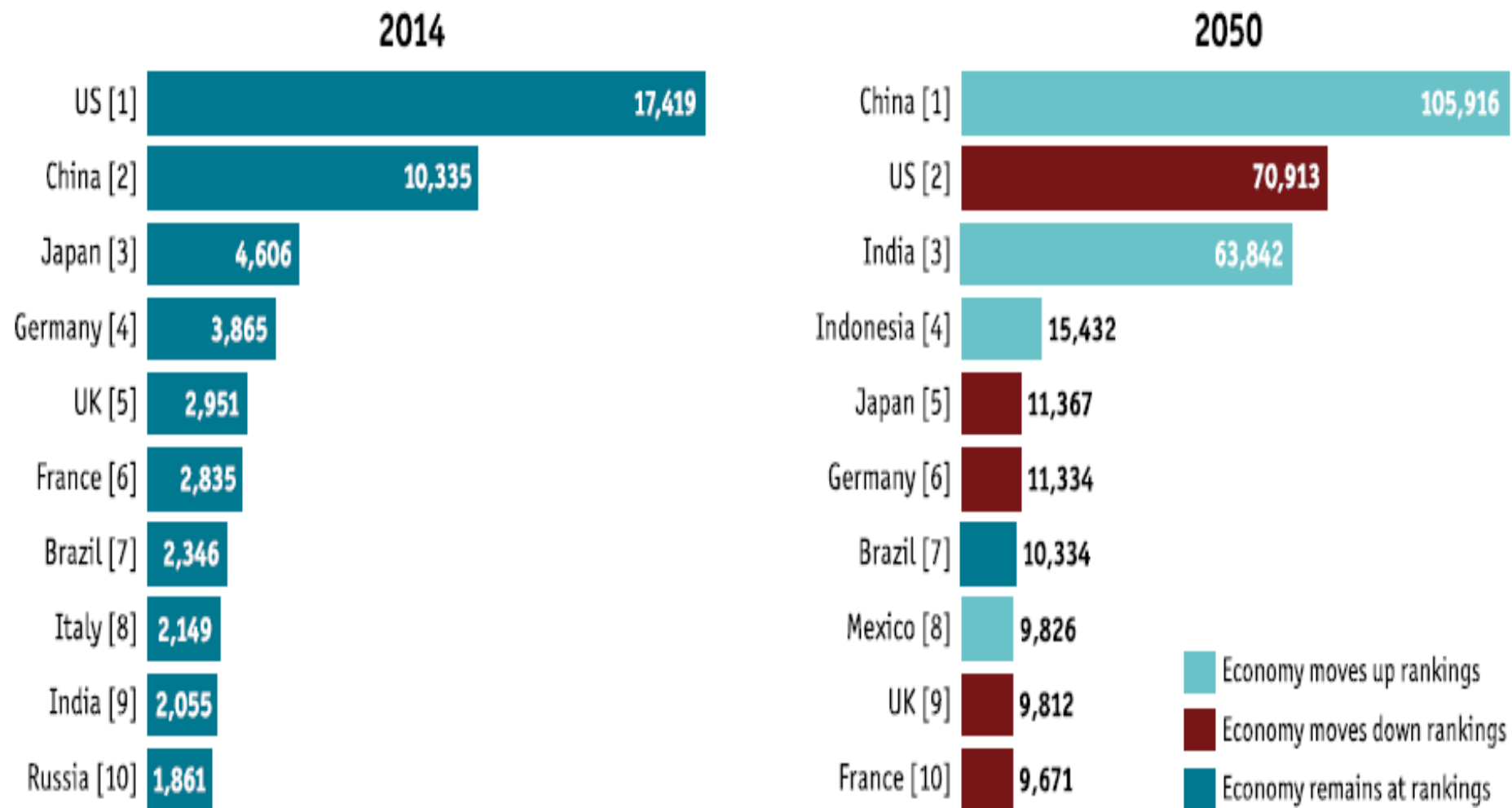
➤ リクルート業務：

- Executiveのリクルートは止まり、  
Manager層が継続中（人事入れ替え措置）
- 優秀な信頼性有る日系二世、三世が居る。
- IT・System EngineerのNeedsは強い。
- 優秀な若者が米、欧、加、豪、日へ転出中

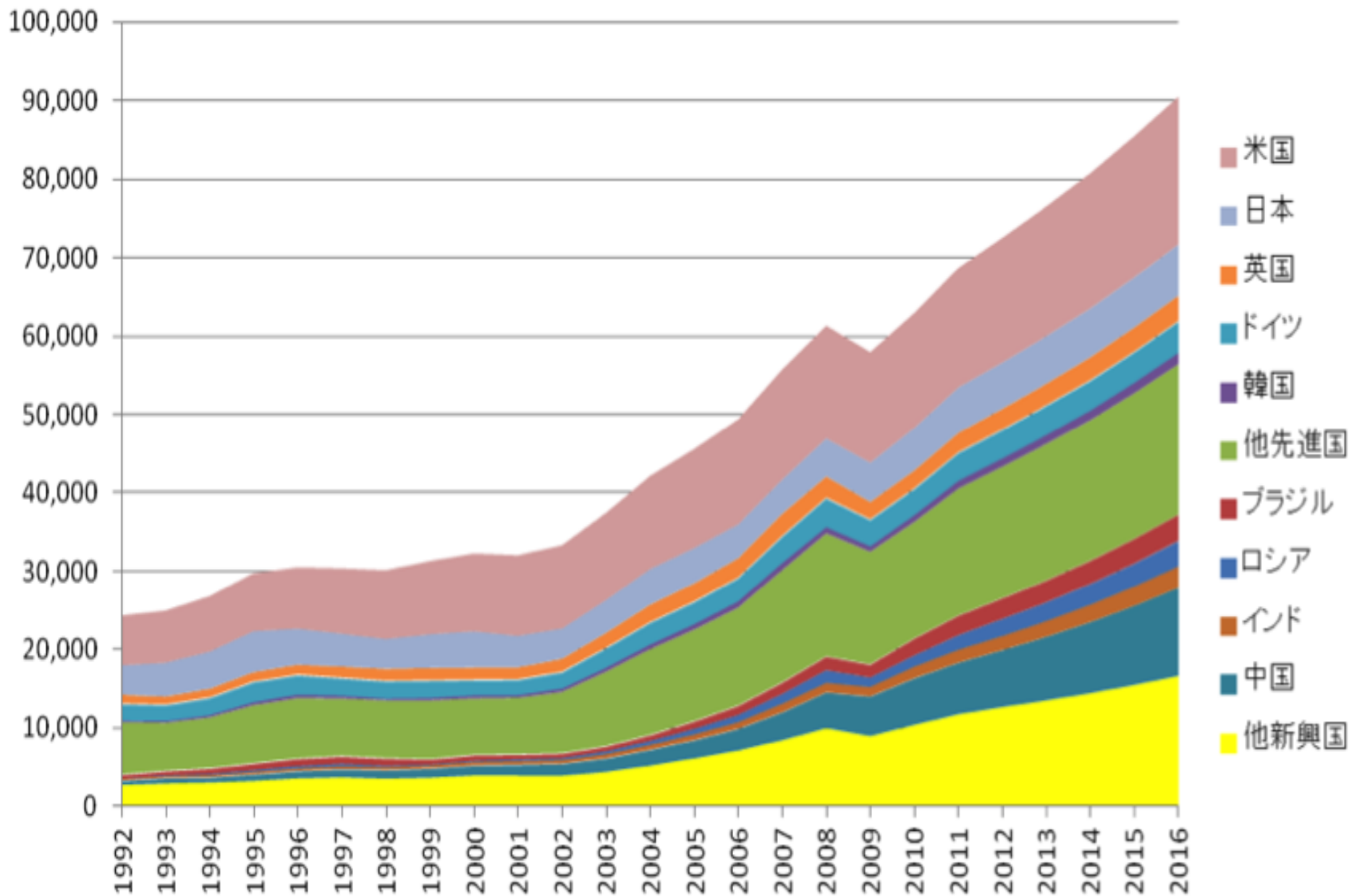
➤ 証券投資Advisory業務：

# 2050年の国別GDP 予想

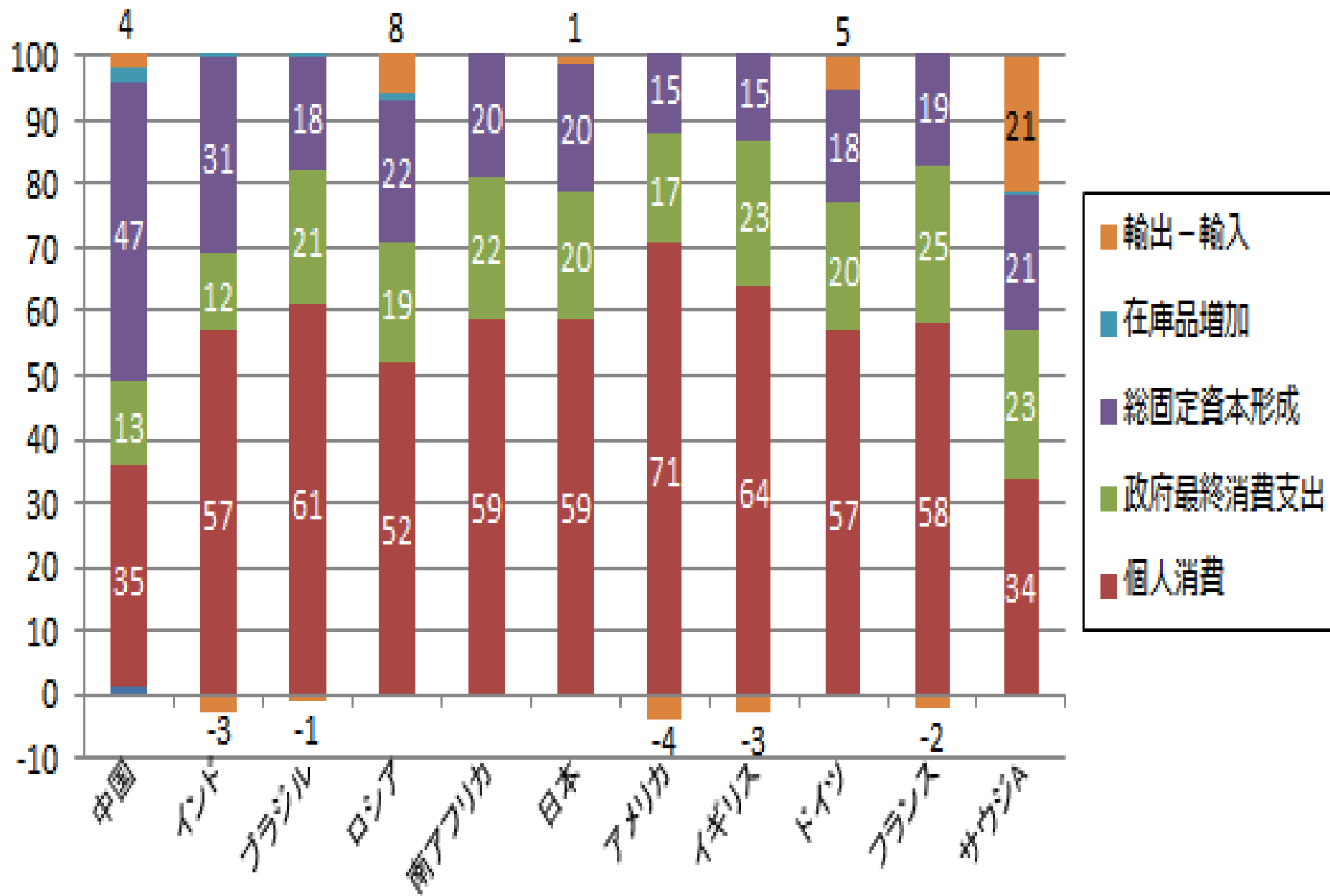
Nominal GDP  
(US\$ bn)



# 世界GDPの内訳と推移



# BRICsと主要国のGDP内訳 (2010年：%)

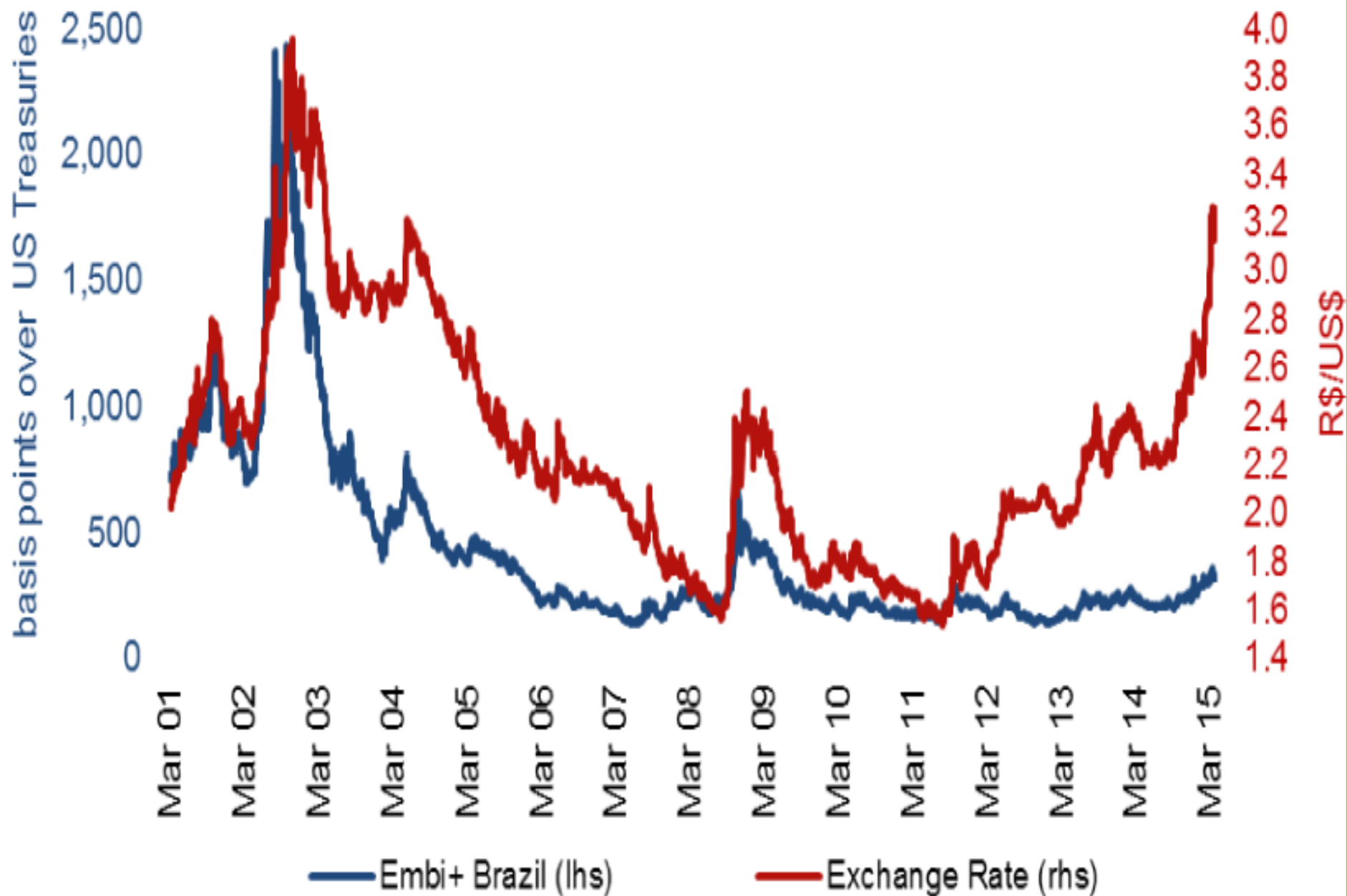


# Brazil Country Risk 推移

## EMBI+ Brazil

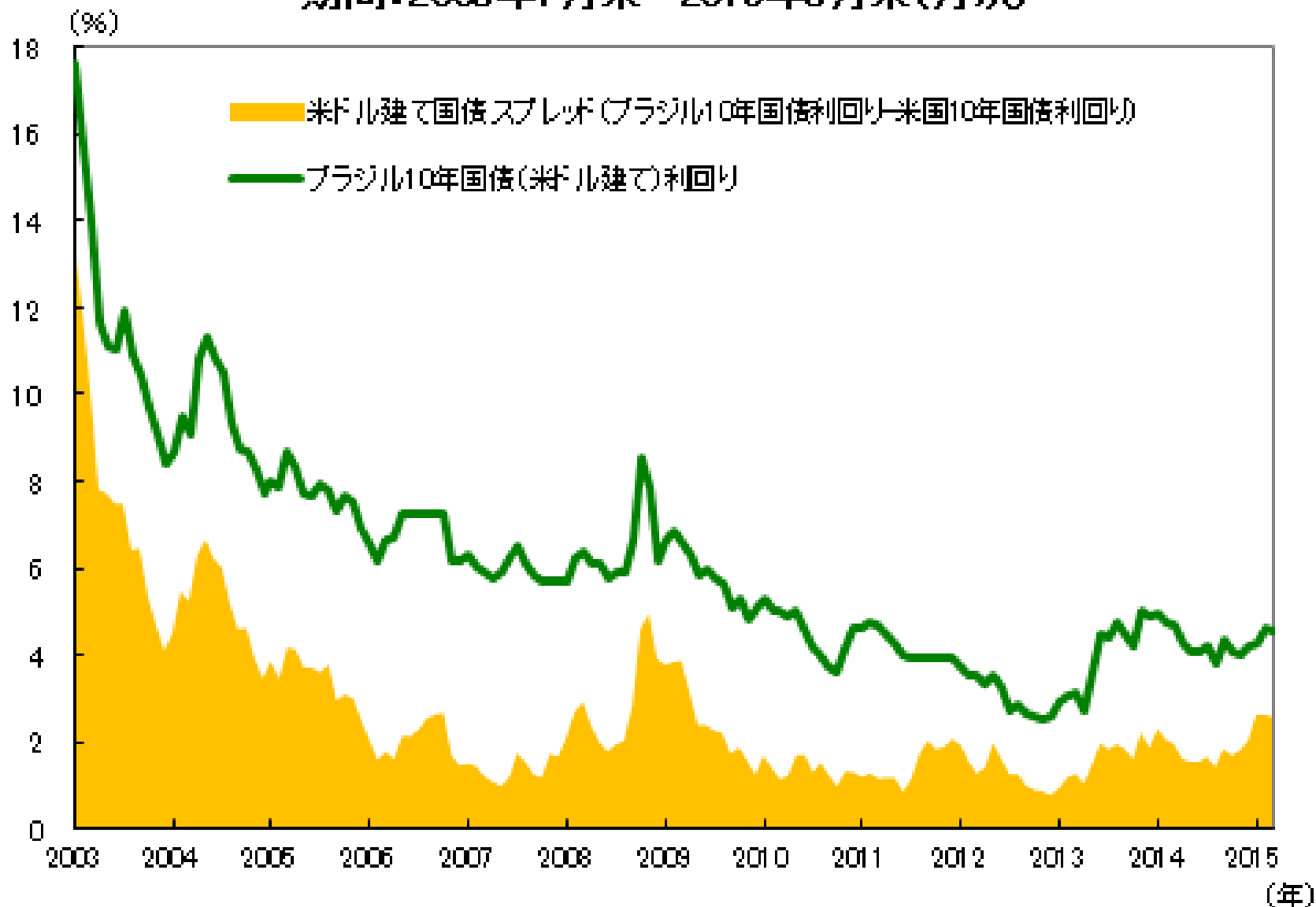


(up to Mar/15)





【図2】 ブラジル国債(米ドル建て)利回りと米国債とのスプレッド  
期間:2003年1月末~2015年3月末(月次)



出所:ブルームバーグ

# 現在のブラジルの苦境

- 国内：Stagflation  
景気後退、インフレ
- 対外：4重苦
  1. Commodity価格下落
  2. 輸出金額、数量減少
  3. 資本流出
  4. 通貨安競争

# 民政移管後約 8 年周期の大変動

1985～93 民政移管直後の大混乱

1994～02 Plano Realによる正常化

2003～12 Globalization、BRICS Boomに乗る

2013～ BRICS Boom後の対応遅延で混乱

# 85年民政移管後7回のEconomic Plan

1986.02 Plano Cruzado 物価凍結

Cr\$1,000 → Cz\$1

1986.11 Plano Cruzado 2

燃料60%、電力35% 値上

げ

1987.06 Plano Bresser

対外債務Moratorium

1989.01 Plano Verão

Cz\$1,000 → NCz\$1

1990.03 Plano Collor 1 預金封鎖18か月

NCz\$ → Cr\$ 輸入規制緩和

1991.01 Plano Collor 2

物価凍結、Overnight金利規

制

1994.02-07 Plano Real

Cr\$1,000 → URV → R\$1

Drastic Economic Plan(は予想できな  
し) 1980~90年代に比して、

- 財政収支改善 – 対GDP Primary収支管理  
(連邦政府が一元管理)
- Hyper Inflation改善
- 対外債務国 → 債権国 (?)
- 外国為替変動相場制
- 国際的Status向上 - G20, BRICS主要メンバー –

# Stagflationの悪循環

➤ 金利引上げ → 消費・投資減退 → 景気  
停滞

(参考：ギリシャと同様)

財政緊縮・金融引締め

➤ (参考：日本は逆)

金利引下げ → 消費増加 → インフレ高  
進

(アバミクスの3本の矢)

財政拡張・金融緩和・民間投資促進  
円安為替レート

# Stagflation対応政策

通常は、需要抑制策に加え、供給側の

投資促進策を採ると効果有り。

## ➤ 投資減税

設備機器の税軽減

減価償却期間の長期化

相対経理 株主革新



# 企業の対応策

## ▶ 当面は我慢の時、リストラ策

- Cash Flow管理強化
- 在庫圧縮
- 人員入替え、削減
- 無理な事業計画を回避
- 借入金 → 増資

## ▶ チャンスが有ればM&A

# 注視すべき動向

- 国内：雇用情勢 (スト、デモ増加)  
政治危機(与野党、連立政権内亀裂)

Impeachment市民運動

Petrobras汚職追及

- 海外： BBB- の格付け引下げ  
米ドル金利引上げ

# 論

## ブラジルの政治・経済情勢の循環

- 景気の波論：今回は高波で波長が長い。  
(深い谷に入る可能性)
- 振り子論： 振り子は戻って来る。
- 風向き論： 今は強烈な逆風  
(Against/Contra)  
風力が弱まるのを待ってか  
ら出て、  
追い風になったら猛攻。

# 「何のためにブラジルへ 投資したのか？」 再考の 時

- 長期的目的：
  - 原材料の確保
  - 自社ブランドの全世界的展開

- 短期的目的：
  - BRICS Boomに乗り遅れないため

Ánimo!

Muito obrigado.

コンサルタント部会

2015.08.20

コーヒーブレイク

**COFFEE BREAK**

司会

石田 靖博 企画戦略委員長

APRESENTADOR

Presidente da Comissão  
de Planejamento  
e Estratégia

Yasuhiro Ishida

**電気電子 部会**

**千野 浩毅 部会長**

**Departamento Eletroeletrônico**

**Presidente: Hiroki Chino**



# 電気電子業界

## 2015年上期回顧と2015年展望

2015年8月20日

電気電子部会

Sony Brasil 千野 浩毅

# 事業環境の急激な悪化 ①

## ＜白物家電 白物家電販売が11%減少＞

全国電気・電子製品メーカー協会 (Eletros) の発表によれば、今年上半期の洗濯機、冷蔵庫、ガスコンロ等の白物家電の販売が昨年上半期比で11%減少した。

同協会が発表した速報データによれば、今年上半期の小売部門の注文台数が、昨年上半期の834万台から、743万台へ減少した。上半期にガスコンロが18%、冷蔵庫の受注量が10%減少した。洗濯機の受注量は1%の減少、電子レンジが12%減少した。

白物電化製品だけでなく、昨年上半期のW杯駆け込み需要で増加していたテレビ受注量が、485万台へ39%減少した。

(日刊商工紙 7月21日 ジェシカ・クルッケンフェルネル記者)

## ＜携帯電話 IDCはスマホ販売予想を下方修正＞

ドル高や景気が後退している事で、インフォや携帯電話部門を専門に調査するコンサルタントのIDC社は、本年度のブラジルのスマートフォン販売台数を、昨年比で6.4%の増加に留まる事になる約5800万台と予想している。

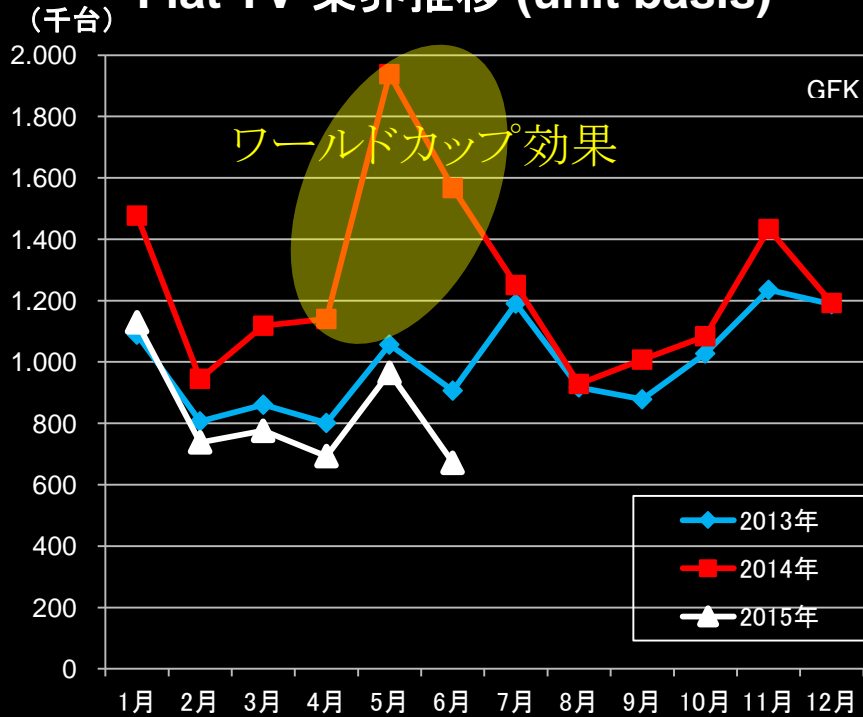
IDCが以前に発表した本年度の予想販売台数は、昨年比で9.5%増の6350万台であった。「この予想を再度、下方修正する可能性は存在するが、上方修正する可能性は存在しない」と述べている。

(バロール 6月9日 グスターボ・ブリガット記者)

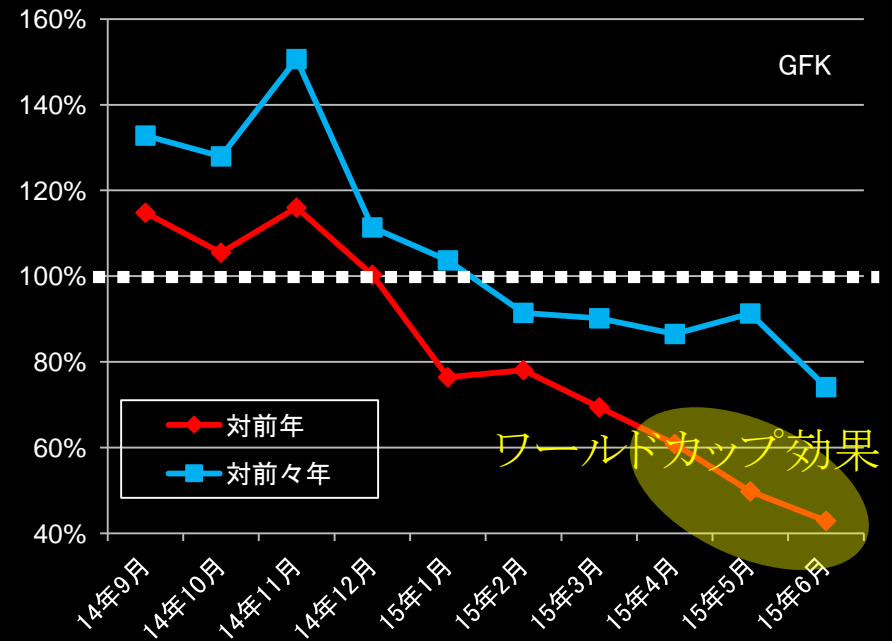
※6月のスマホ販売はついに前年を下回った(速報値:販売台数前年比 -6%)

# 事業環境の急激な悪化 ②-1

## Flat TV 業界推移 (unit basis)

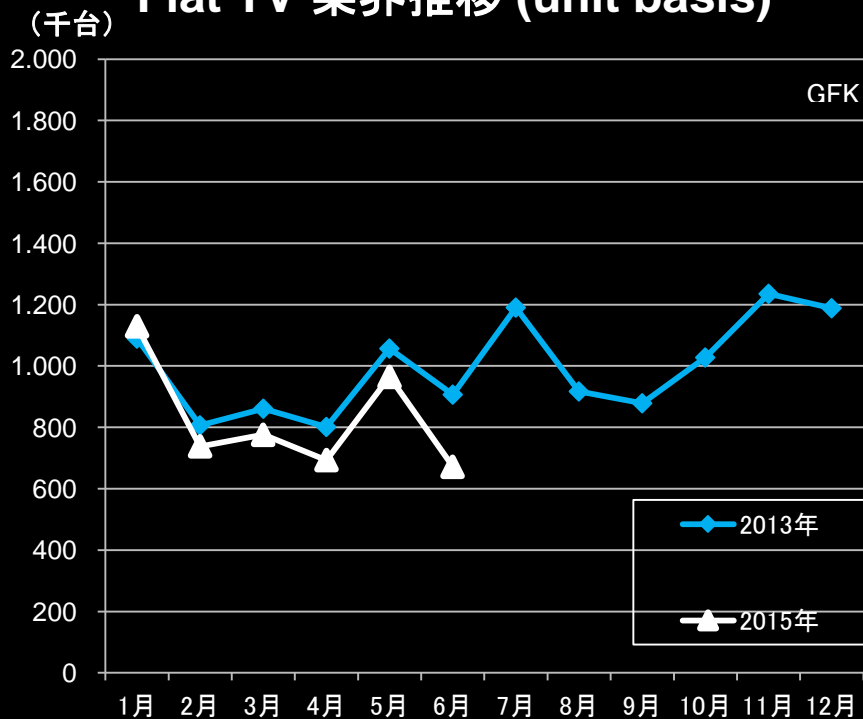


## Flat TV成長率(unit basis)

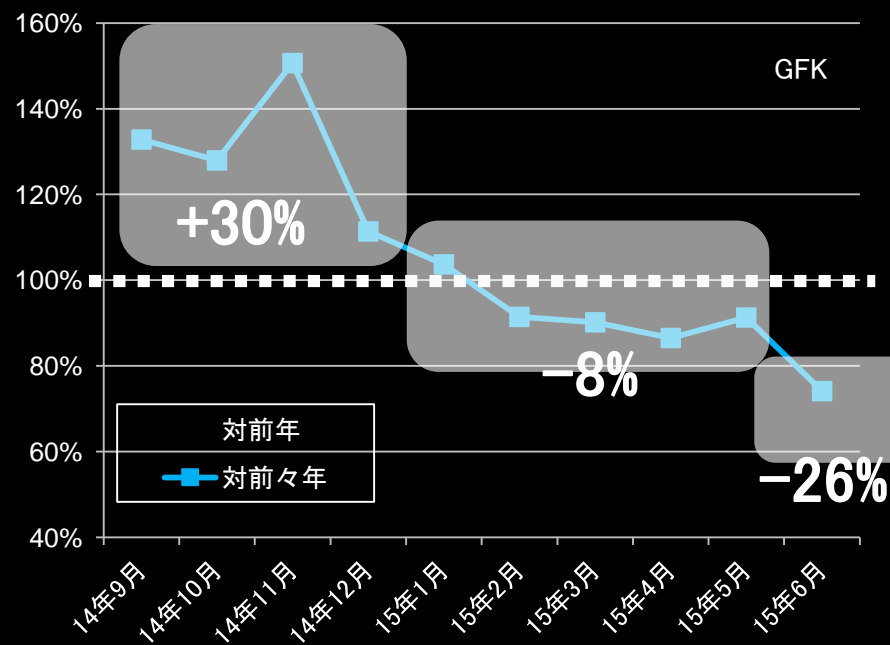


# 事業環境の急激な悪化 ② - 2

## Flat TV 業界推移 (unit basis)

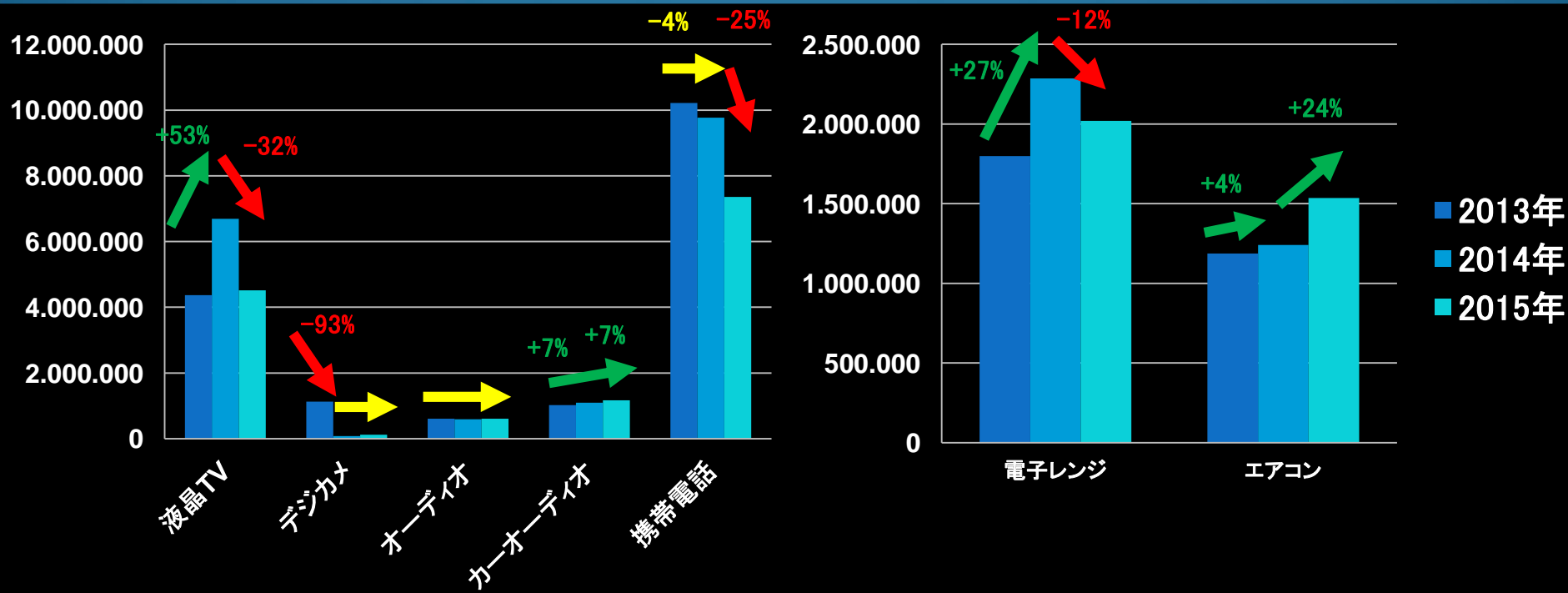


## Flat TV成長率(unit basis)



# 事業環境の急激な悪化 ② - 3

## 2013年～2015年 マナウス生産数量推移 (1月～5月の5ヶ月間)



スプラマ統計より

# 事業環境の急激な悪化 ③

## <消費 半数以上の消費者が経済の更に悪化を予想>

クレジット保護サービス(SPC Brasil)と全国店舗経営者連合会(CNDL)が共同で行ったアンケート調査の結果によれば、消費者の56%が経済状況は今後更に悪化すると予想している。

「僅か4ヶ月間で、消費者の予想が大きく悪化している。悪化を予想する消費者の割合は約10%ポイント上昇しており、悲観的な予想が大きくなっている」と、CNDLのマルセラ・カワカミ主任エコノミストは述べている。

調査は27主要都市の約600人の消費者を対象に、7月の上半期に実施された。

平均で消費者の約47.7%が、必需品ではない製品の消費を止めると考えており、A及びBクラス所得層の場合、贅沢品の消費を止めると返答した割合は58.3%に達している。

また、所得の減少に対処するために、月賦購入を止めると考える消費者の割合が増加しており、平均で消費者の44.7%の割合を記録しているが、C及びDクラス所得層の場合、月賦購入を止めると考える消費者の割合は48.3%へ増加している。

また、A及びBクラス所得層の場合、低価格ブランドに乗り換えると返答した割合が36.5%を記録した。

「現在の状況は消費者をして購入をセーブさせる傾向になっており、その結果、販売が減少し、失業者が増加する事になる」と、同エコノミストは述べている。

(エスタード 8月5日 マルシア・デ・シアラ記者)

# 事業環境の急激な悪化 ④

## <小売 Via Varejoが赤字を計上>

第2四半期の状況が、Via Varejoが予想していたものよりも悪化をした事で、コストの削減等の対策を同社が強化していたものの、効果にはならず、第2四半期決算で、2011年以降で最初になる赤字を記録した。

同期間の収入が43億リアルへ、去年同期比で21.7%減少し、昨年第2四半期も1億8700万リアルの黒字から、1300万リアルの赤字へ転落した。

(バロール 7月29日 アドリアーナ・マツス記者)

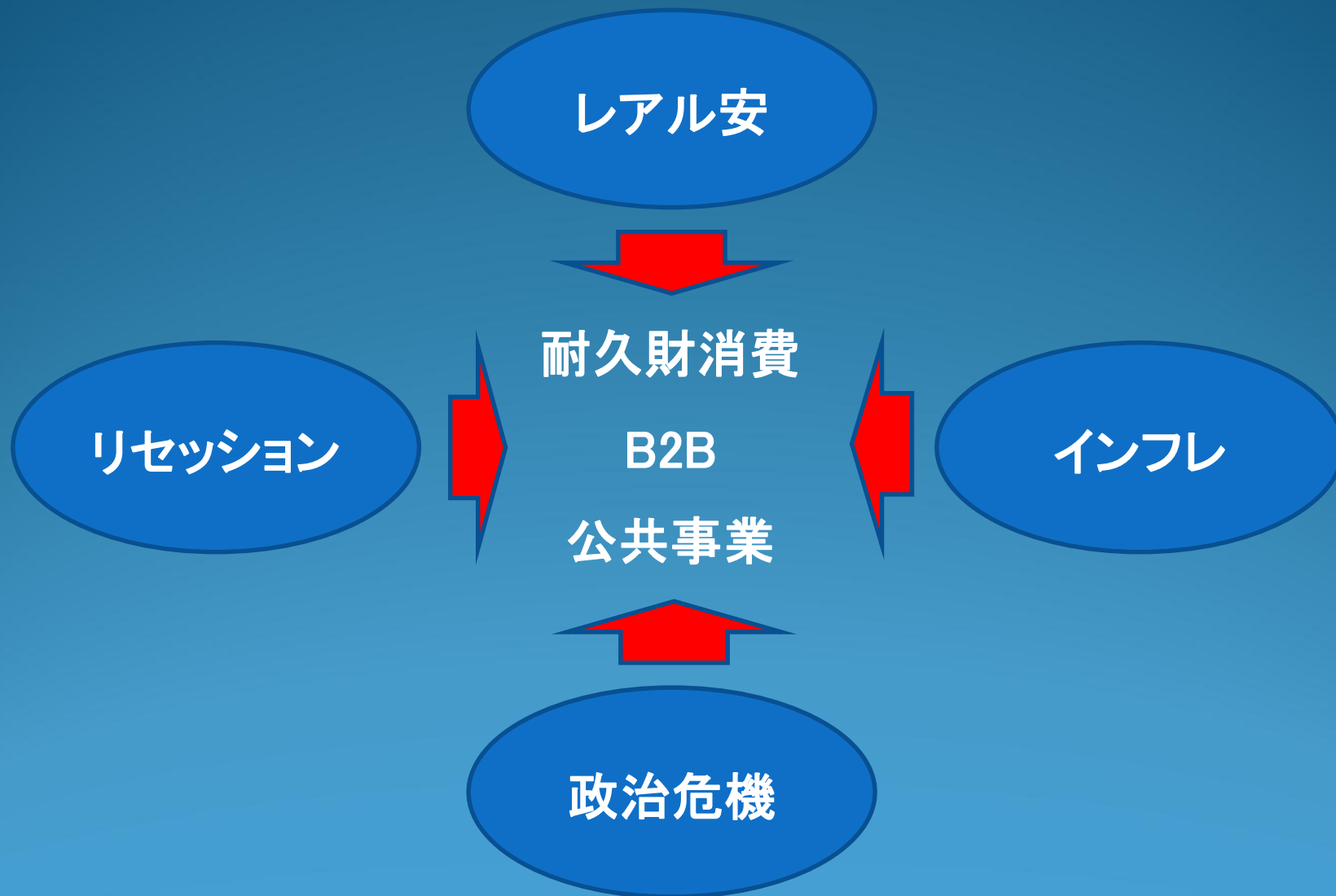
## <小売 マガジーニ・ルイーザ社が88.6%の減益>

電化製品・家具製品量販チェーンのマガジーニ・ルイーザ社が、第2四半期決算で300万リアルの純益を計上し、去年同期比で88.6%の減益を記録した。

同社の発表によれば予定通りに固定費を減少させる事が出来なかった事と、金融経費が増加し、減益を記録する事になった。昨年第2四半期に7950万リアルであった金融経費が、1億470万リアルへ31.6%増加した。純収入は21億1000万リアルへ10.1%減少したが、昨年第2四半期の純収入の水準が高かった事を指摘している。




(バロール 7月31日 タイース・カハンサ記者)

# 事業環境の急激な悪化 まとめ





# 2015年上期の回顧

	改善	維持	悪化	合計
2015年	6	6	2	14
(%)	43% 	43% 	14% 	100%
2014年(%)	(63%)	(0%)	(37%)	100%

2012年後半から事業環境悪化




→各社、事業構造の転換を図ってきた

(既存領域の事業セグメント・規模の縮小と新規領域の開拓)

<例> 高付加価値商品へのシフト、新規市場開拓、サービス事業拡大、  
輸出拡大、企業買収

改善・維持できているものの期待値には届いていない

# 2015年下期の展望

	改善	維持	悪化	合計
下期	4	8	2	14
(%)	29% 	57% 	14% 	100%
上期(%)	(43%)	(43%)	(14%)	100%

「悪化」とする回答は増えていないが、改善→維持、改善率の低下がみられる

リセッションの深化(需要減)、為替状況(→コストUP要因、値上げの判断)、取引先企業の経営状況(資金回収リスク)により、さらなる悪化の懸念あり

「守りを固める」「投資の厳選・将来を見据えた投資は継続」

# 「必ず復活！ブラジル経済 ～日系企業はどう立ち向かうか～」

ブラジルの中長期的なポテンシャルは高い

新規に取り組む価値のある事業領域も多々ある

過去のクライシスに比べて、今は景気循環の一局面

守りを固め、リセッションの出口に向けてやるべきことをやる

リアル安、不動産価格下落は投資の好機とも言える

# ブラジル政府への要望

## 「魅力ある市場」という評価の回復

(いまや誰も高度成長を期待していない中で)

為替の安定

消費の活性化・公共投資の正常化

税制改革(移転価格、ICMSクレジット残、代行納税)

税金を払わない輸入に対する厳格な取締り  
(最近では国際インターネット通販の個人輸入での関税不払いが増加)

治安の改善

**食品 部会**

**藤江 太郎 部会長**

**Departamento de Gêneros Alimentícios**

**Presidente:Taro Fujie**

# 2015年上期の回顧と下期の展望

ブラジル日本商工会議所

食品部会

2015年8月20日(木)

# 目次

◆ 2015年上期業界動向

◆ 原・燃料動向

◆ 2015年下期の展望

必ず復活！ブラジル経済

～日系企業はどう立ち向かうか～

# 2015年上期の業界動向

## ◆ 国内市場概況

- ・2014年末から始まった経済情勢の悪化が消費マインドに大きな影響を与え、食品市場は内食、外食市場ともに低調。
- ・2014年上期はW杯効果による市場拡大があったため、多くの分野で数量が前年割れを起こした。
- ・低価格指向が強まり、嗜好品への支出を抑制する傾向が出ている。
- ・輸入食材の販売は、レアル安による輸入価格の上昇により厳しい状況にある。



# 2015年上期の業界動向

## <飲料>

- 発酵乳飲料 98%(数量ベース前年比)
- 果汁飲料 108%(同上)
- 粉末ジュース市場は前年比107%(金額ベース)

## <調味料>

- 調味料市場は前年比108%(金額ベース)

# 2015年上期の業界動向

## <コーヒー>

- ・国内消費は前年比103%と増加
- ・低価格指向が顕著に表れている

## <即席めん>

- ・食数ベースで前年比96~97%
- ・これまでの成長を牽引してきた中低所得者地域での落ち込みがみられる

# 2015年上期の業界動向

## <タバコ>

- ・価格政策により、低価格指向の消費者の獲得に成功、順調な成長を確保

## <日本食材>

- ・全体としては成長しているが、輸入販売は大きく前年を下回る

# 2015年上期の業界動向

## <加工食品等向け素材>

- (加工油脂)チョコレート原料のココアバターの価格低下により、代用油脂販売は苦戦
- (香料)飲料向けは不調であったが、香粧品向けが好調で全体として成長を確保

# 2015年上期の業界動向

## <種苗>

- ・高付加価値商品（F1ハイブリッド）の需要がさらに成長

## <輸出>

- ・食肉、濃縮果汁の輸出はレアル安が貢献し好調
- ・特に鶏肉、豚肉は日本向けが好調に推移

# 2015年上期の業界動向

## < 外食産業 >

- 低価格ファストフードは前年比プラス  
「すき家」新店舗をオープン
- 中価格帯、高価格帯のレストランは消費マインド低迷の影響を受ける

# 2015年上期の業界動向

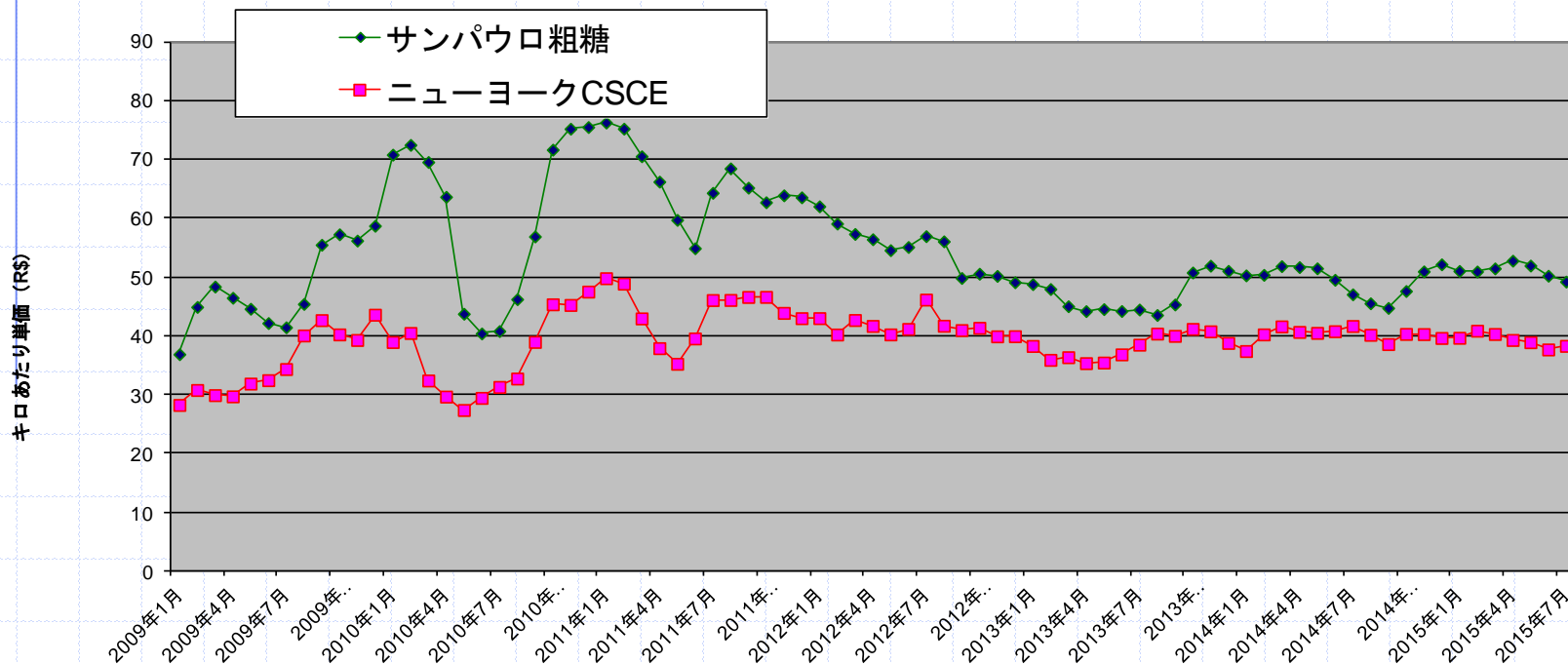
## ◆ 利益面の状況

- 輸入原材料の値上がり-マイナス要因
- 原材料の国際価格低下傾向-プラス要因
- 電気代、人件費が収益へ大きく影響

# 原料動向

## 砂糖相場の推移(2009～)

粗糖キロあたりリアル単価

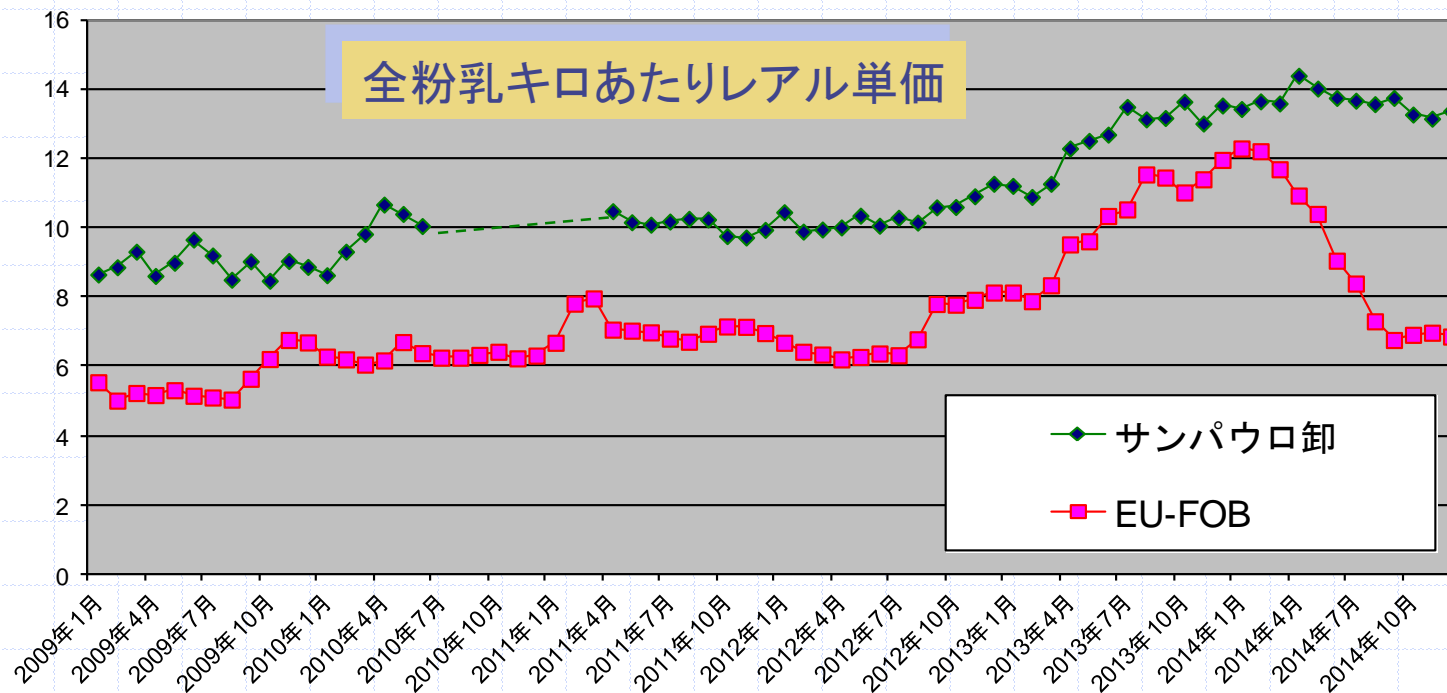


◆2009～2011年にかけて高値かつ乱高下を続けていたが、2012年からはサトウキビ生産増に伴い相場は下落かつ安定してきた。



# 原料動向

## 乳相場の推移(2009～)

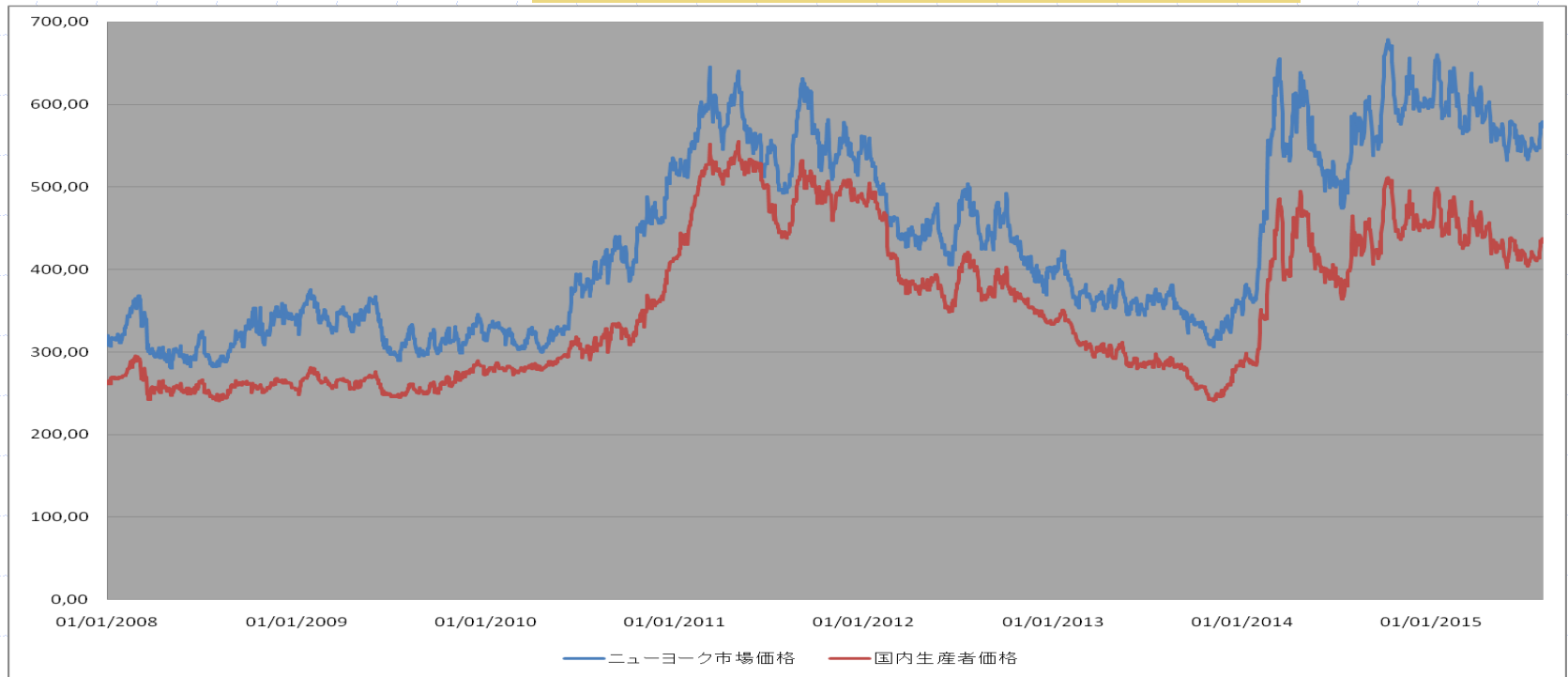


◆乳製品価格は2013年には一大供給地域オセアニアで干ばつによる大不作となり高値のピークを付けた。2014年に入ってから供給増大策が功を奏し国際的には大きく下落、2012年以前の水準に戻ったものの、国内への影響は限定的。

# 原料動向

## コーヒー相場の推移

アラビカ種60kg現物渡し価格推移(R\$)



◆2015年上期、ブラジルの国内相場は450～500リアルと比較的高値で推移した。実際のところドル建てのニューヨーク国際相場はブラジルの作柄回復見通しにより大きく値を下げているが、リアル安が国内相場を下支えしている格好。現物に関するニュースが乏しい中、下期の注目材料もブラジルリアルの動向。

## 燃料動向

- ① サンパウロ州の電気スポット価格は300リアル台に低下している。
- ② 各社の電気代コストは前年を大きく上回っており、収益への影響大。
- ③ サンパウロ州の渇水問題は本質的な解決は図られていない。再燃の危険性あり。

# 2015年下期の展望

必ず復活！ブラジル経済～日系企業はどう立ち向かうか～

(1)消費マインドの低迷は当面継続する。

→新製品の発売による市場開拓

→買収・提携などによる将来の成長への布石

(2)様々な要因によるコスト上昇。市場環境が厳しい中、販売価格への転嫁が困難で、短期的に収益が悪化

→消費者の動向、社会的な変化を的確にとらえる

→変化の時期を構造変化や体質強化のチャンスと見て取り組む

**運輸サービス 部会**

**細谷 浩司 部会長**

**Departamento de Transportes e Serviços**

**Presidente: Koji Hosoya**

# 2015年上期の回顧と2015年下期の展望

**必ず復活！ブラジル経済**

**～日系企業はどう立ち向かうか～**

**運輸サービス部会 細谷 浩司**

**2015年8月20日**

# 運輸サービス部会の対象業界

- 物流
- 構内物流・機工・整備
- 海運
- 航空貨物
- 航空旅客
- 旅行、ホテル
- 通信、IT



# 物流業界

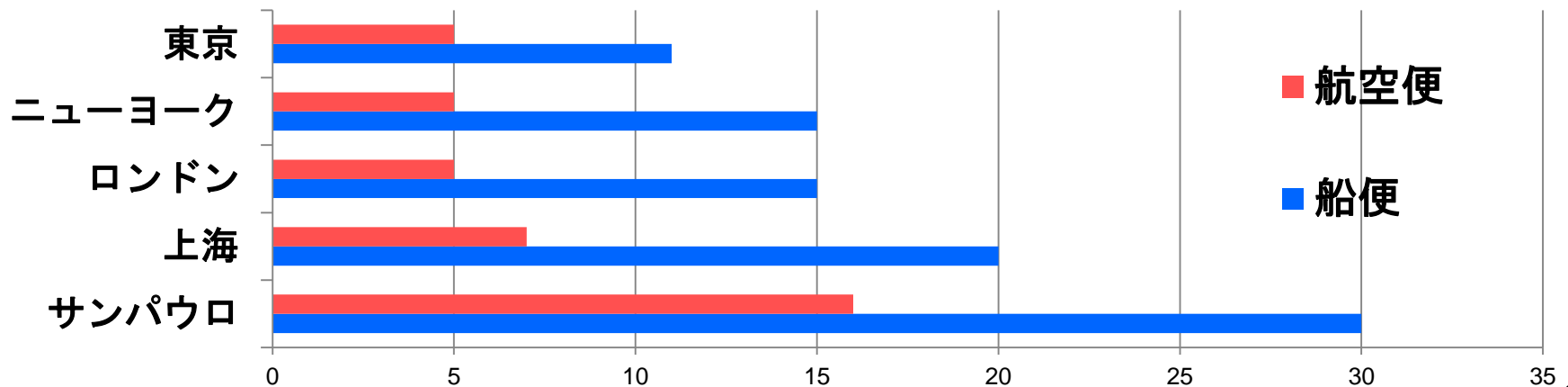
## 2015年上期回顧

- ・ ワールドカップの開催で生産部材等の輸出入が止まった昨年と比べても輸出入ともに扱い貨物量は少なく、全体的に厳しい上期であった。
- ・ 10年間凍結していたサントス港湾諸料金が5月に31.7%値上。

## 2015年下期展望

- ・ 待遇改善等の理由による港湾・税関ストライキ発生が懸念材料。
- ・ インフレ・各種料金値上げにより国内物流費用が上昇する傾向。
- ・ 引越の荷動きを見る限り、日本人駐在員数は同程度か微減と予測。

## 引越荷物：到着から輸入手続き完了までの主要都市別日数比較





# 鉄鋼業界内：機工・整備・構内物流

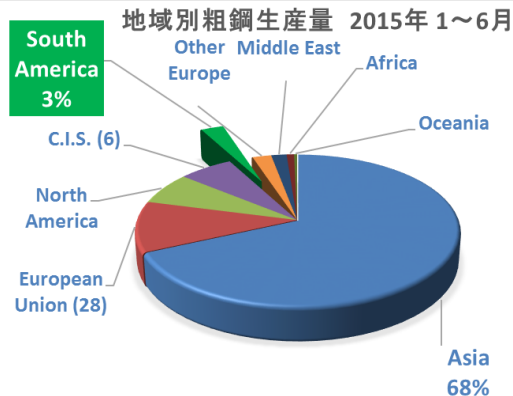
## 2015年上期回顧

- 鉄鋼業界は需要の減少に伴い、一部製鉄所での高炉の休止などの施策を行うと共に、外注業務の内製化による余剰人員の吸収等の検討を実施、また外注契約に関しても大幅な契約額低減の要求等ドラスチックなコスト削減方向に向かっており、経営に直接影響し契約解除、要員解雇等、厳しい状況。

## 2015年下期展望

- 引続き業界に対しては厳しいコストダウン要求が継続するものと予想。この中でどの様に生き延びていくか、合理化投資が何処まで出来るか、非常に厳しい状況が続くものと予想している。

鉄鋼業界内の協力業者として設備投資による要員合理化策を実施する為にも、客先の外注契約の長期化の交渉を強力に進める必要がある。



RANK IN 2014	COMPANY	Ton	%
1	ArcelorMittal	98,088	6.0%
2	Nippon Steel and Sumitomo Metal Corporation	49,300	3.0%
3	Hebei Steel Group (中国)	47,094	2.9%
16	Gerdau S.A.	19,001	1.2%
57	USIMINAS	6,054	0.4%
62	CSN	5,407	0.3%



# 海運業界

## 2015年上期回顧

- ・ コンテナ船はレアル安の影響により前年同期比にて輸入が1%減少、輸出が6%増加となった。輸入では太宗アジアトレードは横ばいだったものの、欧州、アメリカからが6%減少。輸出は、特に米国向けの輸出が8%増加した。輸入超過の構図は変わらず、輸出入全体では前年同期比2%増となった。
- ・ 不定期船は中国の鉄鉱石輸入量が前年比で0.9%減となり、鉄鉱石を運ぶケープサイズ船の傭船料市況は低迷。これによりケープサイズ船の解撤（スクラップ）が進み、上期の解撤量は同時期の新造船竣工量を上回り、船腹の減少が続いている。鉄鉱石主要サプライヤーも一時的な減産や増産計画の見直しに踏み切る動きも見られた。
- ・ インフラ面ではサントス港の新ターミナル(BTP/Embraport)の運営開始により需給は緩和、ターミナルオペレーターによる競争が進んでいる。
- ・ コンテナ船の海運市況は大型船投入による供給増にて、特にアジア-南米東岸トレードの運賃レベルは記録的な低迷が続いた。

## 2015年下期展望

- ・ コンテナ船はレアル安とブラジル経済不調の影響を受けて輸入の停滞傾向は昨年に引続き暫し続く見込み。レアル安は輸出には追い風だが、財政緊縮策の企業活動への影響により輸出量の伸びにも影響を与える可能性もある。
- ・ 不定期船はケープサイズ船の傭船料市況が若干回復基調にある。需要低迷により鉄鉱石価格の下落基調が続いているが、通常下期は鉄鉱石輸出の繁忙期を迎える為、中国による購買次第では市況回復が期待できる
- ・ インフラ面では港湾整備と港湾民営化に対する政府計画が新たに発表され、具体的な展開が期待される。
- ・ コンテナ船ではアジア-南米東岸トレードの船型大型化・サービス改編が更に進められているが、厳しい運賃環境は継続する見込み。

**ブラジル経済の停滞と船型大型化の影響で、運賃環境厳しく、2015年下期も業界全体としては厳しい状況が続く見込み。**

# 航空貨物業界

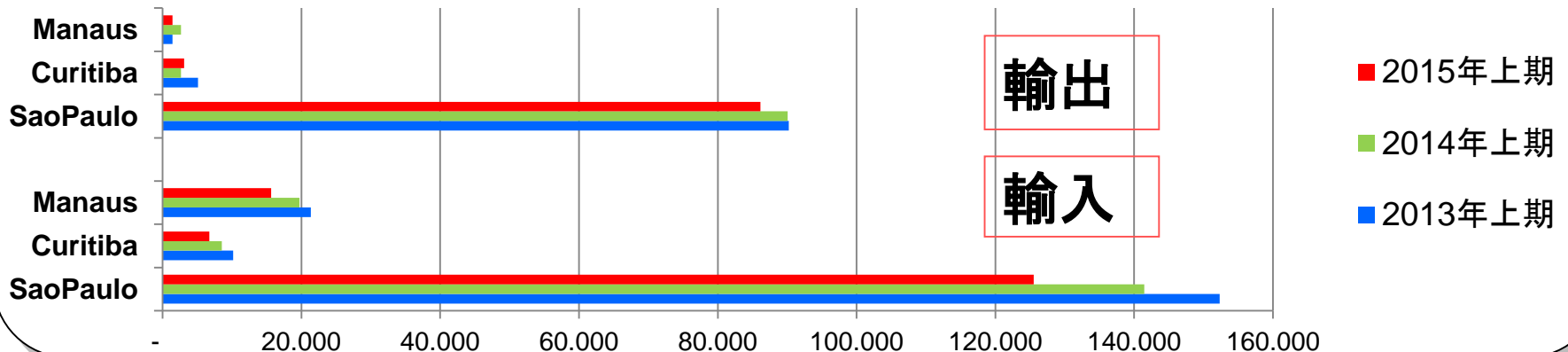
## 2015年上期回顧

- 主要3都市での比較( サンパウロ、マナウス、クリチバ )  
輸入量は対前年同期比 ▲12.8%  
輸出量は対前年同期比 ▲ 4.9%

## 2015年下期展望

- ・ 輸入は減少、輸出は微増。
- ・ レアル安の中、新たな輸出品目が生まれることを期待。
- ・ オリンピック商戦に対応し航空需要が高まるか。

主要3都市 航空貨物輸出入取扱数量 (単位: トン)



# 航空旅客

## 2015年上期回顧

- 国内線 有償旅客キロ対前年+3.9%、提供座席キロが同+3.0%、利用率+0.7pt向上。
- 国際線 ブラジル航空会社計で、有償旅客キロ対前年+13.1%、提供座席キロ同+13.6%、利用率は▲0.4pt低下したものの、座席の増に応じて旅客もほぼ同規模で伸長。
- ブラジル経済の伸び悩みの影響で、日本への出稼ぎ需要が徐々に増加。

## 2015年下期展望

- 国内線 旺盛な需要に支えられ、引き続き堅調な伸びが続くと想定。
- 先日、TAM航空がブラジル国内線10%カット、従業員2%リストラすると発表したことに伴う、マイナス影響を懸念。
- 国際線 景気の停滞と最近の為替(ドル高レアル安)の影響で、ブラジルからの出国者数が減少もしくは停滞すると想定。

## 特記・周知事項

- エチオピア航空が、4月下旬から、週2便でサンパウロ＝アディスアベバ＝成田線に新規就航。
- 全日空が、6月12日から成田＝ヒューストン線に新規就航し、ヒューストン＝サンパウロ・リオデジヤネイロ線でコードシェア便を運航開始。
- AVIANCAブラジルが、7月22日から Star Alliance に正式加盟。
- アメリカン航空が、10月中旬頃、サンパウロ＝ロサンゼルス線にボーイング787を投入し、それに合わせ、グアリュアリーヨス空港(T3)のラウンジを新規オープン予定。

# 旅行業界

## 2015年上期回顧

- 国内線は前年同期比、発券枚数は12.8%増、売上額は1.5%増を記録
- 国際線は前年同期比、発券枚数は14.8%増、売上額は18.9%増を記録

## 2015年下期展望

- ・ ドル高レアル安と景気後退の影響により海外旅行客の減少見込。
- ・ 海外旅行を見合せ国内旅行に切り替えることにより、国内旅行の需要の伸びが多少なりとも期待される。

## オリンピック関連

- プレイベント(テスト大会)に各国からの視察団が来伯中。
- オリンピックが近づくにつれ、来伯グループの先行受注が増加傾向見込
- ホテルや車両会社等が便乗値上げをしてくと予想される、一方で  
 今年のWCのときと同様に間際のキャンセルもあることが予想。

# ホテル業界

## 2015年上期回顧—サンパウロ市ホテル業界

部屋使用率 60.75%

平均宿泊料金 R\$315.00

※2015年6月度（前年同月対比）部屋使用率 8.6%のアップ  
平均宿泊料金18.7%のダウン

経済及び政治面の微妙な局面にもかかわらず、ドル高騰により国内観光及び外国人来伯の増加傾向。

## 2015年下期展望—サンパウロ市ホテル業界

- サンパウロ市（+2%）を除くサンパウロ首都圏内は  
2015年度は累積で2.7%の適度な部屋使用率上昇を記録する見込み（業界の調査に基づく）
- コストダウン対策及び現在の難局に対してのチャレンジが要求される。  
ドル高騰により国内観光のチャンスも見出せるが、観光シーズン外のパッケージ企画に関して大きな想像力及び革新、販売促進策、製品、サービス及びプロセス等の開発が必要。

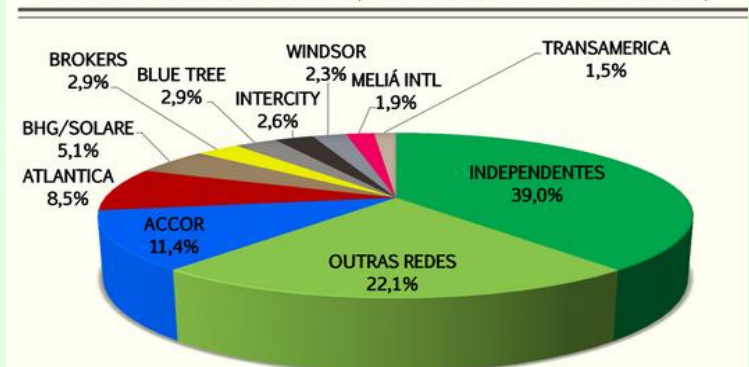
## サンパウロ市内 2014年/2015年1-7月対比

部屋使用率の変動 : -38.6%  
(参考 国内ホテル -3.6%)

平均宿泊料金変動率 : -43.7%

(情報源：サンパウロ市観光及びイベント観測機関)

Hotelaria nacional (market-share vendas)



# 通信業界（携帯モバイル）

## 2015年上期回顧

- ▶ ブラジルの経済状況の悪化に伴い、スマートフォンの普及ペースが鈍化。端末市場においてはサムスン、LG、アップル等に加え、廉価版スマホを提供する中国Xiaomi社が6月にマーケット進出
- ▶ 加入者数：2億8245万（普及率：138,2%：世界第5位）
- ▶ 2G（GSM等）：9.326万（シェア：32,82%）
- ▶ 3G：1億6198万（シェア：56,98%）、4G（LTE）：1.184万（シェア：4,17%）
- ▶ データカード等：1.712万（シェア：6,03%）、プリペイド比率（74.85%）

## 2015年下期展望

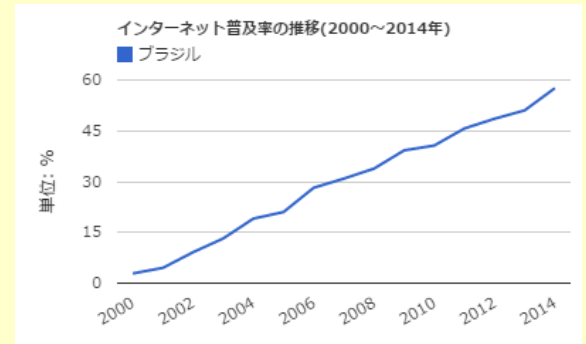
- ▶ 4G（LTE）の普及に伴い、さらにデータ通信サービスが増加、一方で音声サービスは継続的に低下する見込み
- ▶ 法人ユーザ（物流、医療、メーカ等）においてはマシーン-to-マシーンを含むInternet of Things（IOT、すべての人・物がInternetで繋がるサービス）が\*ブラジルも含め、ラテンアメリカで普及していくことが予想される
- ▶ 16年オリンピックに向け、特に開催地であるリオでの通信品質については、各社基地局の増強を含めて改善が図られる見込み
- ▶ \*SNSのほかに、Waze（ナビゲーション）やEasyTaxi、Taxi99など生活に役立つフリーアプリケーションが更に増えてくると予想される



# 通信業界（テレコム・データセンター）

## 2015年上期回顧

- ブロードバンドのマーケットシェア：NET31.6%、Vivo29.2%、OI26.1%
- 6月末時点でブロードバンドユーザは2千4百万9千人を突破
- インターネット普及率は約57%（**世界70位**）
- Windows10のアップグレードなどアプリケーションの提供がクラウド型へシフト、大手ITサービス企業を中心に国内データセンター需要が急速に高まっている



\*

## 2015年下期展望と課題

- 通信業界再編が活発化、通信インフラ基盤の安定化、低廉化が期待され、今後、FTTH、FTTOが普及、利用が増加する見込み
- コモディティ化したICT要素（メール、サーバー等）はより柔軟でコスト効果の高いクラウド型（データセンター）へシフトが進むが、通信インフラ基盤の脆弱性がネック
- インターネットがビジネス基盤化する中、大都市中心部以外（郊外の工業団地等）で高速化/安定化/低価格化が求められている

\*技術者不足、人経費の高騰→IT専門家の確保の困難が慢性化



# IT業界（サービス、インフラ、ソフト）

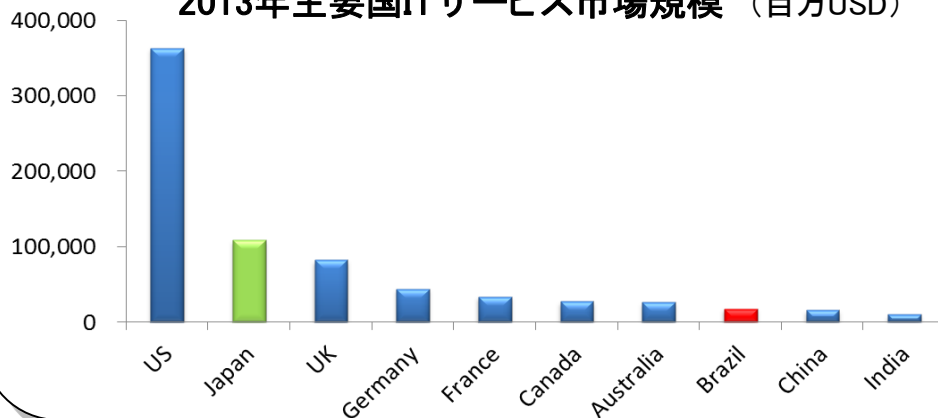
## 2015年上期回顧

- ・ 2015年度IT投資予想額はUS\$125billionからUS\$116billionに下方修正。
- ・ 顧客からのITコスト削減要求の対応に苦慮。新規日系企業進出に関わる案件は減少。
- ・ コスト削減を目的としたITの活用（BPO・ITO等のアウトソーシング）の需要が旺盛。
- ・ SPED（公共簿記システム）関連のシステム導入対応が引き続き増加。

## 2015年下期展望

- ・ 景気低迷や為替の影響等により、IT投資額がさらに削減。
- ・ クラウドサービスやデータセンタの需要の増加、クラウドサービスのコモディティ化によるITインフラの価格削減が期待される。またビッグデータ等のIT先進技術の浸透にも期待。
- ・ SPEDのeSocial対応が増加。
- ・ ITコストの全体最適化等の観点から、ITにおける保守・運用業務のコスト削減が課題
- ・ 優秀なIT人材の育成や確保、人件費の高騰への対応は大きな課題。

2013年主要国ITサービス市場規模（百万USD）



	2013年	シェア	対前年比
US	363,596	39.0%	3.6%
Japan	109,059	11.7%	-16.2%
UK	82,682	8.9%	1.2%
Germany	44,434	4.8%	2.6%
France	34,151	3.7%	1.6%
Canada	27,661	3.0%	-0.1%
Australia	26,407	2.8%	-4.8%
Brazil	17,819	1.9%	2.2%
China	16,165	1.7%	11.4%
India	10,351	1.1%	3.6%

## 必ず復活！ブラジル経済

### ～日系企業はどう立ち向かうか～

- 日系物流業者としてのアドバンテージの無い国内業界に参入し、日本品質で地場業者と戦っていく。
- コスト競争力を高める為の社内技術開発により合理化・機械化技術力を高める為の体制作りと実施。
- 日伯間の観光ビザ相互免除協定の締結推進により更なる来伯客の誘致を導く。
- ブラジル及び欧米系の航空会社との連携を強化し、ブラジル＝日本間の路線網の拡大と乗継ぎの利便性向上を促進する。
- 当地旅行会社との協業にて、ブラジル人の訪日旅行者数を増大する旅行商品を作成し、販売の強化を図る。
- 需要を待つのではなく、創造することが大事。

ご清聴有難う御座いました。



運輸サービス部会一同

# (資料) 航空旅客

## (参考) 利用率について

A → B 路線の距離 10 km

A → C 路線の距離 100 km

項目	A → B	A → C	計
旅客数 (人)	80	50	130
座席数 (席)	100	100	200
占有率 (%)	80.0	50.0	65.0
RPK (旅客キロ)	800	5,000	5,800
ASK (座席キロ)	1,000	10,000	11,000
利用率 (%)	80.0	50.0	52.7

- 単体の路線では、占有率と利用率は同じ。
- 但し、路線距離が異なる複数路線を合算して利用率を示す場合は、旅客数と座席数のそれぞれに距離を乗じて算出する。

# (資料) Eventos – イベント

## 2015- 1o semestre Eventos em São Paulo

### 2015年- 上半期 (サンパウロでのイベント)

Em eventos, segundo o SP Convention Bureau, houve um aumento de 11% de oportunidade de negócios gerados em relação a 2014 em São Paulo. São Paulo está entre os 35 de um total de mais de 400 cidades no mundo, que mais recebem eventos internacionais. Em 2003 a ocupação era de 98º posição hoje São Paulo está na 34º posição mundial.

イベントに関して、SPConvention Bureauの情報により、2014に対して11%のビジネスチャンスの増加が発生しました (サンパウロ)。

国際イベント開催に関して、現在、サンパウロ市は世界の400市以上の中でトップ35位です。2003年は98位でしたが、現在世界ランクで34位です。

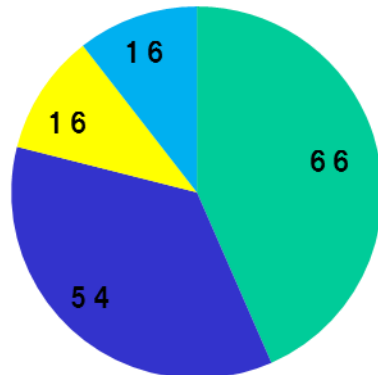
## 2015 – 2º semestre- Perspectivas de Eventos em São Paulo

### 2015年 – 下半期 (サンパウロでのイベントの見通し)

Em se tratando de eventos em São Paulo, um ponto que merece atenção para o 2º semestre é a competitividade de outros destinos para a realização de eventos por conta de custos, políticas e a rotatividade do próprio evento.

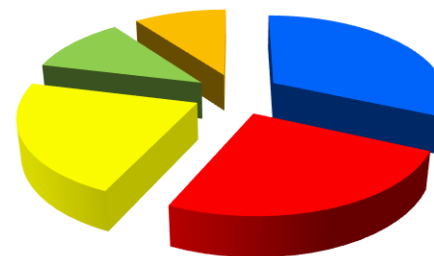
サンパウロでのイベントに関して、下半期のイベント受注に対しては他の都市の競争となります。

1º no Brasil  
ブラジルで一位



■ SP  
■ RJ  
■ Brasilia  
■ Foz do Iguaçu

Brasil no mundo (10º Lugar)  
ブラジルと世界 (10位)



■ 1- EUA  
■ 2- Alemanha  
■ 3- Espanha  
■ 10- Brasil  
■ 12- Canadá

1- 米国  
2- ドイツ  
3- スペイン  
10- ブラジル  
12- カナダ

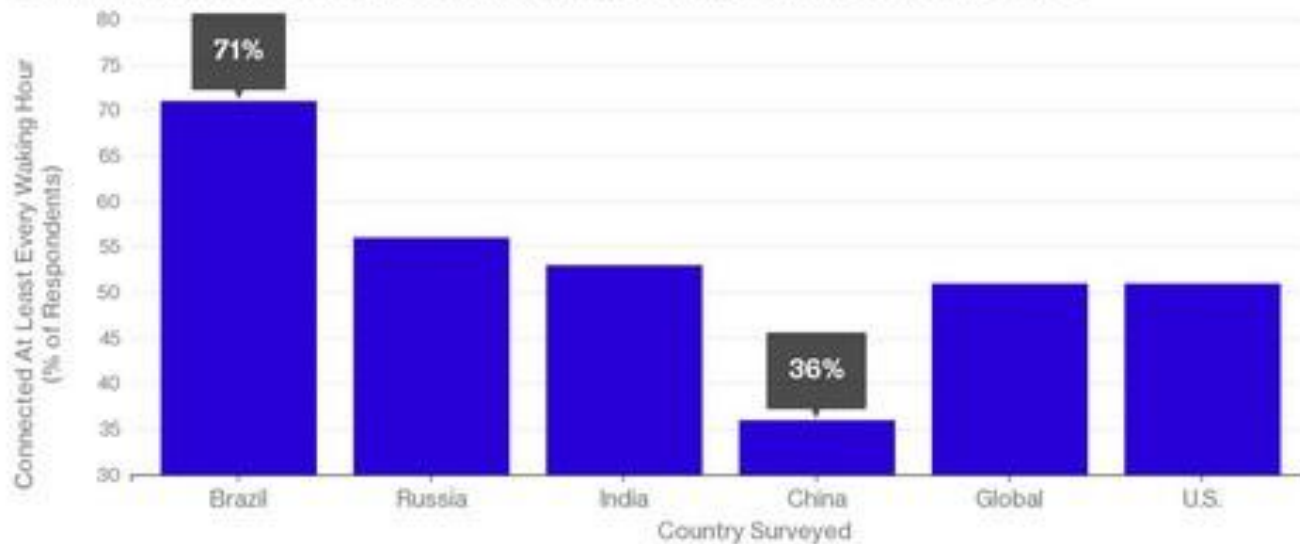
# (資料) ブラジルのインターネット接続

% of Users Who Say They Connect to Internet at Least Once a Day

- インターネットに毎日つなげている人が一番多い国は世界ダントツでブラジル

## Most Connected

Brazilians connect to the Internet more than consumers in the rest of the BRICs



A.T. Kearney

Data is based on a study of 10,000 evenly distributed respondents across 10 countries, conducted in July 2014.

Bloomberg

# (資料) ブラジルモバイル市場

- ブラジルにおける携帯電話の契約数は増加しており、普及率は約138%。所得増加に伴い、プリペイド比率は低下傾向。

	2013年	2014年	2015年
携帯電話契約数 [万]	27,110	28,073	28,245
普及率 [%]	134	138	138,2%
プリペイド比率 [%]	78.0	75.8	74.8

- ブラジル市場では、急速に2Gから3G/4Gへの移行が進んでいる。

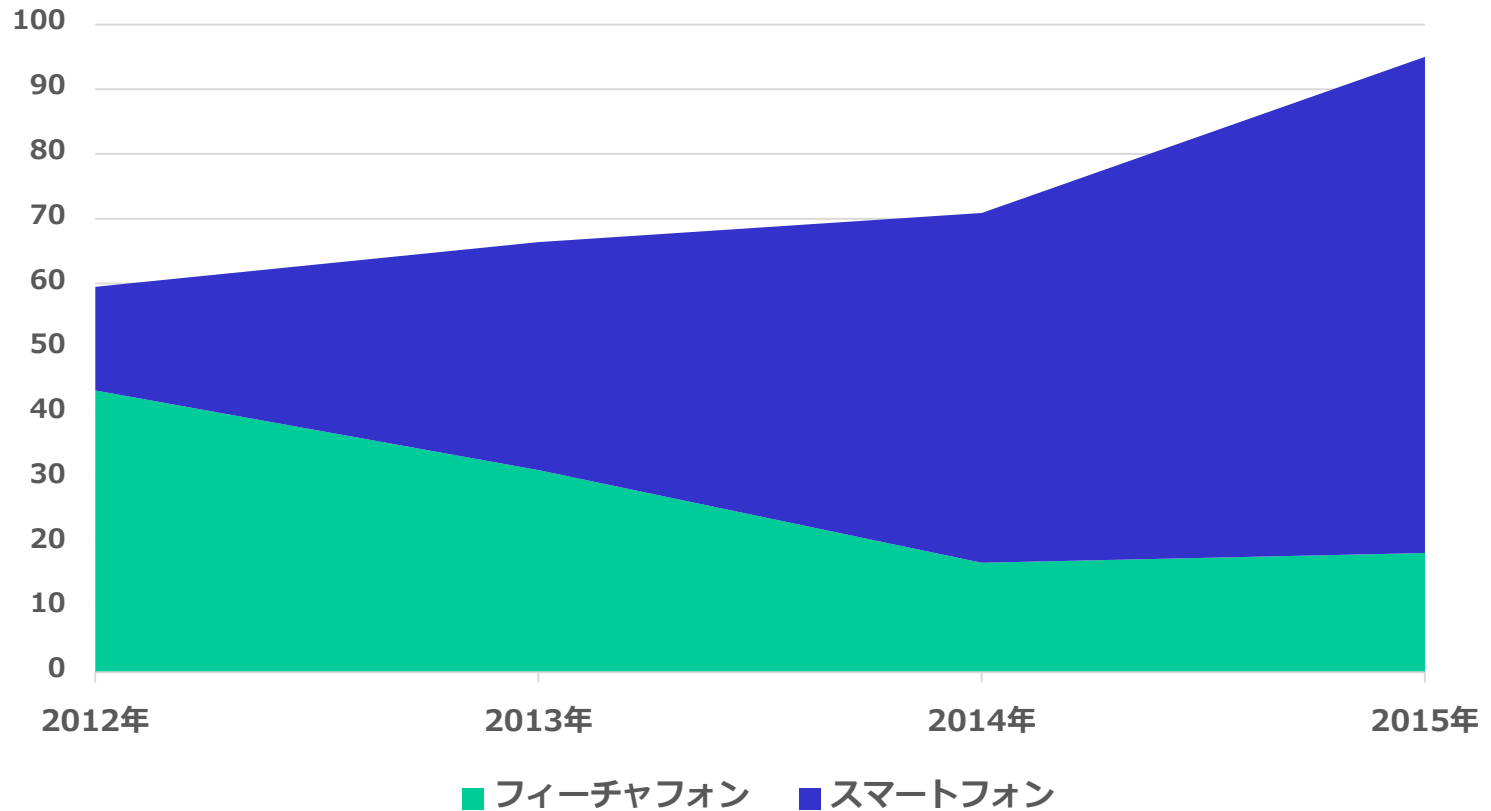
	2013年	2014年	2015年
2G	15,967	11,298	9,326
3G	9,476	14,466	16,198
4G	131	677	1,184
データカード	1,533	1,630	1,712

# (資料) ブラジル携帯端末

- スマートフォンの販売台数は急速に伸びており、2015年には販売数全体の90%を超える見込み。
- スマートフォンの販売台数の約35%が4G(LTE)使用

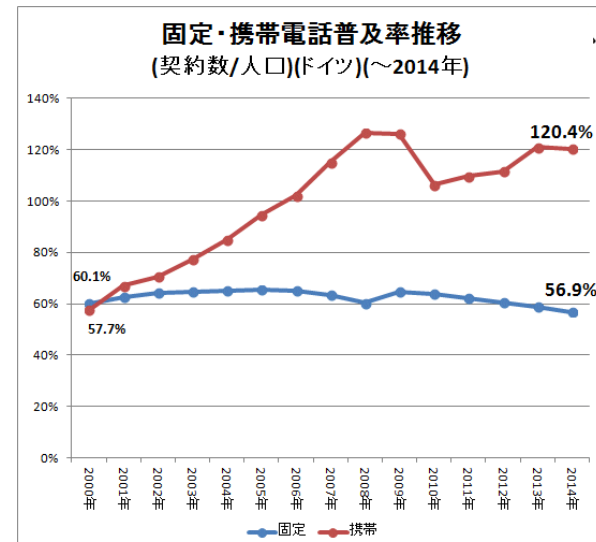
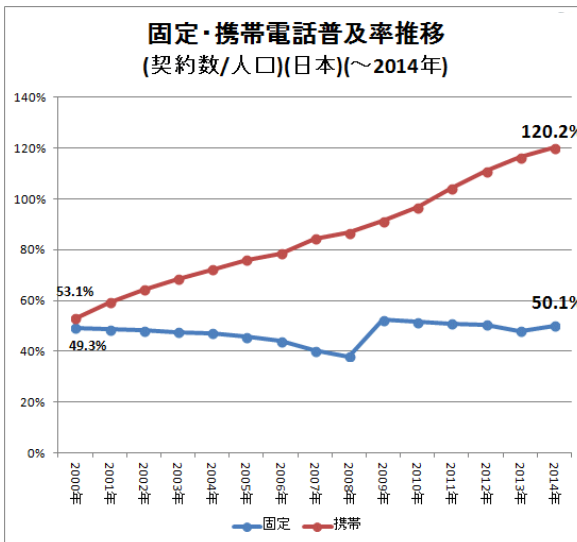
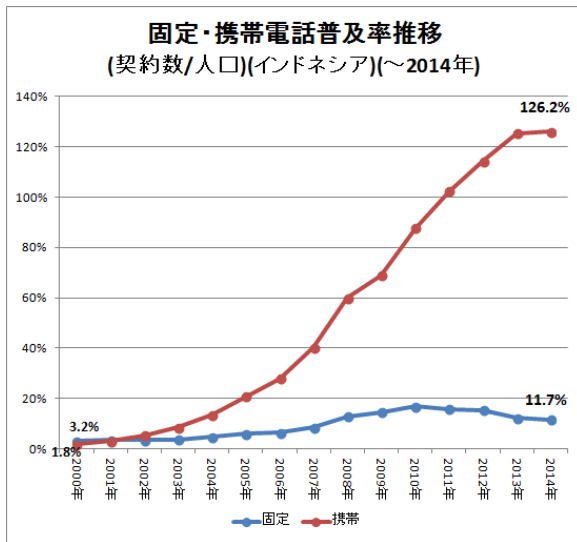
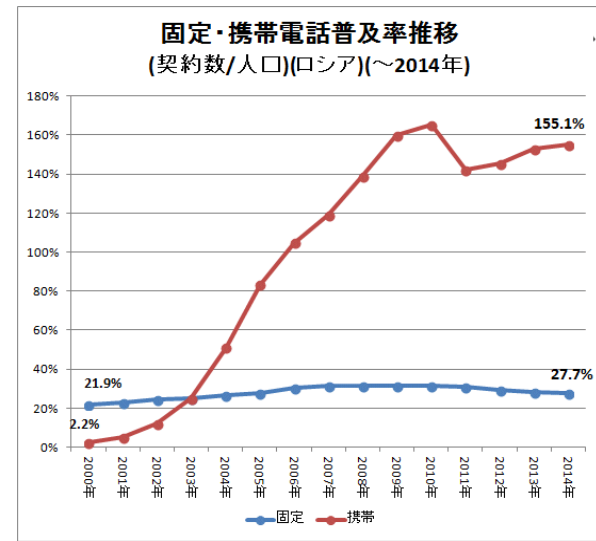
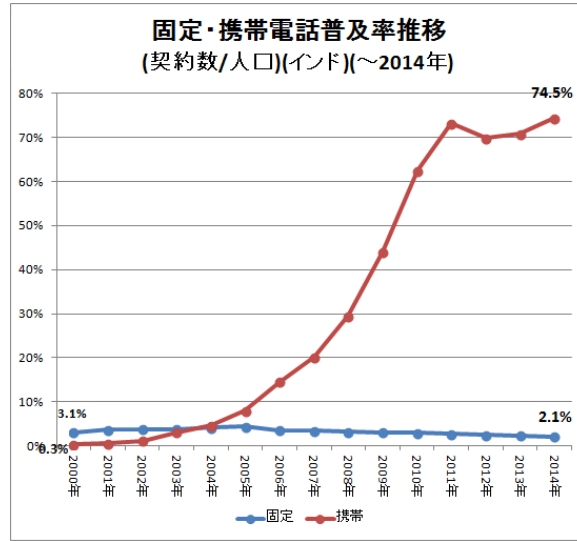
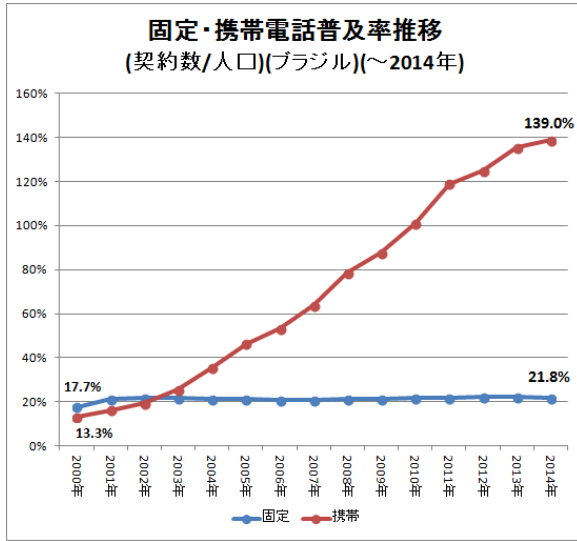
(単位：百万台)

【販売台数】





# (資料) 国別固定電話・携帯電話普及率推移



化学品 部会

高橋 智 部会長

Departamento de Produtos Químicos

Presidente: Satoru Takahashi

# 化学品部会

2015年上半期の回顧と2015年下半期の展望

副題：「必ず復活ブラジル経済～日系企業はどう立ち向かうか～」

2015年8月20日

化学品部会アンケート  
(2015年上半期の回顧と2015年下半期の展望)

アンケート依頼:54社  
29社・37回答  
(一部複数回答あり)

# 化学品部会 会員会社へアンケート実施

Adeka Brasil

[Daicolor do Brasil](#)

Fertilizantes Mitsui

[FUJIFILM do Brasil](#)

[Harima do Brasil](#)

[Hisamitsu Farmacêutica do Brasil](#)

[Kaneka South America](#)

[K-I Chemical do Brasil](#)

[Kuraray South America](#)

[Kurashiki Chemical do Brasil](#)

[Kito do Brasil](#)

[Mitsui Chemicals do Brasil](#)

[Nagase do Brasil](#)

[Nisso Brasileira](#)

[Otsuka Ind. Prods. Químicos](#)

Pigeon Produtos Infantis

[Pilot Pen do Brasil](#)

[Rhoto do Brasil](#)

[Shiseido do Brasil](#)

[Sumitomo Chemical do Brasil](#)

[Takasago Fragrâncias e Aromas](#)

[Three Bond do Brasil](#)

Sociedade Coml. Toyota Tsusho

[Toyo Ink Brasil](#)

[Toyobo do Brasil](#)

[UBE Latin America](#)

Ueno Profit Assessoria

Azbil do Brasil

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro

Bridgestone do Brasil

Celulose Nipo-Brasileira Cenibra)

EPCOS do Brasil (TDK)

[Idemitsu Lube South America](#)

Inabata Brasil

Itochu Brasil

[JX Nippon Oil & Energy do Brasil](#)

Kito do Brasil

Kurita do Brasil

[Kyocera do Brasil](#)

[Marubeni Brasil](#)

Midori Atlântica Brasil

[Mitsubishi Corporation do Brasil](#)

Mitsui & Co. (Brasil)

Miura Boiler do Brasil

Nagawa do Brasil

[Nichino do Brasil](#)

Nitto Denko America Latina

Okaya do Brasil

Sojitz do Brasil

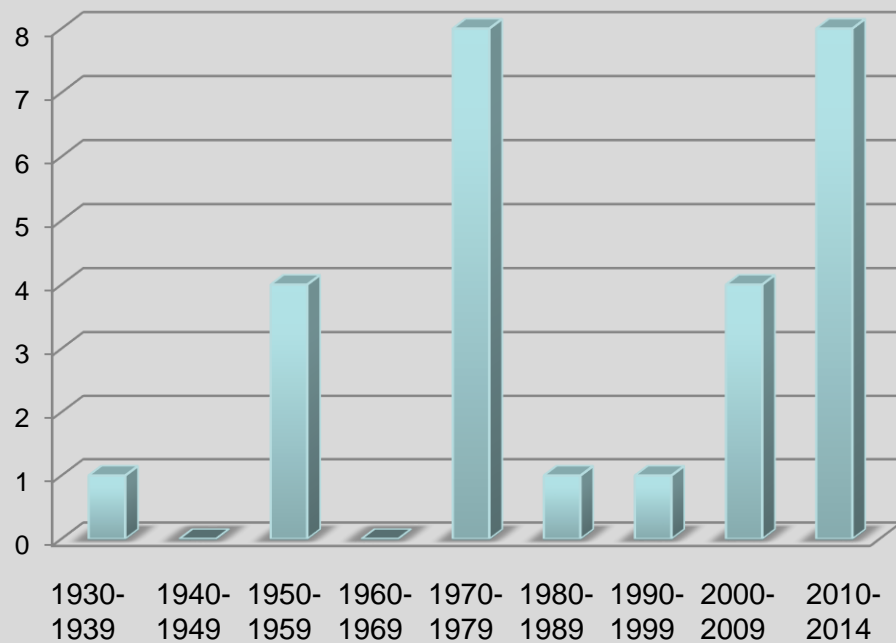
[Sumitomo Corporation do Brasil](#)

[Unicharm do Brasil](#)

[Toray do Brasil](#)

会員会社54社  
29社37回答

# 回答を得た会員会社の約3割が、この5年間にブラジルで創業



# 37回答の事業分野

## 工業材料

17回答

合成樹脂  
合成繊維  
樹脂フィルム  
高機能ファイバー  
化成品中間体  
樹脂用着色剤  
接着剤・シール材  
ロジン・誘導體  
水処理薬品  
自動車用内装部品

## 消費材製品

13回答

化粧品  
公衆衛生用品  
香料・化粧品  
一般医薬品  
家庭用殺虫剤  
瞬間接着剤  
筆記具・文房具  
プラスチック製品  
医療用フィルム  
印刷用刷版  
印刷用インキ

## 農業・畜産

5回答

農薬  
飼料添加物

## 石油製品

2回答

潤滑油等

工業材料の主たる取引先業界

自動車、電子機器、食品、化粧品、医薬品、製紙、建築材料等

# 37回答の分類

## 工業材料

Daicolor  
Harima  
Kaneka  
Kuraray  
Kurashiki  
Chemical  
Kyocera  
Marubeni  
Mitsui Chemical  
Mitsubishi Corp.  
Nagase  
Otsuka  
Sumitomo  
Chemical  
Sumitomo Corp.  
ThreeBond  
Toray  
Toyobo  
UBE

## 消費財製品

Fujifilm  
Hisamitsu  
Pilot Pen  
Rhoto  
Shiseido  
ThreeBond  
Takasago  
Fragrancias

## 農業・畜産

K-I Chemical  
Mitsui Chemical  
Nichino  
Nisso  
Sumitomo  
Chemical

## 石油製品

Idemitsu  
JX

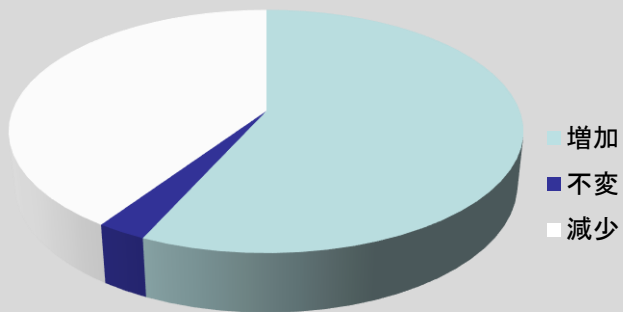


# 化学品部会合計

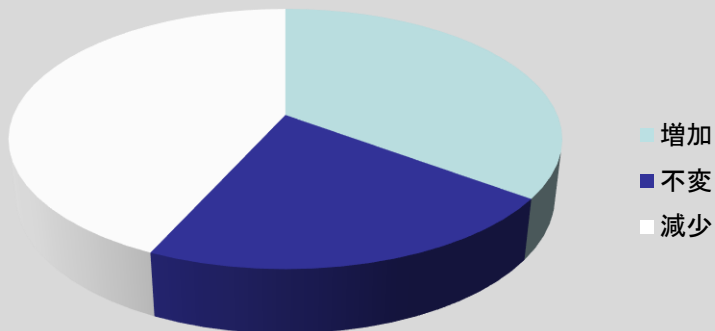
必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 2015年上期の回顧

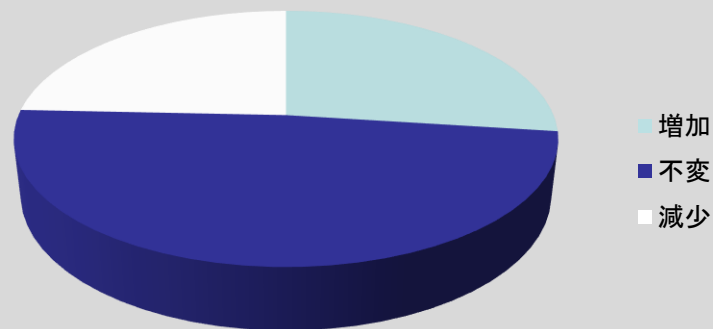
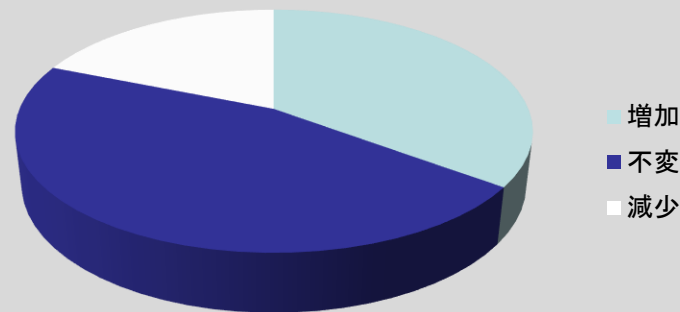
売上



利益



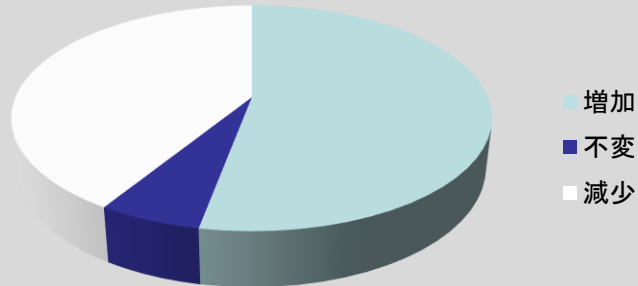
## 2015年下期の展望



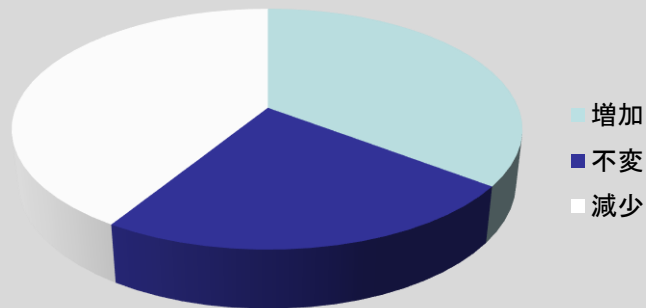
37回答

### 2015年上期の回顧

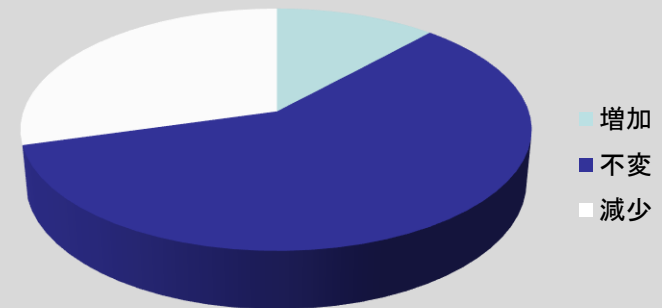
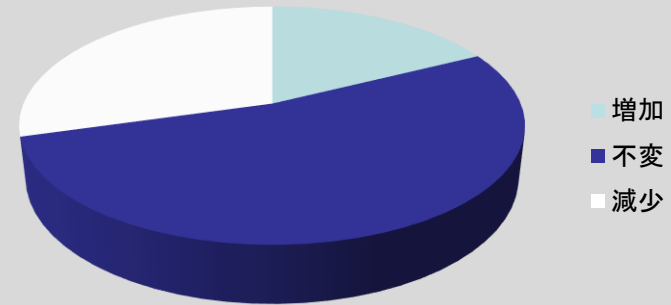
売上



利益



### 2015年下期の展望



19回答

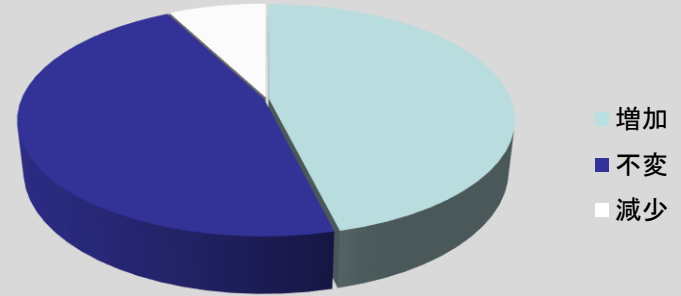
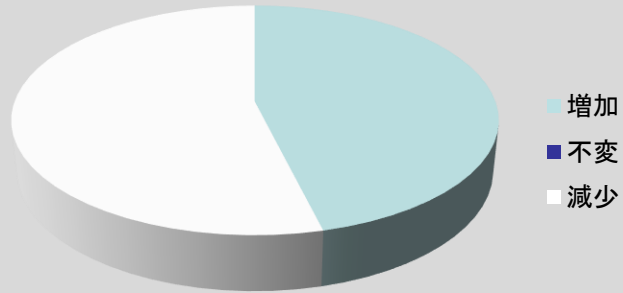
# 消費財製品

必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

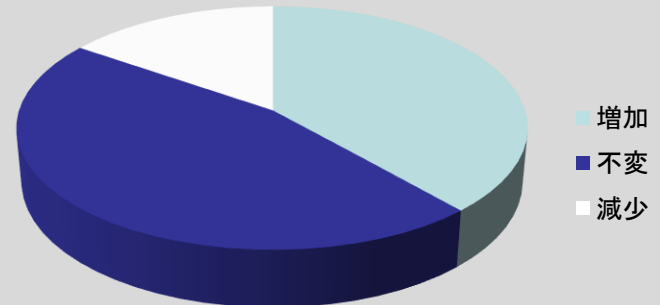
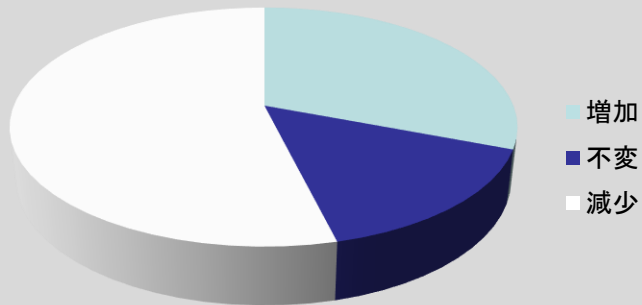
2015年上期の回顧

2015年下期の展望

売上



利益

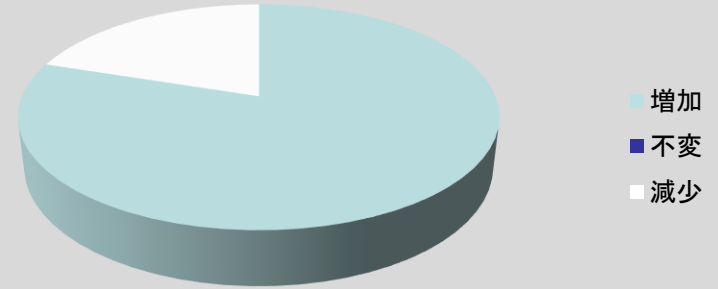
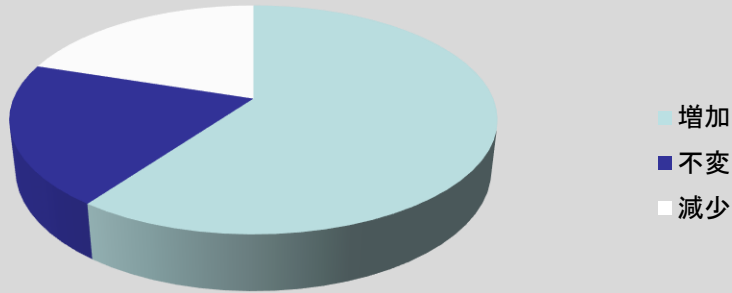


13回答

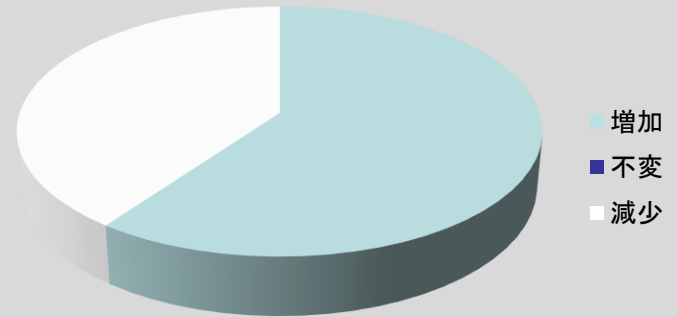
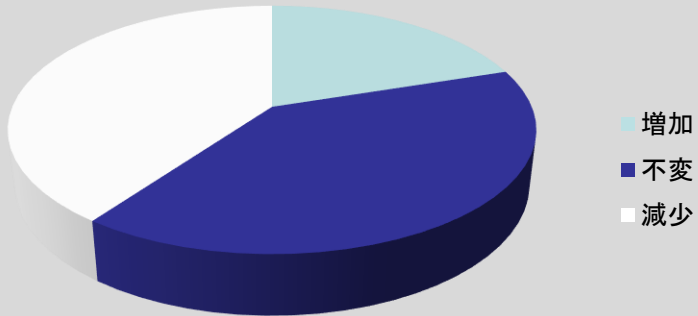
### 2015年上期の回顧

### 2015年下期の展望

売上



利益



5回答

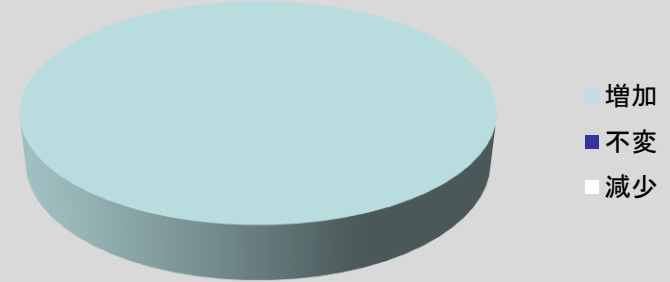
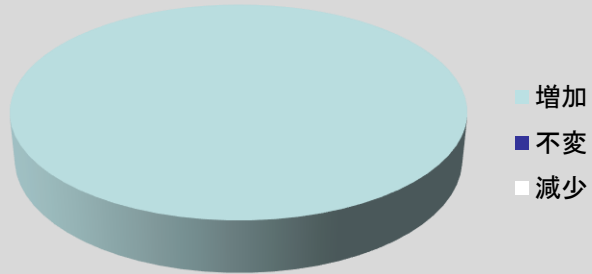
# 石油製品

必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

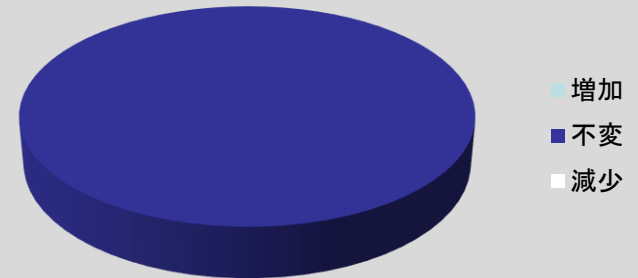
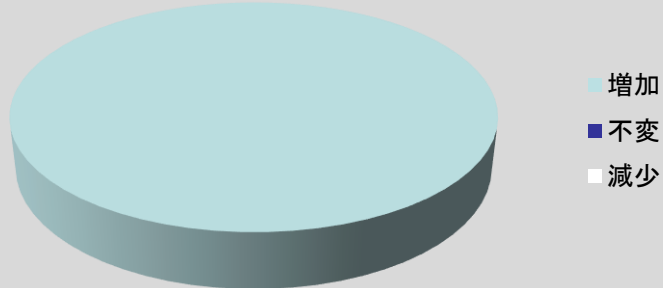
2015年上期の回顧

2015年下期の展望

売上



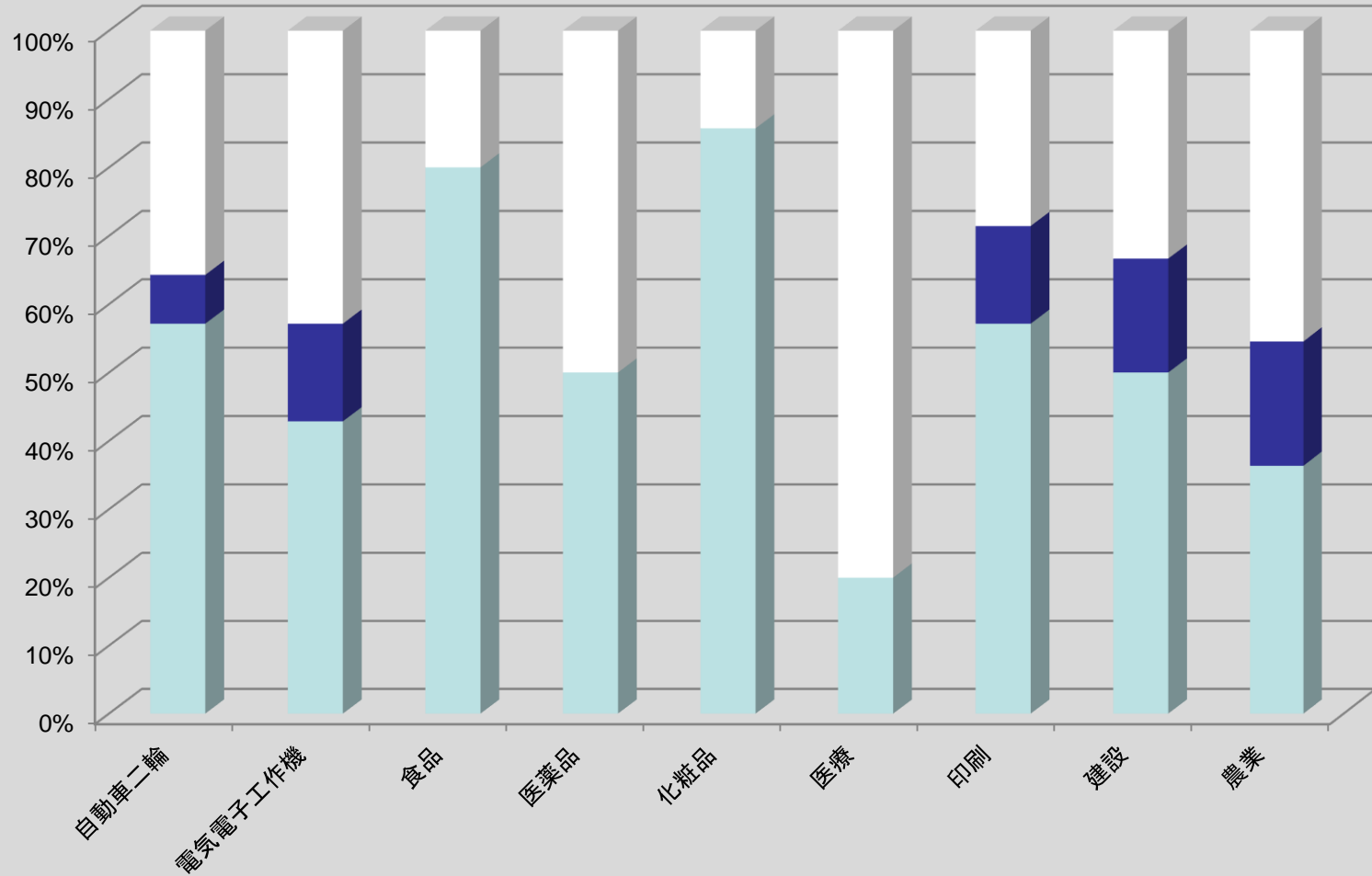
利益



2回答

# 2015上半期の回顧・・・売上

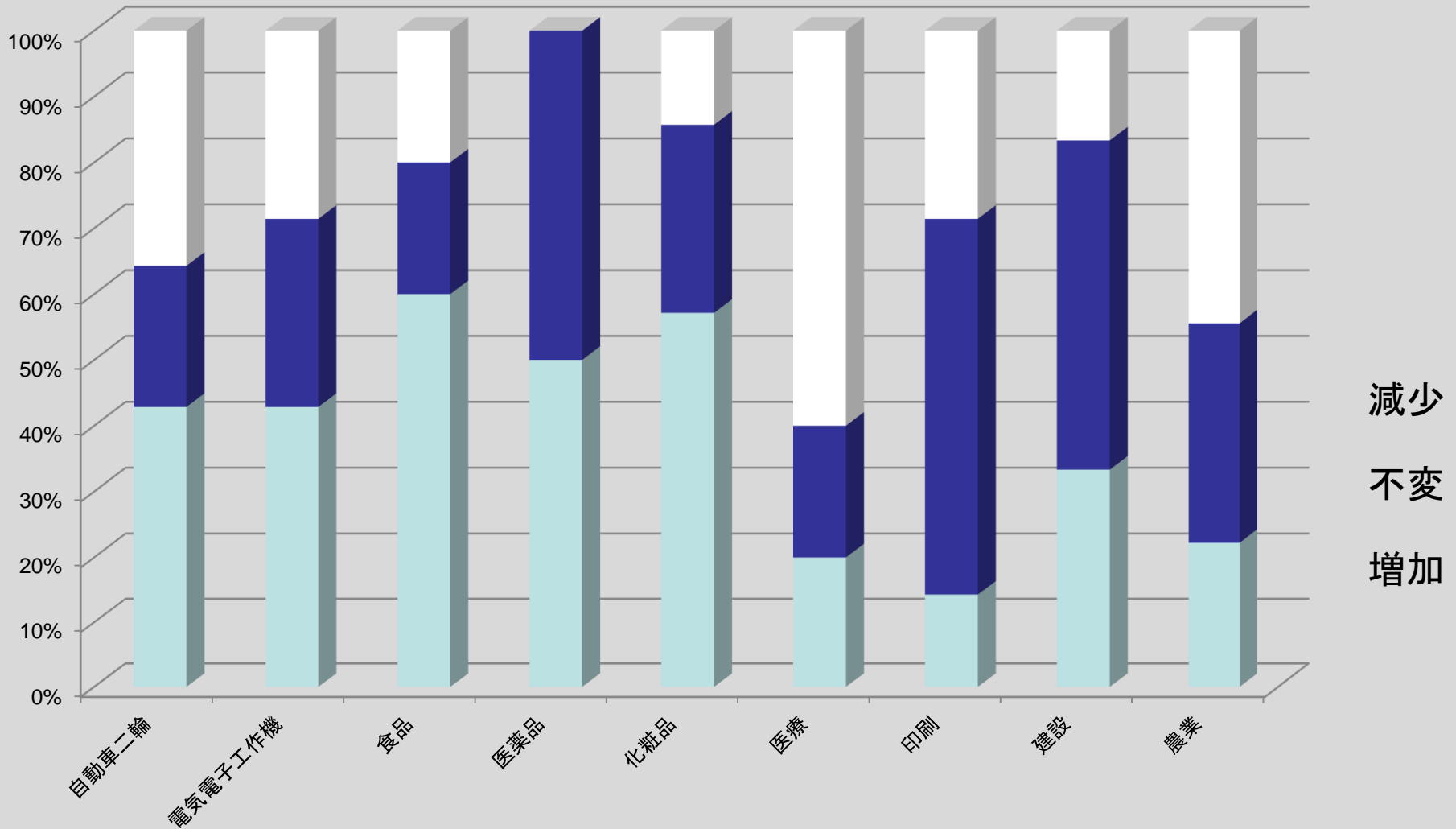
最終製品となる業界で見た場合



減少  
不変  
増加

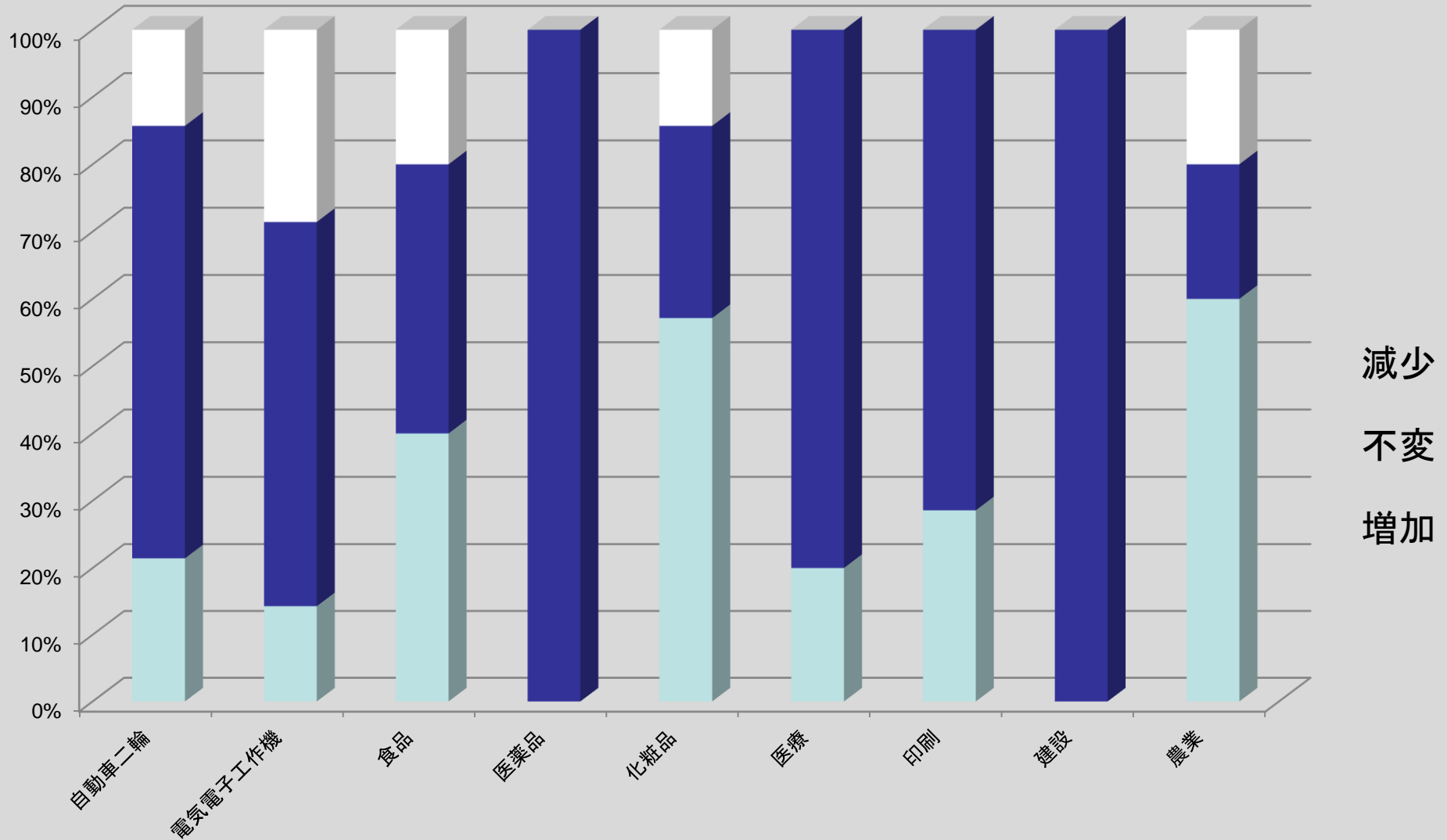
# 2015上半期の回顧・・・利益

最終製品となる業界で見た場合



# 2015下半期の展望・・・売上

最終製品となる業界で見た場合

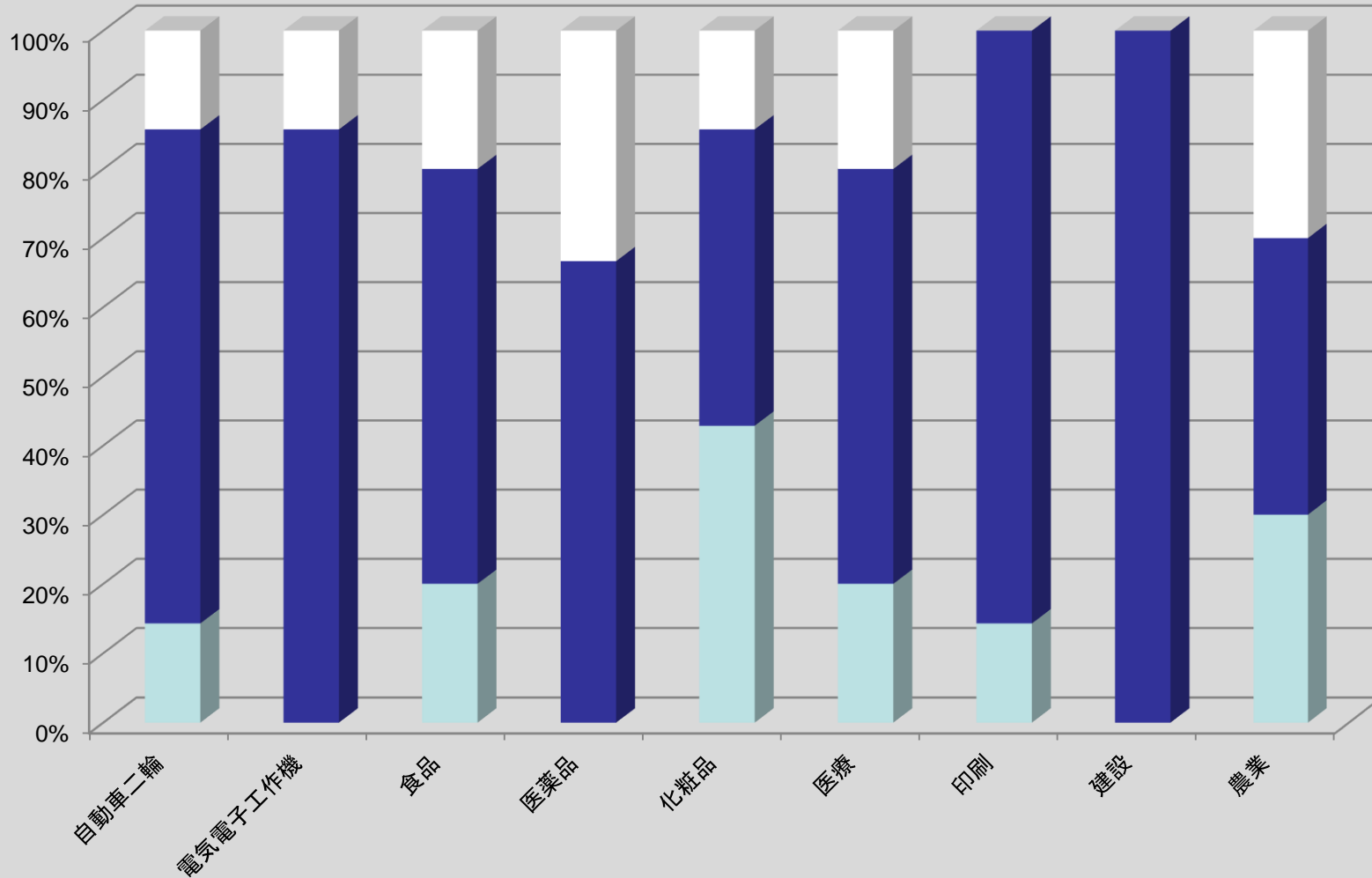


減少  
不変  
増加



# 2015下半期の展望・・・利益

最終製品となる業界で見た場合



減少  
不変  
増加

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 工業材料(主な販売対象で見た場合)

### プラス要因

- ・設備投資効果
- ・新規分野開発、新規顧客開発
- ・買収事業の業績寄与
- ・レアル安による輸出促進(商社)

### マイナス要因

- ・粗利益低下
- ・大きな焦げ付き出ている。
- ・顧客の金繰りが悪い、銀行貸し渋り貸し剥がし。

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 消費財製品（主な販売対象で見た場合）

### プラス要因

- ・平均生活水準向上による需要増大
- ・新販売チャンネル、販売地域拡大、直販
- ・他社アンチダンピング
- ・アルゼンチン市場向け商品の寄与
- ・新しいサービス、ソリューション提案が奏功

### マイナス要因

- ・一般消費市場冷え込み
- ・デジタル化による化成品需要減少
- ・ドル高景気後退で高額商品買い控え
- ・予算削減で公共病院投資延期
- ・中国製印刷物増加、輸入関税
- ・輸入品の安全性テストに時間が掛かり検査機関の間で違いがある。

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 農業・畜産(主な販売対象で見た場合)

### プラス要因

- ・サトウキビ関連企業に復調の兆し。
- ・デング熱発生件数急増。

### マイナス要因

- ・為替、顧客与信力の低下。
- ・前年の過剰在庫
- ・気象要因、少雨乾燥による殺菌剤不振
- ・デング熱発生サイクルが下降に入る。
- ・ダイズでは昨年猛威を振るった虫(*Helicoverpa*)が出ない。
- ・ワタと競合する化学繊維が石油安で優位にある。  
Cotton Ball weevil大発生。
- ・ジェネリック品参入、中国品との競合。

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 石油(主な販売対象で見た場合)

### プラス要因

- ・B to C 自社ブランド確立
- ・価格改定

### マイナス要因

- ・国内製造は税金が高く輸出拠点とならない。

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 自動車・二輪（最終製品となる業界で見た場合）

### プラス要因

- ・日系メーカー新工場設立

### マイナス要因

- ・ブラジル自動車市場下方修正
- ・欧米メーカー不振
- ・輸入経費増
- ・輸入原材料高騰と価格転嫁遅れ
- ・アルゼンチン向け自動車輸出不振

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

食品・化粧品 最終製品となる業界で見た場合

プラス要因

- ・受注増・稼働率向上
- ・値上げ効果

マイナス要因

- ・新商品の生産効率
- ・低価格粉末飲料へのシフト
- ・化粧品市場も23年ぶり前年割れ。
- ・化粧品材料の認可が遅い。

# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## 医薬（最終製品となる業界で見た場合）

### プラス要因

- ・ANVISA薬価値上げ許可

### マイナス要因

- ・過剰在庫
- ・輸送経費アップ
- ・競合品参入
- ・販売鈍化



# 必ず復活ブラジル経済！～日系企業はどう立ち向かうか～

## どう立ち向かうか

- ・高性能と価格競争力の両立、高性能をどう理解してもらうか。
- ・周辺国とのシナジー効果(輸出入のバランス等)を狙いたい。Mercosur/Pacificでの事業環境(主に関税等)の違いが大きい。
- ・港湾インフラの充実。
- ・インフレ、高金利、人件費上昇(インフレで自動上昇する賃金制度が競争力を下げる。企業側はレイオフしかなく社員継続雇用の障害である)労働分野が一番厳しい。
- ・労働裁判が増えている。コスト競争力を上げる仕組みがなければ根本的に変わらない。日本の本社からの注目度を上げ資金的・人的資源も投資できるような環境を作ること。
- ・労働力底上げのための教育
- ・暫く景気低迷するが次の成長ステージへの体制強化が必須。労働面でも人材確保、これまで採用困難だった人材へのアプローチが容易になる等ポジティブに捉えたい。
- ・ブラジルとはこういうものだという理解が重要。
- ・ブラジルマーケットに対するこだわり必要(短期不況と中長期計画をどうつなげるか)
- ・まず撤退しないこと。次の成長期を見据えたマーケティング調査の継続。

ご清聴ありがとうございました。

化学品部会

**建設不動産 部会**

**藤井 健 部会長**

**Departamento de Construção e Imobiliária**

**Presidente: Takeshi Fujii**

# 建設不動産部会

「2015年上期の回顧と2015年下期の展望」

副題: 必ず復活！ブラジル経済 ～日系企業はどう立ち向かうか～

1. 上期の回顧と通期の展望
2. 建設業界
3. 不動産業界
4. プレハブ業界
5. 特殊技術

# 1. 上期の回顧と通期の展望

## 1-1) アンケート結果

### 2015年の上期実績

### 2015年の展望

ゼネ  
コン

日本企業のブラジル進出の激減  
(日本からの問合せ減少)  
非日系企業の工場拡張が堅調  
労務費等のコストプッシュを差別化に変換



非日系顧客の  
取り込み  
BR企業との差  
別化の推進

不動産

事務所地代が下落、工場用地高止まり  
マンション価格が最高値か



情報駆使した  
ビジネス展開  
付加価値をつ  
けて賃貸提供

プレハブ

大中型建設投資の延期や中止が相次ぐが  
小規模は堅調 (安価)  
短工期・高品質・移設増設が簡単



新規顧客開拓

特殊  
技術

財政削減で社会資本整備急激に減少  
RJオリンピック関連急増



問題工事救済  
工法の宣伝

## 2. ゼネコン業界

### 活路目指して～新地域、環境技術への取り組み（戸田建設）





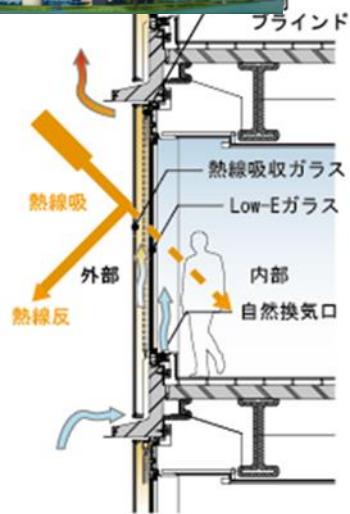
## 2. 建設業界（戸田建設）



（ZEBビルイメージ）



（スマートシティ・エキスポ出展ブース）



（様々な工夫を凝らした環境配慮技術）



（大学のスマートシティ構想）

## 2. 建設業界

### 日本式安全活動により、差別化を計る（HOSS建設）

朝礼風景

ツールボックスミーティング

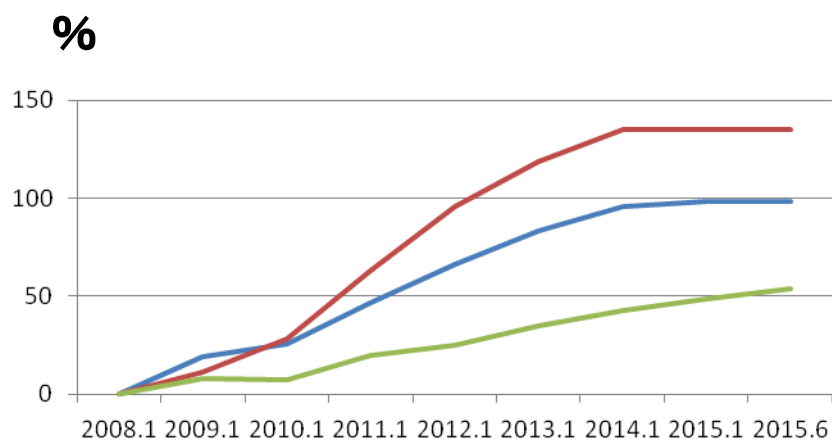
安全表彰



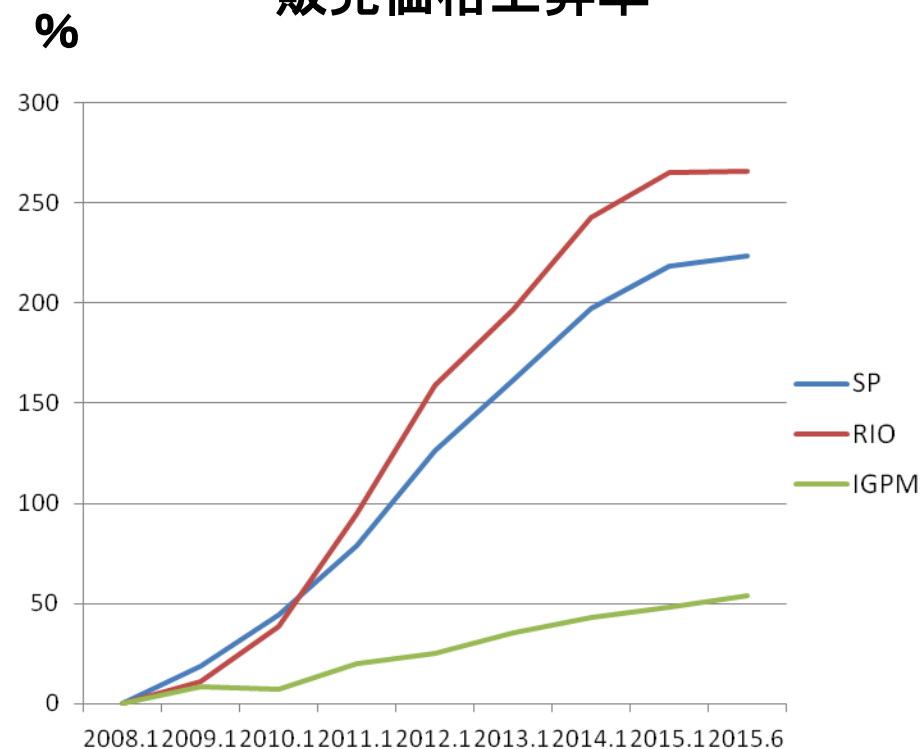
### 3. 不動産業界

#### 3-1 賃貸マンション賃料と販売価格の推移と見通し（STARTS）

#### 賃貸価格上昇率

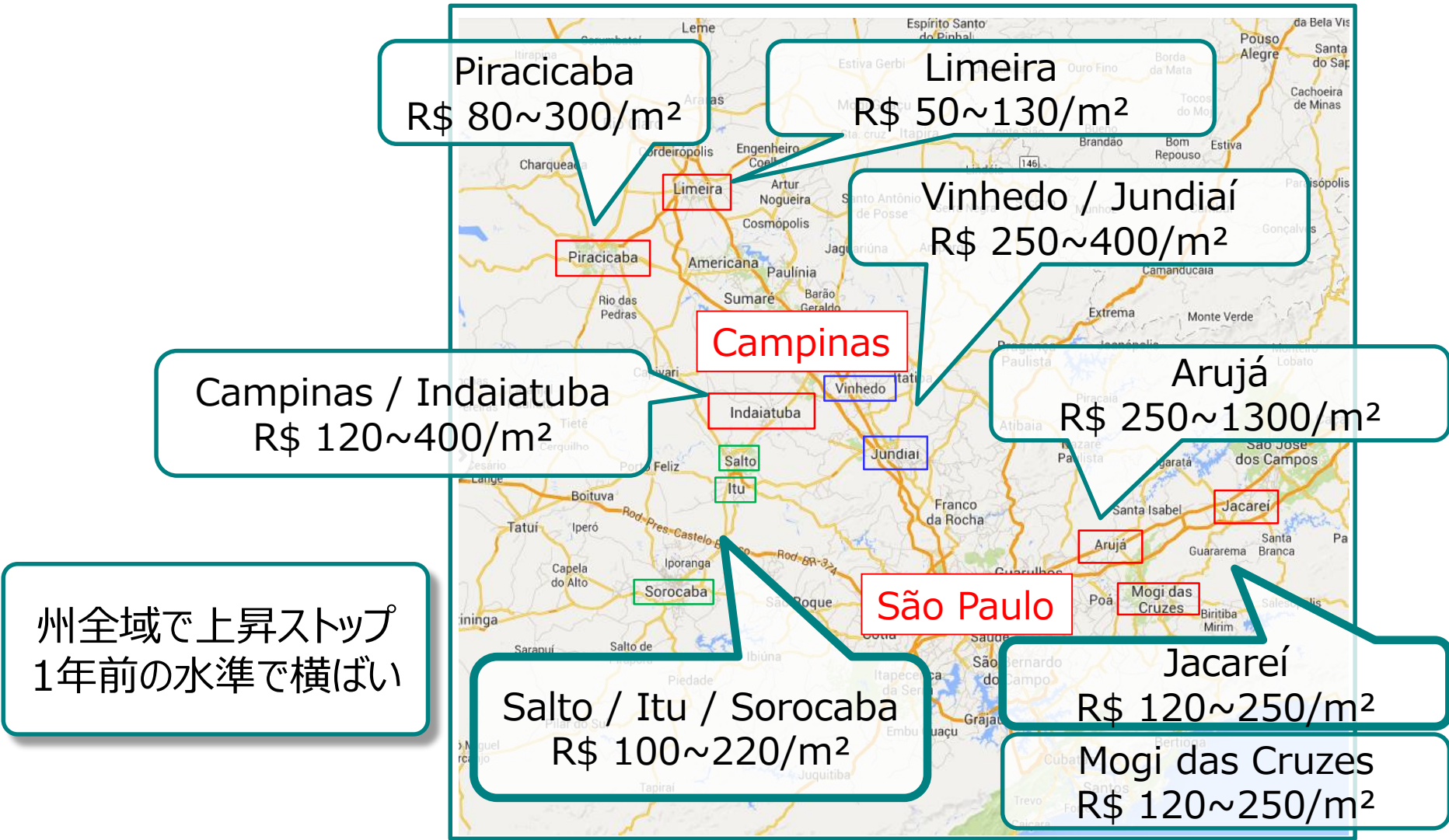


#### 販売価格上昇率



### 3 不動産業界

#### 3-2 サンパウロ近郊の工業用地価格（2015年7月）



## 3. 不動産業界 事業用地 (FLEX PARQUE)

### 3 - 3 分譲

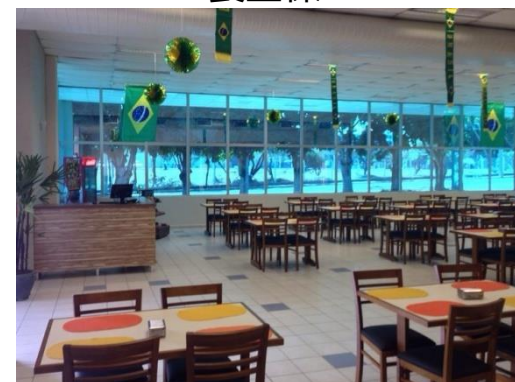
- ・インフラ完備
- ・事業開始最適化 (ライセンスなど)
- ・完全警備/管理費 (他社との共有により、ローコスト)
- ・税優遇制度



<守衛所>



<食堂棟>

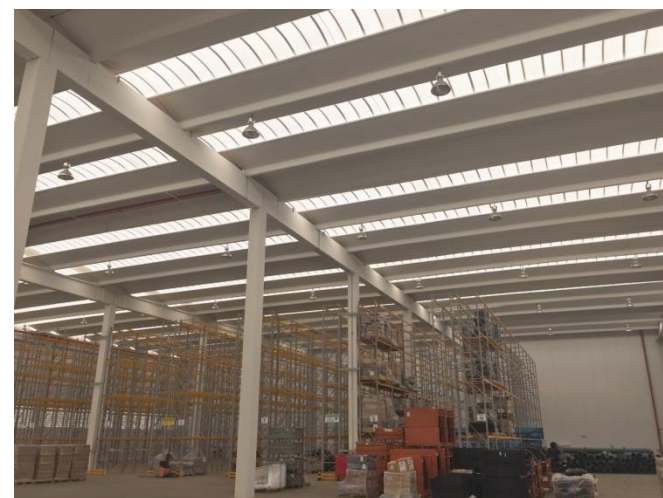




### 3. 不動産業界 事業用地 (FLEX PARQUE)

#### 3-4 賃貸 (建物)

・全カスタマイズ (面積、レイアウト、建材、など)



## 4. プレハブ業界 (NAGAWA)

ブラジル人が注目：短工期・高品質・移設増設が可能な本設プレハブ

工場内での検査室



工場内での間仕切り



2週間で出来る本設建造物





# 5. 特殊技術

## 5-1) リオデジャネイロ地下鉄工事に貢献 (CGC)



Tempo de viagem entre as estações

Barra—Nossa Senhora da Paz: 13min15seg	Jardim de Alah—Barra: 11min15seg	Gávea—Barra: 9min50seg
Nossa Senhora da Paz—Carlioca: 18min	General Osório—Barra: 15min31seg	Barra—Carlioca: 18min
Gávea—Barra: 9min50seg	Antero de Quental—Carlioca: 24min	Jardim de Alah—Barra: 11min15seg
Antero de Quental—Barra: 9min31seg	Barra—Uruguaí: 50min58seg	São Conrado—Barra: 34min

EXPEDIENTE

Esta publicação é de responsabilidade da Concessionária Rio Barra

Redação e edição: FSB Comunicações Projeto gráfico e diagramação: Marcelo M...

TIRAGEM: 40.000 exemplares

CONCESSIONÁRIA RIO BARRA S.A.

CONSORCIO CONSTRUTOR RIO BARRA

Endereço: Av. Amândeo Lombardi, 30 - Barra da Tijuca

Cep: 22642-000 | Rio de Janeiro - RJ

Telefone: (21) 3389-2100

Responsável pela obra entre Barra da Tijuca e Gávea

CONSORCIO

Endereço: Avenida

Cep: 22400-090

Telefone: (21) 2134

Responsável pe...



## 5. 特殊技術

### 5-2 トンネル学会

12/1~2にサンパウロで  
開催される、トンネル学会で  
**特別講演**を依頼される。

テーマ「地下構造物の止水」



- **CBT-WTC 2014 - COMITÊ BRASILEIRO DE TÚNEIS - ABMS**
- [www.wtc2015.com.br](http://www.wtc2015.com.br) / [www.tuneis.com.br](http://www.tuneis.com.br) – II SIMES 2015



## 5. 特殊技術

### 5-3) 何故、川がくさいのか

#### 川の脇の下水道工事



#### ショッピングモール脇の下水道工事





## 負の要因

- 財政削減による社会資本整備費の削減
- 不動産停滞
- 新規進出日本企業無し
- 労務費、材料費の高騰



不況の今、設備投資を実施する企業があります。



## ビジネスチャンス

今、人材を育成し、生産性を上げる教育をし、技術を伝承し  
強靱な施工集団を育成するチャンスです

**繊維 部会**

**田中 雅春 部会長**

**Departamento de Fiação e Tecelagem**

**Presidente: Masaharu Tanaka**

# 2015年上期の回顧と下期の展望

(副題) 必ず復活！ブラジル経済

～日系企業はどう立ち向かうか～

ブラジル日本商工会議所  
繊維部会

2015年8月20日 (木)

# 目次

## 2015年上期 の回顧

- 原綿
- 綿糸
- 合繊
- 輸出入
- アパレル・小  
売

## 下期の展望

- 世界の原綿需  
給
- レアル安の影  
響
- 市況
- まとめ

## サブテーマ

- 課題
- 提言

# 目次

## 2015年上期 の回顧

- 原綿
- 綿糸
- 合繊
- 輸出入
- アパレル・小  
売

## 下期の展望

- 世界の原綿需  
給
- レアル安の影  
響
- 市況
- まとめ

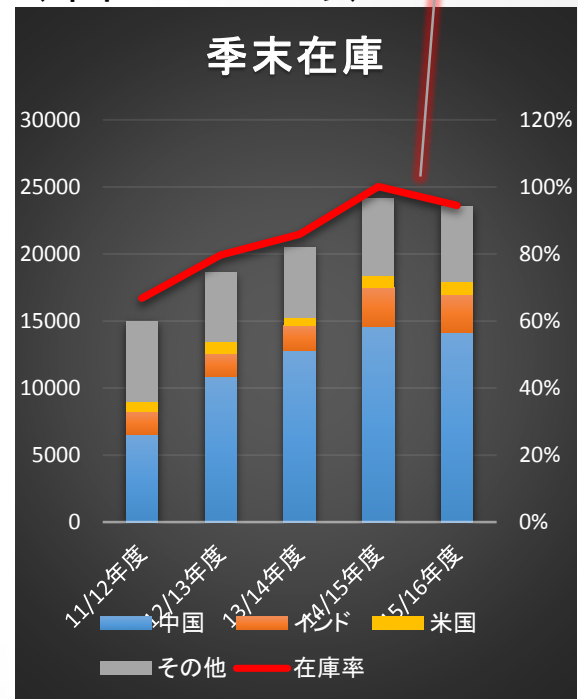
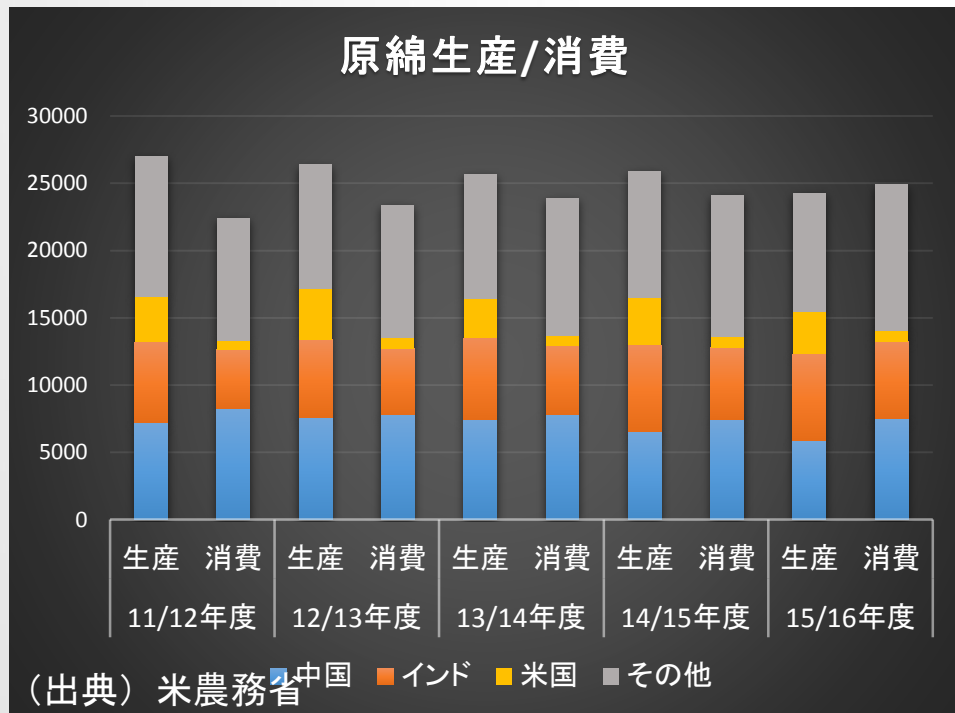
## サブテーマ

- 課題
- 提言

# 原綿動向（国際原綿需給バランス）

在庫率 =  
在庫量 / 消費量

（単位：1000トン）



・世界の需給バランスは緩いが、中国・インドの統制政策によって相場暴落を抑制。

・NY相場を左右する米綿はタイト感を持って推移。

・綿花相場は2014年以降、60¢/LB.程度で安定的

・綿花相場に影響するのは、需給バランスよりも投機的



## 原綿動向 (ブラジル国内原綿)

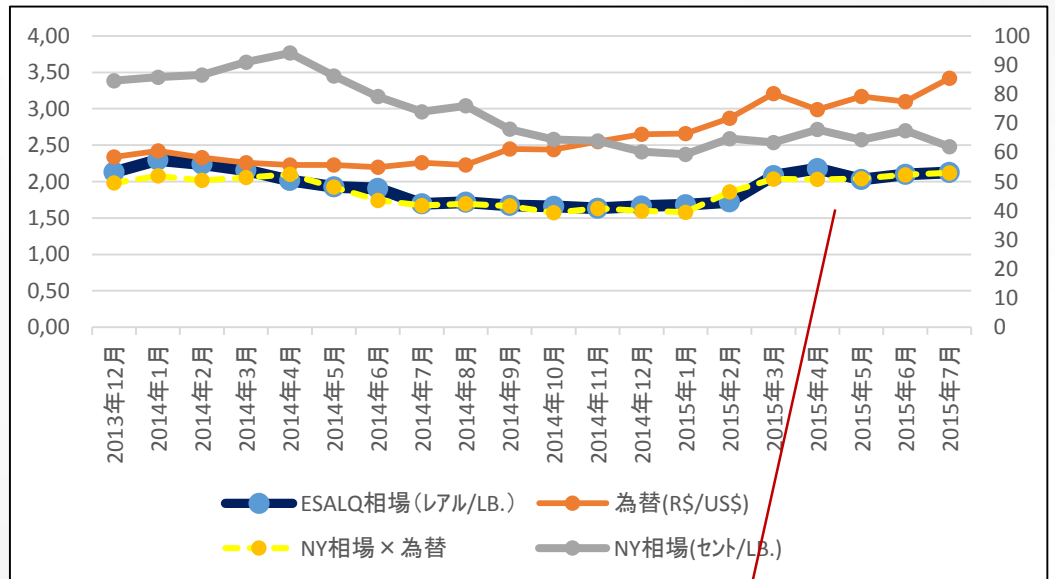


ブラジル国内原綿需給予想 (単位: 1000トン) 原綿相場推移 (NY, ブラ

	2014年実績	2015年予想
季初在庫	305	502
生産	1.734	1.506
輸入	32	10
国内消費	820	800
輸出	749	790
季末在庫	502	428

半分が輸出

13%減

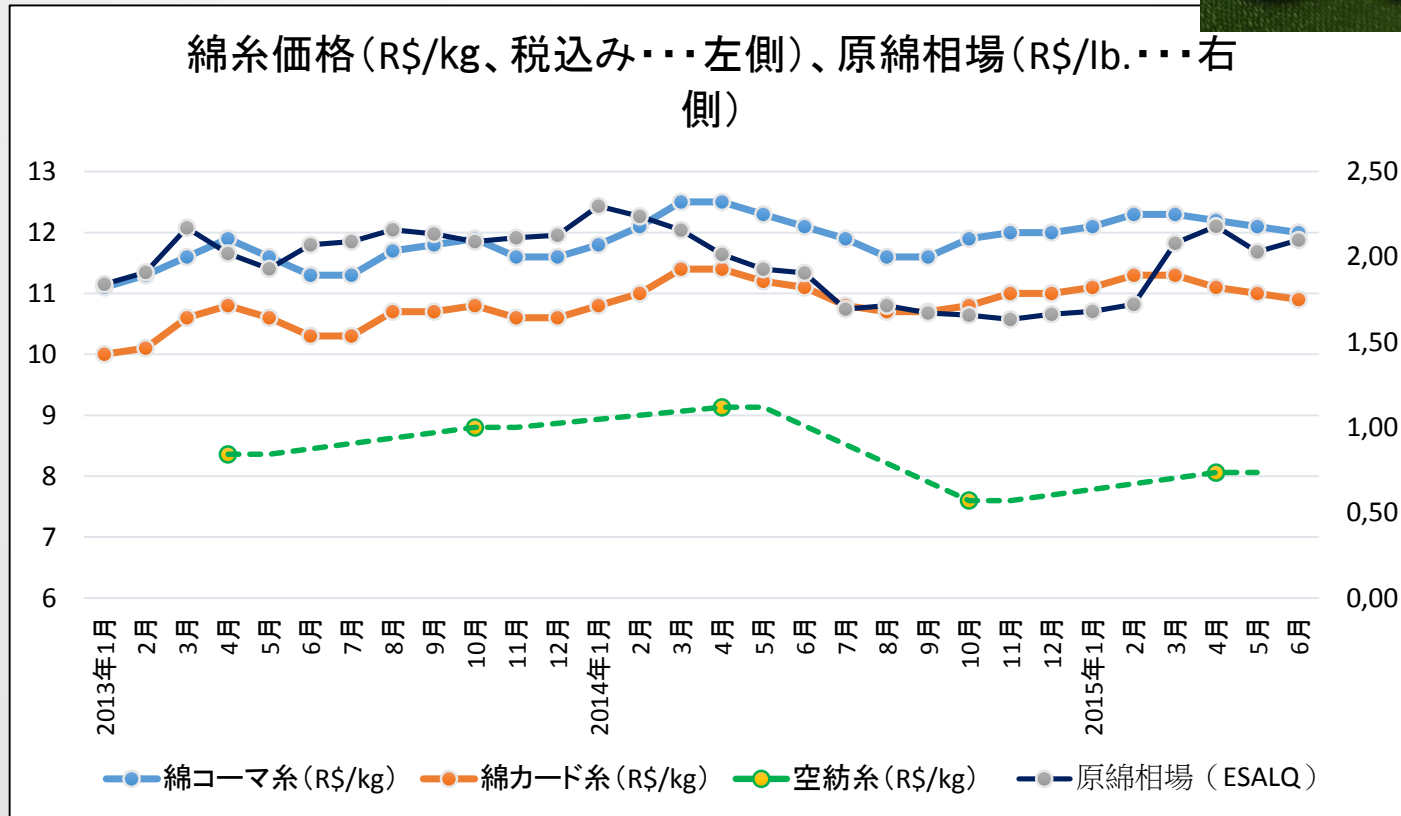


(出典) CONAB

- ・ブラジル経済の後退と、中国等からの製品輸入で原綿商売の動きもダウン。
- ・2015/16シーズンの綿花生産予想は150万トンで、前シーズン比13%減。
- ・レアル安により原綿輸出が伸張、国内バランスはタイトになり、原綿価格は上昇。
- ・原綿輸出の影響もあり、上期末には2014/15シーズンの原綿が供給不足に。

ブラジルの原綿相場は、レアル安の影響で上昇

# 国内綿糸市況

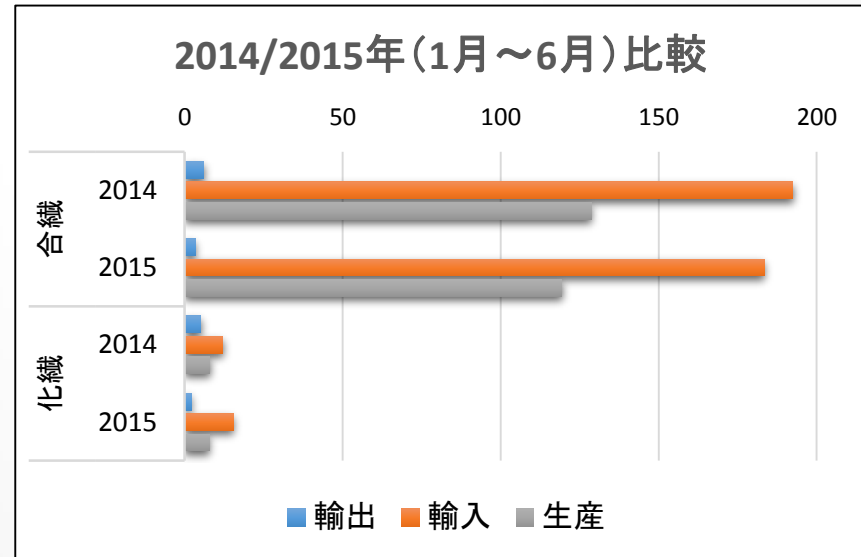
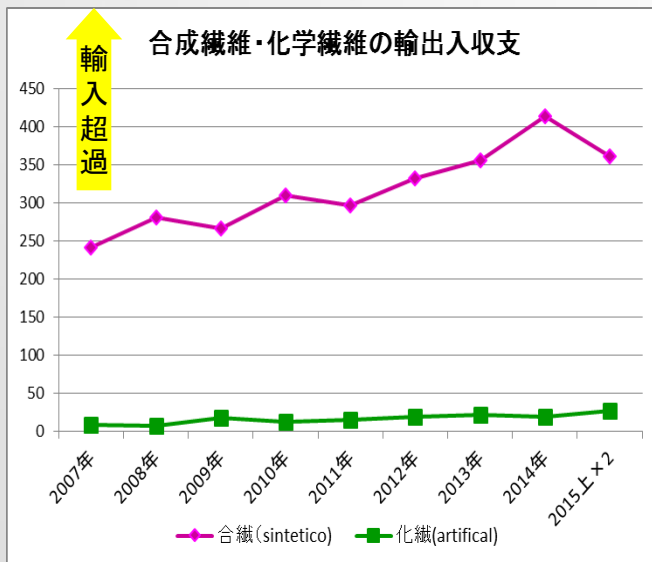
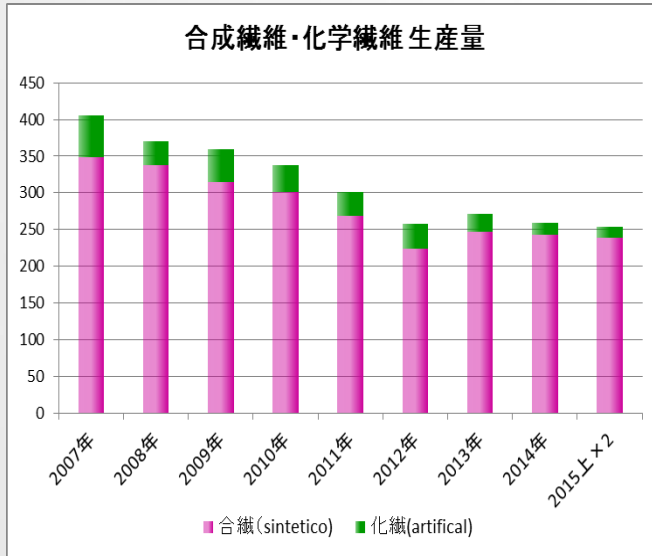


- ・昨年10月から3月中旬までは需給バランスが取れて順調に推移。
- ・3月後半以降、消費不振により各段階の在庫が増大し、綿糸発注が減少+原綿代アップ。
- ・5月以降、生地メーカーや縫製工場の中には、一定期間の休業等、生産調整の動き。
- ・価格は1月、2月は原綿相場の影響で若干上昇するも、4月以降、在庫過多により値崩れ。



# 2015年上期の回顧

## 合織市況 (生産・輸出入状況 (単位: 1000ト))

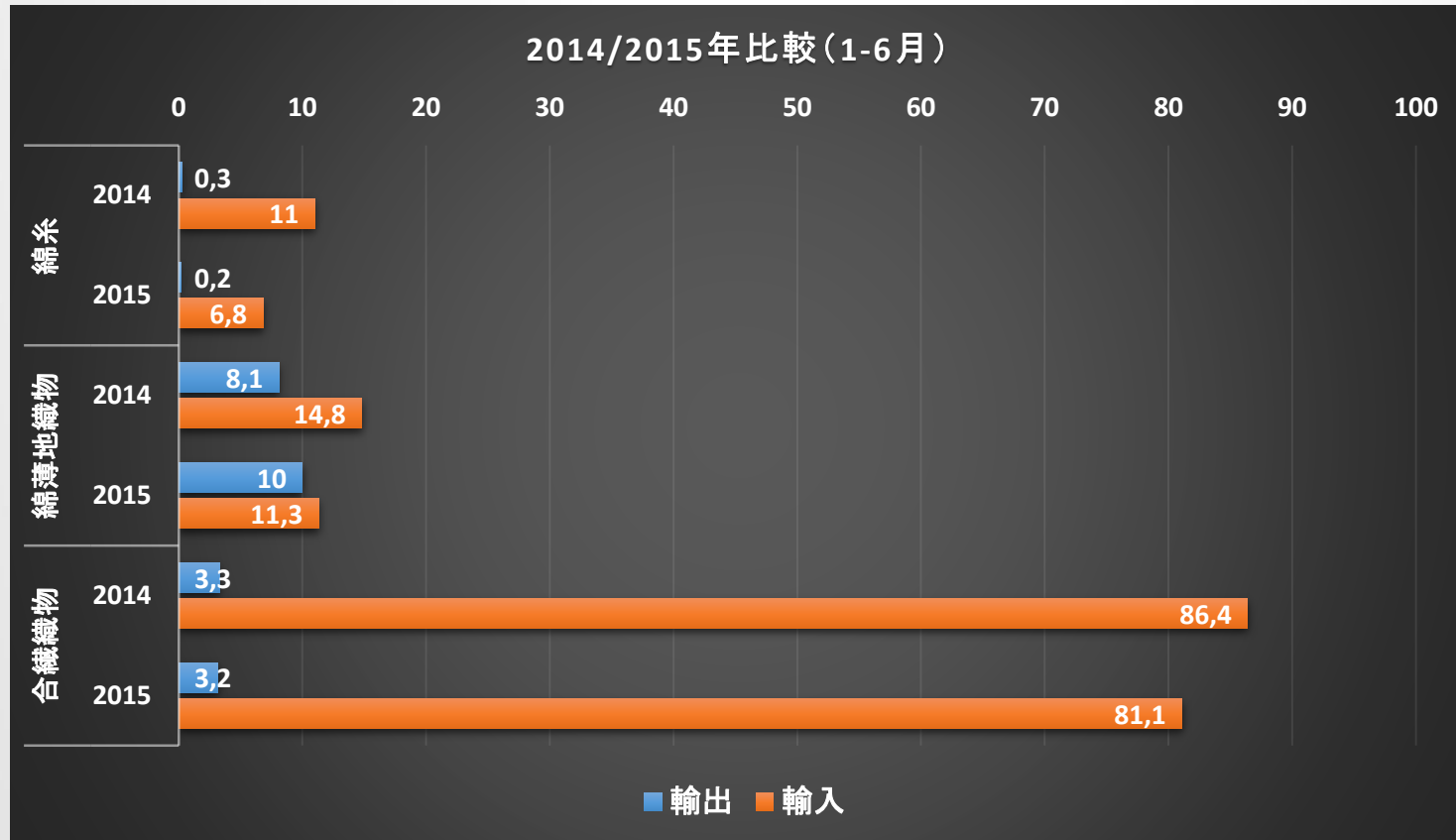


・ブラジル経済低迷の影響を受け、ここ数年旺盛であった合織需要も減少。

・レアル安の状況であるが、前年同期比で輸出量は減少しており、合織においてもブラジルの国際競争力の低下を示している。

# 輸出入動向（綿糸・薄地織物・合繊織物）

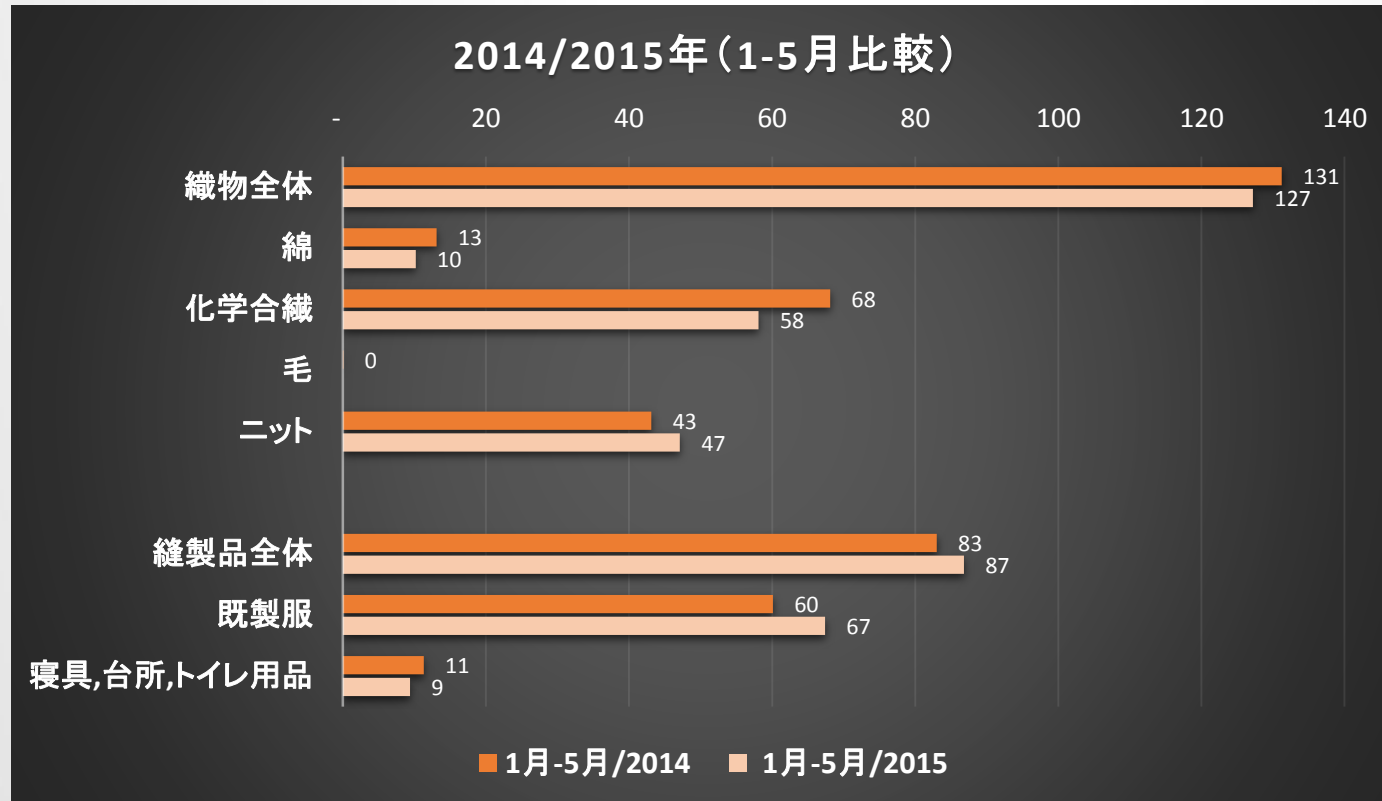
（単位：1000ト）



- ・ブラジルコストにより、圧倒的に輸入が多くなっている。
- ・リアル安と国内市況低迷による輸入減により、輸出入収支は前年比で改善。

# 輸入動向（織物全体、縫製品）

（ABIT資料 単位：1000トン）



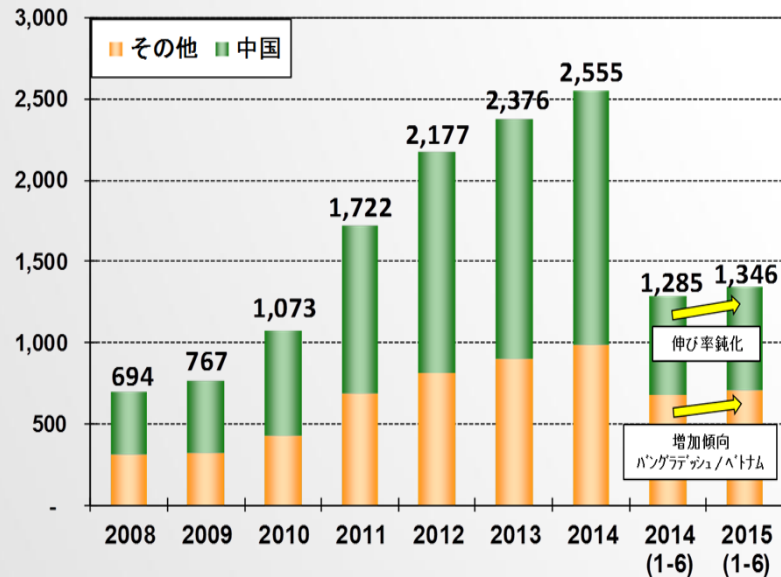
・生地輸入：為替が1年前から40%、今年だけでも20%上昇し、

輸入量は昨年比で3%のマイナス。

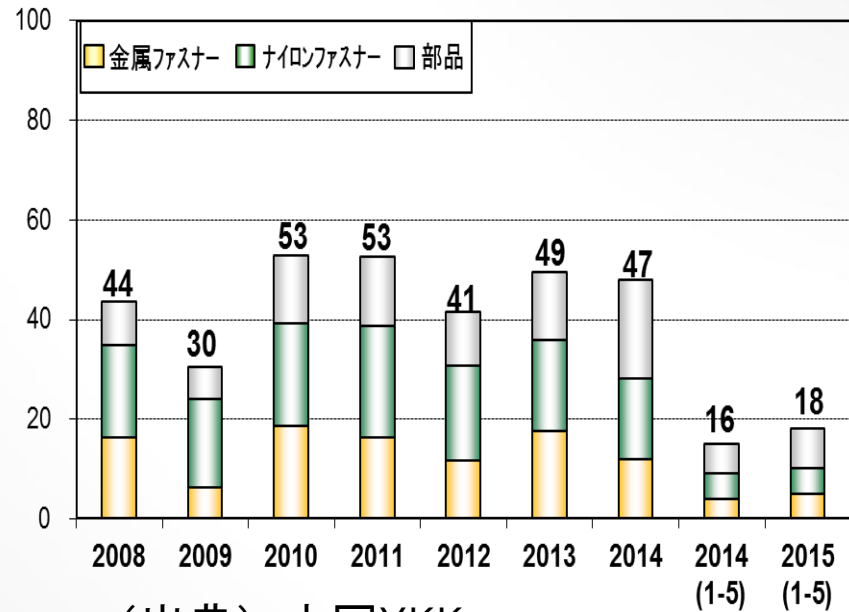
・製品輸入：レアル安でも輸入量は減らず、小売店の海外製品依存度は上昇。

## 輸入動向（衣料輸入相手国別、中国ファスナー）

衣料輸入実績（金額(FOB)：百万ドル） 中国ファスナー輸入実績（金額(FOB)：百万ドル）



（出典） Alice Web



（出典） 中国YKK

・衣料輸入先：中国が60%強、 Bangladesh（8%）、インド（5%）等。

中国からの輸入が鈍化。縫製の中国からアジア他国へのシフトが加速。

・ファスナー輸入：中国からのファスナー輸入は実質的には前年比横ばい。

## 市況（アパレル・小売）

### アパレル

- 上半期の国内衣料生産は昨年比18%減少

### ジーンズ

- 製品在庫の高止まりで、生産調整を実施

### 婦人服

- 製品輸入増加と販売不振で生産を抑制

### 靴

- 小売低迷と輸出減少で国内生産が低迷

### 小売全体

- GDPの2/3を占める家計消費が2003年以来初めてマイナス（▲0.9%）

# 目次

## 2015年上期 の回顧

- 原綿
- 綿糸
- 合繊
- 輸出入
- アパレル・小

## 下期の展望

- 世界の原綿需給
- レアル安の影響
- 市況
- まとめ

## サブテーマ

- 課題
- 提言

## 下期の展望

### 世界の原綿 需給

- 世界的にバランスは緩んでいるが、中国・インドの抑制政策により国際相場に大きな変動は無さそう。

### レアル安の 影響

- 原綿相場の上昇を懸念⇔製品輸入の歯止めに期待。

### 市況

- 綿糸・織物の輸出入は、大きな変化無し。

### まとめ

- 景気回復の材料が無く、更に厳しい局面を予想。

- 市況自体の急回復が望めない中、レアル安による輸入の歯止めと国産品の需要改善に期待。

# 目次

## 2015年上期 の回顧

- 原綿
- 綿糸
- 合繊
- 輸出入
- アパレル・小

## 下期の展望

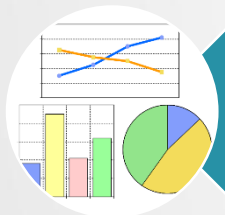
- 世界の原綿需給
- レアル安の影響
- 市況
- まとめ

## サブテーマ

- 課題
- 提言



## 課題（どう立ち向かうか？）



中長期的なブラジル経済のあり方を想定して長期の目線で戦略を策定・実行する。



同業他社・他業種とも連携して、用途開発・市場開拓を優先する。



高付加価値製品・独自製品へのシフトによる価格競争からの脱却。



日本的な良さ（きめ細かさ、誠実さ）は継続して、市場・顧客の信頼を勝ち取る。

## ブラジル政府への提言



### 徹底した経済政策の推進

- 財政政策の推進によるブラジル経済への信用の回復



### 汚職の追放

- 国際社会の信用回復
- 国民が誇りを持てる国に



### ブラジルコストの改善

- 複雑な税制の整理。撤廃や減税
- 労働法の見直し、インフラの改善



### 繊維産業の重要性の再認識を

- 自国で原綿を生産し、かつ伸張する大量消費市場を有する恵まれた国
- 160万人が従事している産業がコスト高と輸入で疲弊

Muito Obrigado  
ありがとうございました。

繊維部会

コメント

在ブラジル日本国大使館

小林 和昭参事官

**Comentário do  
Secretário da Embaixada do Japão**

**Kazuaki Kobayashi**

# 閉会の辞

相原 良彦 企画戦略委員長

## ENCERRAMENTO

Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral:

Yoshihiko Aihara